

日野病院組合 日野病院

事業年報

(平成26年度)

平成 26 年度日野病院組合日野病院事業年報発刊によせて

病院長 櫃田 豊

平成 26 年は、何と言ってもスタッフ細胞に明け、スタッフ細胞に暮れた年でした。騒動の発端は 1 月に行われたスタッフ細胞の作製に成功したとの記者会見でした。iPS 細胞に続く世紀の発見として、日本中が歓喜に沸きかえりました。しかし、その後、Nature 誌に掲載されたスタッフ論文に対する数々の疑義が指摘されるようになり、6 月にはその論文は撤回されました。7 月からは検証実験が始まりましたが、結局 12 月にスタッフ細胞について存在の確認に至らなかったと発表されました。最近、スタッフ論文以外にも多くの不正論文があるということが判明してきました。日本の研究者のモラルが厳しく問われています。

さて、日野病院では、鳥取大学地域医療総合教育研修センター（以下、研修センター）の設置が最も大きな出来事でした。鳥取大学医学部では、地域医療教育の一環として 1 年次に「早期体験・ボランティア」、4 年次に「地域医療体験実習」、6 年次に「臨床実習 2」を大学病院やそれ以外の地域の医療機関で実施しています。しかし、実際には実習に教官は同行せず、実習先の医療者に依頼して行う形態でした。現場の教育資源は十分ではなく、その結果、地域医療の特性や魅力を十分に伝えられているとは言い難いのが現状でした。そこで鳥取大学地域医療学教室の谷口晋一教授らは、地域医療に取り組んでいる特定の医療機関に教育拠点を置き、そこに専任の教官を派遣し、医療現場を教育フィールドとして地域医療教育、さらには総合医育成にあたるというシステムを考案しました。その教育拠点は、鳥取大学、鳥取県、日野町、日野病院などとの間での協議を経た後に、研修センターとして平成 26 年 6 月に日野病院に設置されました。研修センターの教官は地域医療学教室のスタッフであり、日野病院の診療支援を行いながら学生の指導を行っています。

次に特筆される出来事は、平成 27 年 2 月に黒坂診療所の開設 10 周年を迎えたことでした。黒坂診療所の診療体制はいわゆる「非常駐型」です。とは言え、医師の確保は必ずしも容易ではなく、日野病院医師の献身的な努力と地域医療に対する深い理解のおかげで継続できました。平成 20 年度には 1800 人に達した年間の延患者数ですが、平成 25 年度には 650 人まで減少しました。人口減少など様々な要因が考えられますが、私どもは今後も黒坂診療所を存続させるべく努力を重ねる所存です。

日野病院の基本理念

平成8年3月策定

- 1 地域住民のニーズにあった良質な医療、保健、福祉のサービスを行い、山間地中核病院として信頼される病院を目指す。
- 2 自治体病院の職員としての自覚と使命感をもって、より良い患者サービスに努める。

目 次

巻 頭 言		-1-
1、概要		-5-
主な出来事		-6-
組織図	日野病院組合組織図	-9-
	日野病院組織図	-10-
施設の状況	施設規模等・主な医療機器	-12-
	施設基準	-13-
日野病院組合議会開催状況		-15-
職員の状況	部署別職員数	-18-
	年度別職員数推移	-19-
	職員表彰	
経営状況（平成26年度日野病院組合事業会計決算）		
	事業別内訳	-21-
	決算について	-22-
	決算概要説明	-26-
	医業収支・各種統計	-28-
施設・設備等整備状況		-36-
委員会活動状況	日野病院委員会（ワーキング）構成表	-39-
	各委員会開催状況	-40-
	（院内研修会開催状況）	-70-
2、統計		-72-
患者統計	患者数統計（外来・入院）	-74-

入院患者疾病統計	疾病別（大分類）・診療科別統計	-77-
	疾病別・診療科・男女別統計	-78-
	疾病別・年齢階層別・男女別統計	-88-
	疾病別・在院期間別・男女別統計	-95-
	上位疾病別統計	-102-
部門別統計	手術件数・内視鏡検査・超音波診断検査	-104-
	薬局状況・人工透析状況・放射線室状況	
	検診実施状況	
	栄養管理室状況・検査室状況・理学療法状況	-105-
	作業療法状況・言語聴覚療法状況	
	訪問看護状況・訪問リハビリ状況	
	居宅支援(介護・予防)状況	
	メディカルソーシャルワーカー活動状況	-106-
3、業績		-107-
誌上発表		-108-
学会等発表（出席）		-113-
4、新聞記事		-118-
ご近所のお医者さん（櫃田 豊 病院長）		-119-
ご近所のお医者さん（玉井 嗣彦 名誉病院長）		-128-
その他新聞記事		-137-
5、広報誌 せせらぎ		-142-
日野病院組合だよりせせらぎ 第50号（平成26年5月発行）		-143-
日野病院組合だよりせせらぎ 第51号（平成26年9月発行）		-153-
日野病院組合だよりせせらぎ 第52号（平成27年1月発行）		-165-
編集後記		-175-

1、概 要

主な出来事

平成 26 年

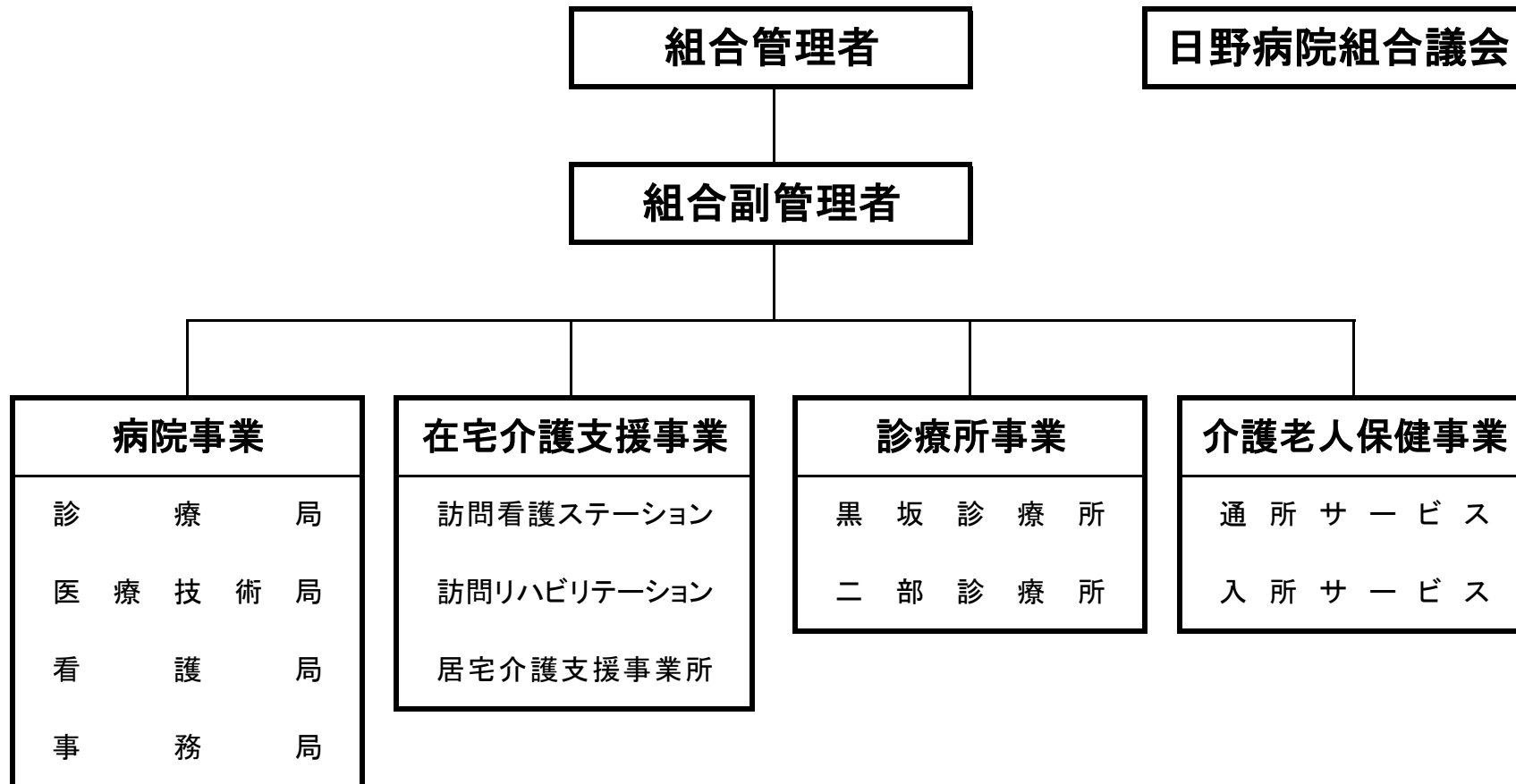
- 4 月 1 日 山口秀樹日野町副町長が副管理者に就任
新規採用職員オリエンテーション
あやめの指定管理者に指定（継続、2 年間）
土曜日の外来廃止
- 5 月 14 日 看護の日イベント
- 6 月 9 日 鳥取大学地域医療総合教育研修センター開所式
- 7 月 11 日、12 日
第 51 回日本呼吸器学会中国・四国地方会開催（会長 櫃田 豊）
- 8 月 29 日 平成 25 年度日野病院組合事業会計決算認定
病院 3 事業：収益的収支で 42,306 千円の黒字、資金収支で 3,600 千円の赤字
介護老人保健事業：収益的収支、資金収支共に 10,286 千円の赤字
- 8 月 29 日 納涼会の開催
- 10 月 5 日 日野病院災害対策訓練
- 12 月 5 日 クリスマスイベント
- 12 月 26 日 仕事納め

平成 27 年

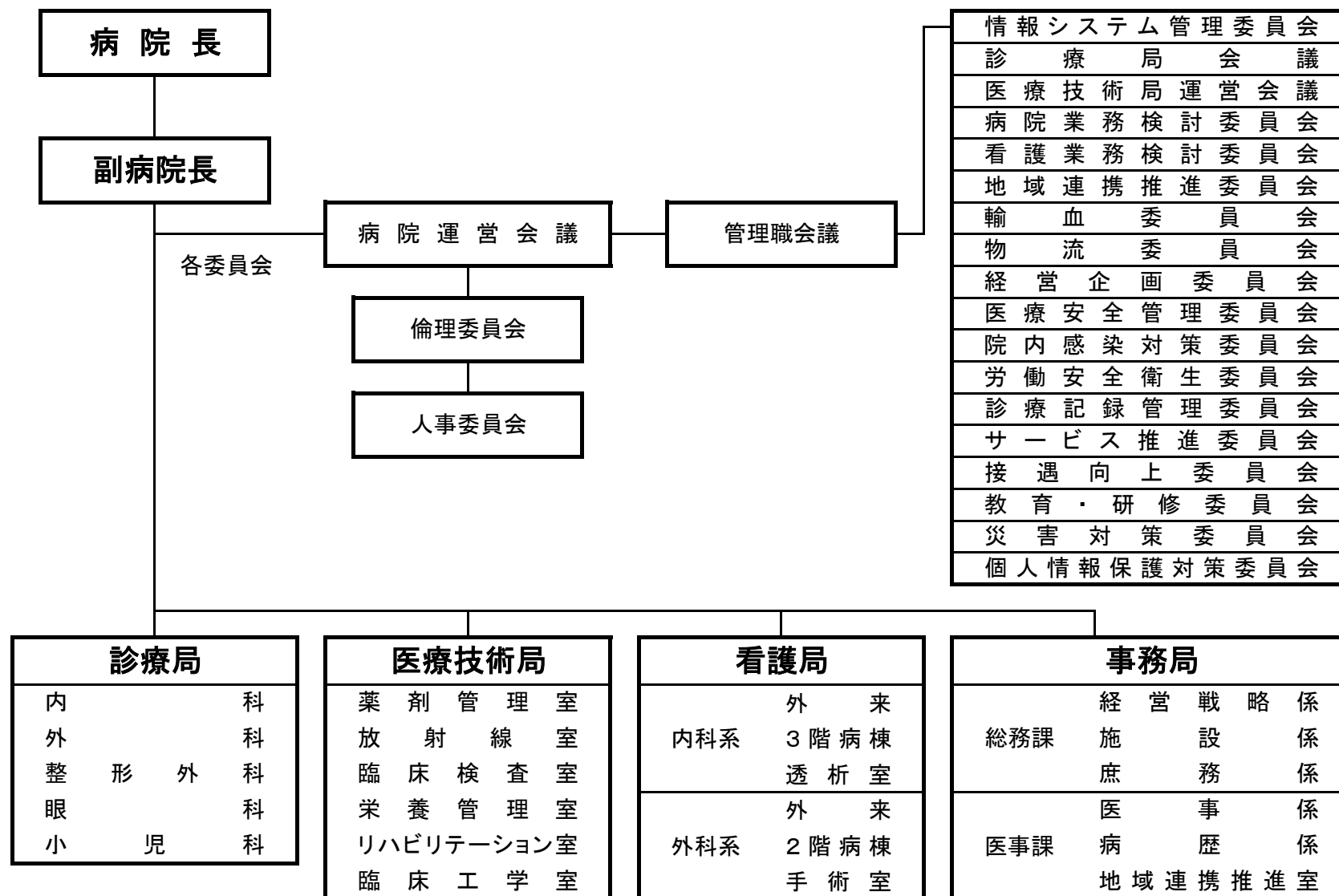
- 1 月 5 日 仕事始め
- 3 月 25 日 黒坂診療所 10 周年記念イベント
- 3 月 31 日 武田千濤あやめ施設長が辞職

組織図

日野病院組合組織図(平成27年3月現在)



日野病院組織図(平成27年3月現在)



施設の状況

施設規模等

- (1) 病床数 99床 (一般 74床・亜急性期 25床)
- (2) 病室数 51部屋 (1人部屋35、4人部屋16)
- (3) 敷地面積 11,045.27㎡
- (4) 延べ床面積 8,247.16㎡
- (5) 建設費 31億1,209万9千円

＜主な内訳＞	建築費	23億6,250万円
	用地費及び補償費	1億8,254万7千円
	医療機器及び備品購入費	4億2,195万6千円
＜財源内訳＞	補助金	5億2,791万1千円
	病院事業債	25億6,610万円
	一般財源	1,808万8千円

主な医療機器

気管支ファイバースコープ	十二指腸ファイバースコープ
大腸ファイバースコープ	画像診断用超音波装置
MR I装置 (1.5テスラ)	レーザーメス
長時間心電図分析装置	生化学自動分析装置
血液ガス測定装置	脳波計
人工腎臓装置	人工呼吸器
マンモグラフィー装置	手術用顕微鏡
上部消化管ファイバースコープ	骨塩定量測定装置
ヘリカルCT装置 (16列)	光凝固装置

施設基準

一般病棟入院基本料 10 : 1 (99床)
薬剤管理指導料
麻酔管理料
ペースメーカー移植術・ペースメーカー交換術 (電池交換を含む)
検体検査管理加算 (I) (II)
入院時食事療養費 (I)
一般病棟療養環境加算
呼吸器リハビリテーション科 (I)
運動器リハビリテーション科 (I)
脳血管疾患等リハビリテーション科 (II)
医師事務作業補助体制加算
一般病棟看護必要度加算
急性期看護補助体制加算
小児科外来診療科
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
診療録管理体制加算
無菌製剤処理加算
重症者等療養環境特別加算
救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算
医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術
地域連携診療計画退院時指導料 (1)
ニコチン依存症管理料
亜急性期入院医療管理料 (25床)
在宅療養支援病院
在宅時医学総合管理料及び特定施設入居時等医学管理料
在宅末期医療総合診療料
外来化学療法加算 2
感染防止対策加算 2
夜間休日救急搬送医学管理料
救急搬送患者地域連携紹介加算

救急搬送患者地域連携受入加算

がん性疼痛緩和指導管理料

時間内歩行試験

CT撮影及びMR撮影（16列以上のマルチスライスCT）

- （指定等） 生活保護法指定医療機関
救急告示病院
結核予防法指定医療機関
労災保険指定医療機関
原爆被爆者一般疾病医療機関
病院群輪番制病院
身体障害者福祉法指定医療機関
へき地医療拠点病院
初期被ばく医療機関

日野病院組合議会開催状況

平成26年度日野病院組合議会開催状況

会議名	開催年月日	議案	内 容
定例会	H26.8.29	第13号	平成25年度日野病院組合事業会計決算の認定について 議案以外の協議・報告事項 ・病床の変更について(亜急性期病床→地域包括ケア病床)10月～
定例会	H26.11.7	第14号 第15号 第16号	日野病院組合職員の再任用に関する条例の制定について 日野病院組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正について ・日野病院組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例 ・日野病院組合職員の育児休業等に関する条例 日野病院組合職員の給与に関する条例の一部改正について 議案以外の協議・報告事項 ・直近の経営状況について(9月末) ・退職給付費引当金の実施について ・「日野病院のこれからを考える研修会」の開催について
臨時会	H26.12.1	第17号 第18号 第19号 第20号	日野病院組合職員の給与に関する条例の一部改正について 平成26年度日野病院組合病院事業会計補正予算(第1号) 平成26年度日野病院組合在宅介護支援事業会計補正予算(第1号) 平成26年度日野病院組合介護老人保健施設事業会計補正予算(第1号)
定例会	H27.2.23	第1号 第2号 第3号 第4号 第5号 第6号 第7号 第8号	平成26年度日野病院組合病院事業会計補正予算(第2号) 平成26年度日野病院組合在宅介護支援事業会計補正予算(第2号) 平成26年度日野病院組合診療所事業会計補正予算(第1号) 平成26年度日野病院組合介護老人保健施設事業会計補正予算(第2号) 平成27年度日野病院組合病院事業会計予算 平成27年度日野病院組合在宅介護支援事業会計予算 平成27年度日野病院組合診療所事業会計予算 平成27年度日野病院組合介護老人保健施設事業会計予算 議案以外の協議・報告事項 ・平成26年度日野病院組合病院事業等の決算見込みについて ・平成26年度日野病院組合介護老人保健施設事業等の決算見込みについて ・平成27年度日野病院組合病院事業等の概況について ・黒坂診療所開所10周年記念事業の開催について(3/25)
臨時会	H27.3.25	第9号 第10号 第11号 第12号	日野病院組合職員の給与に関する条例の一部改正について 日野病院組合職員の退職手当に関する条例の一部改正について 日野病院組合情報公開条例の一部改正について 日野病院組合介護老人保健施設使用料及び手数料条例の一部改正について 議案以外の協議・報告事項 ・日野病院組合職員の異動及び採用について ・介護老人保健施設あやめの指定管理について

職員の状況

部署別職員数（平成27年3月31日現在）

（1）病院事業

- ・診療局 常勤医師8名（うち嘱託医師1名）
（内科4名、小児科1名、外科1名、整形外科1名、眼科1名）

- ・看護局 77名 (人)

区 分	看護 師			准看護 師			看護 助手			合 計			ク ラ ク
	正 職	嘱 託	臨 時	正 職	嘱 託	臨 時	正 職	嘱 託	臨 時	正 職	嘱 託	臨 時	
看護局長	1									1			
外 来	3	1			4					3	5		2
2階病棟	16			2	4		1	4		19	8		1
3階病棟	17	1		3	2		1	7		21	10		1
手術室	1			2			1			4			
透析室	2									2			
合 計	40	2		7	10		3	11		50	23		4

- ・医療技術局 24名
臨床検査室 3名（臨床検査技師 3名）
薬剤管理室 3名（薬剤師 2名、嘱託事務 1名）
放射線室 3名（診療放射線技師 2名、診療エックス線技師 1名）
リハビリテーション室 12名
（理学療法士 6名、作業療法士 1名、言語聴覚士 3名、マッサージ師 1名、看護助手 1名）
栄養管理室 2名（管理栄養士 2名）
臨床工学室 1名（臨床工学技士 1名）

- ・事務局 14名
事務局長 1名
総務課 6名（うち嘱託職員 1名）
医事課 7名（うち嘱託職員 3名）

（2）在宅介護支援事業所

- ・所長 1名（病院と兼務）
- ・看護師 5名（病院と兼務 1名）（介護支援専門員と兼務 1名）
- ・理学療法士 2名
- ・作業療法士 1名

- ・介護支援専門員 4名（看護師と兼務1名）
- ・事務職員 1名（嘱託職員）

（3）診療所事業

- ・医師 1名（病院と兼務）
- ・看護師 1名（病院と兼務）
- ・事務職員 1名（病院と兼務）

年度別職員数推移（平成27年3月31日現在）

病院事業 (人)

区 分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
診療局	8	8	9	8	8	8
看護局	74	74	77	76	76	77
医療技術局	薬剤	4	4	4	4	3
	栄養	2	2	2	3	2
	検査	3	3	3	3	3
	放射線	2	3	3	3	3
	リハビリ	13	13	14	14	11
臨床工学					1	1
事務局	19	18	17	16	14	14
合 計	125	125	129	127	123	123

在宅介護支援事業所 (人)

区 分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
医師（病院と兼務）	1	1	0	1	1	1
看護職（病院と兼務含）	5	5	4	4	4	5
リハビリ（病院と兼務含）	4	4	5	5	3	3
事務職	4	4	4	4	4	4
合 計	14	14	13	14	12	13

職員の表彰（平成26年度中）

受賞年月日	職 員 名	職 名	表 彰 名
平成27年3月26日	頭本 一郎	小児科医長	日野病院職員表彰
平成27年3月26日	田渕 ひとみ	マッサージ師	日野病院職員医療技術局長表彰
平成27年3月26日	野坂 由貴子	主任看護師	日野病院職員看護局長表彰

経営状況

平成26年度日野病院組合決算(事業別内訳)

(収益の収支)

(単位:千円)

区分	病院事業(イ)	在宅介護支援事業(ロ)	診療所事業			(イ)+(ロ)+(ハ)	25年度	増減	
			計(ハ)	黒坂	二部				
医業収益	入院収益	751,512		0		751,512	761,575	△ 10,063	
	外来収益	322,007		2,672	2,356	316	324,679	330,959	△ 6,280
	室料差額収益	21,849		0			21,849	24,068	△ 2,219
	保健予防活動収益	23,153		318	274	44	23,471	22,432	1,039
	その他医業収益	15,490		0			15,490	14,777	713
	事業間負担金	18,699		0			18,699	16,497	2,202
	計	1,152,710		2,990	2,630	360	1,155,700	1,170,308	△ 14,608
介護サービス収益	介護サービス収益		61,611	0			61,611	57,758	3,853
	その他介護サービス収益		151	0			151	0	151
	計	0	61,762	0	0	0	61,762	57,758	4,004
医業外収益	預金利息	494		0			494	472	22
	国県等補助金	36,929	19	0			36,948	37,770	△ 822
	負担金交付金	296,149	15,695	16,286	9,191	7,095	328,130	326,036	2,094
	負担金交付金(本部費)	446		0			446	454	△ 8
	長期前受金戻入(現金を伴わない)(A)	31,331		0			31,331		31,331
	その他医業外収益	5,641	0	0	0	0	5,641	5,852	△ 211
	計	370,990	15,714	16,286	9,191	7,095	402,990	370,584	32,406
収益合計		1,523,700	77,476	19,276	11,821	7,455	1,620,452	1,598,650	21,802
医業費用	給与費	782,345	52,425	0			834,770	870,328	△ 35,558
	退職給付引当金(通常)	28,660		0			28,660	54,627	△ 25,967
	退職給付引当金(現金を伴わない)(B)	19,094		0			19,094	0	19,094
	賞与引当金繰入額	47,039	3,971	0			51,010	0	51,010
	材料費	220,981	37	102	91	11	221,120	239,860	△ 18,740
	経費	86,121	2,644	742	532	210	89,507	92,598	△ 3,091
	委託費	128,267	397	18	16	2	128,682	116,711	11,971
	減価償却費(C)	134,411	423	342	178	164	135,176	118,536	16,640
	資産減耗費(現金を伴わない)(D)	1,066	39	0			1,105	4,962	△ 3,857
	研究研修費	4,791	334	0	0	0	5,125	5,446	△ 321
	本部費	439		0			439	454	△ 15
	事業間負担金	0	9,768	8,931	5,991	2,940	18,699	16,497	2,202
	計	1,453,214	70,038	10,135	6,808	3,327	1,533,387	1,520,019	13,368
医業外費用	企業償還金(利子)・支払利息	30,452		0			30,452	32,278	△ 1,826
	その他医業外費用	3,804		0			3,804	2,855	949
	その他医業外費用(不納欠損分)(E)			0			0	1,192	△ 1,192
	事業間負担金(調整分)			0			0	0	0
計	34,256	0	0	0	0	34,256	36,325	△ 2,069	
特別損失	特別損失	41,884	3,533	0			45,417	0	45,417
費用合計		1,529,354	73,571	10,135	6,808	3,327	1,613,060	1,556,344	56,716
収益的収支(決算額)		△ 5,654	3,905	9,141	5,013	4,128	7,392	42,306	△ 34,914
年度末累積剰余金・累積欠損金		38,025	79,925	84,923			202,873	72,876	129,997

(資本的収支)

区分	病院事業(イ)	在宅介護支援事業(ロ)	診療所			(イ)+(ロ)+(ハ)	25年度	増減	
			計(ハ)	黒坂	二部				
企業債	企業債	22,200		0		22,200	65,200	△ 43,000	
負担金	負担金			0		0	32,400	△ 32,400	
補助金	補助金	261		0		261	67,960	△ 67,699	
固定資産売却代金	固定資産売却代金			0		0	0	0	
借入金	借入金			0		0	0	0	
貸付金償還	貸付金償還	1,200		0		1,200	966	234	
資本的収入計		23,661	0	0	0	0	23,661	166,526	△ 142,865
建設改良費	固定資産購入費	27,107		0		27,107	165,768	△ 138,661	
企業債償還金	企業債償還金(元金)	140,413		0		140,413	167,962	△ 27,549	
貸付金	奨学金貸付金	2,400		0		2,400	2,200	200	
借入金償還	借入金償還			0		0	0	0	
資本的支出計		169,920	0	0	0	0	169,920	335,930	△ 166,010
資本的収支		△ 146,259	0	0	0	0	△ 146,259	△ 169,404	23,145

(単年度資金収支)

現金を伴わない収益(A)	31,331	0	0	0	0	31,331		31,331
現金を伴わない費用(B)+(C)+(D)+(E)	154,571	462	342	178	164	155,375	123,498	31,877
単年度資金収支	△ 28,673	4,367	9,483	5,191	4,292	△ 14,823	△ 3,600	△ 11,223

資金不足負担金発生までの額	現金預金等残高(引当金除)(A)	年度末流動負債残高(B)	資金不足負担金発生までの額((A)-(B))
	542,244	50,178	492,066
			497,528
			△ 5,462

退職給付引当金残高	前年度引当金残高	退職給付引当金	退職給付金	引当金残高		
				総残高	増減	(内現金分)(内現金分増減)
	236,560	47,754	3人 20,578	263,736	27,176	244,642
						8,082

平成26年度病院事業等の決算について

1、総括的事項

病院事業は、高齢化率の高い中山間地における中核病院として、CT・MRI などの診療機器や、無菌手術の可能な手術室を備え、一般病床99床(内地域包括ケア病床25床)の入院業務と22診療科の外来診療に加え訪問診察を行った。

また、在宅介護支援事業及び診療所事業を行い「出かける医療・近づいていく医療と福祉」の推進を図った。

2、「出かける医療・近づいていく医療と福祉」

構成3町の交通手段は限られ、高齢者の通院を阻む要素になっている。

通院の利便性を図るため、公共交通機関のない地域に患者送迎車(ワゴン車)を走らせ、日野病院や診療所の間で運行させた。

また、訪問診察(週3日)に加え、在宅支援事業(訪問看護と訪問リハビリ)と診療所事業の充実を図り、可能な限り在宅での生活(療養)を支援している。(訪問診察と在宅支援事業は構成3町だけでなく県境を越え岡山県にも出かけている。)

(ア) 訪問診察

訪問診察の延べ患者数は、平成26年度で694人(平成25年度は679人)となり、在宅での生活(療養)を推進している。

平成16年度に購入した携帯型のレントゲン撮影装置、超音波断層装置及び心電計の導入により、訪問診療の充実を図っている。

(イ) 在宅介護支援事業

訪問看護、訪問リハビリ(理学療法士2名・作業療法士1名)、訪問服薬指導を行った。(作業療法士は平成23年度から)

平成26年度で訪問した延べ患者数は、訪問看護 1,815名(30名増)、訪問リハビリ 3,530名(6名増)、服薬指導 23名(薬剤師の退職により58名減)となっている。

(ウ) 診療所事業

無医地区の黒坂(日野町)と二部(伯耆町)に診療所を開所し診療を行った。

黒坂診療所は毎週火・木曜日、二部診療所は毎週水曜日に開所した。平成26年度延べ患者数は619名となった。(平成25年度延べ患者数は729名)

病院事業等は、在宅での療養の推進を図りながら現在の病院機能を維持していくことが必要と考えているが、今後鳥取県が策定する地域医療構想に基づき、新公立病院ガイドラインを策定するにあたり、機能や経営形態について検討し、周辺人口の減少による患者数の減少に対応していく必要がある。

平成26年度主な事業（病院事業等）

・鳥取大学地域医療総合教育研修センター開所（平成26年6月9日）

鳥取大学医学部地域医療学が、地域に必要な医療活動や、医学生の地域医療教育を行うほか、高齢化に伴う地域健康課題の解決に向けての研究、更には行政と連携して保健・医療・福祉を総合的に推進する地域包括ケアの構築に取り組むことを目的に、日野病院内に「鳥取大学地域医療総合教育研修センター」を開所した。

開所に伴い、平成26年6月からは、毎週木曜日に行っていた総合診療内科の診察が、毎週月曜日から木曜日の週4日となった。

また、月2回の糖尿病外来、毎週木曜日午後の黒坂診療所、7月からは毎週水曜日午後に訪問診察にも出かけて頂き医療支援を受けている。

総合診療内科	166回	1,337人（内ドッグ 222人）
糖尿病外来	22回	323人
黒坂診療所	39回	247人
訪問診察	26回	59人

・日野病院のこれからを考える研修会開催（平成26年11月21日）

日野病院は、現在22診療科の外来診察と一般病床99床の入院業務を行い、地域包括ケアシステムの一翼を担うべく10月からは亜急性期病床を地域包括ケア病床に転換し、「出かける医療、近づいていく医療」を実践しているところである。

日野病院がこれからも2年に1度の診療報酬改定に対応し、山間地の地域医療を守っていくことができるよう、日野病院に求められる機能や役割等について、情報の共有を図るため「日野病院のこれからを考える研修会」を開催した。

日時 平成26年11月21日（金）15時～17時

内容 研究発表

「山間地における服薬管理支援事業について」

演者：日野病院地域連携推進室MSW 山口 浩一

「訪問看護介入事例により在宅緩和ケアの現状を振り返る」

演者：日野病院在宅介護支援事業所師長 影山 光恵

講演

「日野病院における地域包括ケア病床の役割と現状」

演者：日野病院病院長 櫃田 豊
特別講演

「地域への貢献：地域中核病院のあり方」

演者：米子医療センター病院長 濱副 隆一

参加者 68名（議会関係者・行政関係者・病院職員 等）

・黒坂診療所開所10周年記念事業開催（平成27年3月25日）

平成17年2月25日に開所した黒坂診療所が、平成27年2月で10年を迎えたことを記念し、「黒坂診療所10周年記念イベント」を開催した。

当日は、おしどり学園閉校式に併せて記念講演を行い、午後からは職員による研究発表や活動報告等を行った。

日 時 平成27年3月25日（水）

場 所 日野町公民館（講堂・ロビー等）・黒坂診療所

内 容 記念講演

「季節の健康管理」

演者：日野病院病院長 櫃田 豊

「鳥取大学地域医療総合教育研修センターの取り組み」

演者：鳥取大学医学部地域医療学教授 谷口 晋一

研究発表

「訪問看護の現状と活動報告」

演者：在宅介護支援事業所師長 影山 光恵

活動報告

- ①黒坂診療所の10年間を振り返って（事務局）
- ②山間地中核病院における服薬管理支援事業について
（事務局地域連携推進室）
- ③肩こり・腰痛体操（リハビリテーション室）
- ④パソコンによる栄養診断・フードモデル展示（栄養管理室）
- ⑤フットケア・手洗いテッカー・看護師確保対策・看護の
宅配便・訪問看護ステーション・なんでも相談（看護局）

・診療体制の変更（土曜日休診について）

心臓外科・血管外科・ペースメーカー外来を火曜日午後に変更し、土曜日を休診とし、平日の外来診察の職員体制整備を図った。

平成26年度外来患者数は、22名の増（1日あたりの患者数13.7人増）であり、外来患者数への影響は少なかった。

・診療報酬改定に伴う病床変更について（平成26年10月～）

亜急性期病床25床（2階病棟14床・3階病棟11床）を地域包括ケア病床25床（2階病棟）に変更した。

（平成26年8月29日開催 日野病院組合議会全員協議会で説明）

亜急性期病床と地域包括ケア病床の違い

①基準について

内 容	亜急性期病床	地域包括ケア病床
1日あたり 診療単価	亜急性期 入院医療管理料① 2,119点 亜急性期 入院医療管理料② 1,965点	地域包括ケア 入院医療管理料① 2,558点 地域包括ケア 入院医療管理料② 2,058点
算定日数	60日まで	60日まで
人員配置	特になし	専従の常勤療法士1名
リハビリ	算定可能 ※リハビリあれば②にリハビリを 加算。なければ①のみ	算定不可 ※必要な患者に対して休日を含め 1日2単位（40分）以上必要。
在宅復帰率	60%以上 （あやめ・おしどり荘○）	70%以上 （あやめ・おしどり荘×） ※70%以下の場合は②を算定
看護必要度	なし	10%以上が必要 A項目1点以上

②地域包括ケア病床とは・・・

急性期医療を経過し医療の必要度は低下したが、すぐに在宅や施設に退院するには不安のある患者に対し、在宅復帰に向けて医療管理、診療、看護、リハビリを行うことを目的とした病床。

③対象となる患者は・・・

- 1) 入院治療により状態は改善したが、もう少し経過観察が必要な場合
- 2) 入院治療により症状が安定し、在宅復帰に向けてリハビリが必要な場合
- 3) 住宅改修等在宅での療養準備が必要な場合

④稼働状況

（単位：人、％）

	H26.10	H26.11	H26.12	H27.1	H27.2	H27.3	計
患者数	670	683	744	741	660	735	4,233
稼働率	86.5	91.1	96.0	95.6	94.3	94.8	93.0

平成26年度病院事業等の決算概要説明

日野病院組合は、病院事業・在宅介護支援事業・診療所事業と介護老人保健事業の4事業を行っていますが、病院事業・在宅介護支援事業・診療所事業の決算概要について説明します。

1、医業収支・各種統計について（28ページ～35ページ）

2、在宅介護支援事業について

訪問看護収益については、延べ利用者数が30人増加したことにより902千円の増収、訪問リハビリ事業は利用者数が6人増加したものの、7千円の減収、居宅支援収益は290件増加したため、3,109千円の増収となった。全体では4,004千円の増収となった。

3、診療所事業について

黒坂診療所は火曜日と木曜日の週2日の診療、二部診療所については水曜日のみの週1日の診療を行った。患者数は黒坂診療所が99人の減少、二部診療所は11人の減少となり、353千円の減収となった。

4、単年度資金収支について

平成26年度の単年度資金収支（現金）は、14,823千円の減となった。この額が運転資金（留保資金）から減額されることになる。（ただし、賞与引当金繰入額51,010千円を現金として繰り入れているため、実際は36,187千円の資金の増。）

5、負担金（追加分）発生の状況について

平成20年度に構成町の負担金（追加分）について発生の条件を、単年度資金収支の減による補てん（赤字補てん）から、運転資金（留保資金）不足の補てんへ変更した。このことにより、留保資金が病院の運営をしていく上での運転資金を下回った（資金不足を生じた）場合に限り、その額を負担金（追加分）として受けることになった。

したがって、仮に単年度において単年度資金収支（留保資金）が減少しても、運転資金を下回らない限り構成町からの負担金（追加分）が発生することはなくなった。

平成26年度末時点で、資金不足発生までの額は492,066千円となり、当分の間負担金（追加分）は発生することはない状況である。

6、退職手当引当金の実施について

平成19年度から実施している退職給与引当てについて、平成26年度は通常の率(165/1000)による引当てを22,500千円減額し、現金で28,660千円実施した。また、平成26年度から地方公営企業法の改正により、経過措置として毎年19,094千円の引当てを実施する。(現金を伴わない引当てで15年間実施)

3名の退職者に対し総額20,578千円の退職給与金の支払いを行い、残高は263,736千円となった。(内現金残高244,642千円)

7、病院事業等に対する地方交付税措置について

普通交付税について、1床あたりに対する措置額が6千円減少し、594千円の減となったが、起債償還に対する措置額が1,202千円増加した。全体では192,634千円の措置額となり、623千円の増となった。

特別交付税については、平成19年度から不採算地区病院の対象となっており、また平成20年度からはへき地医療に対する措置も対象となっているが、平成24年度決算において累積剰余金が発生したため、基礎年金拠出金に対する措置がなくなった。派遣医師に対する措置額が増加したため措置額は745千円増加し、149,611千円となった。

交付税措置額は全体で342,245千円となり、1,368千円の増となった。

8、累積剰余金の処分について

平成18年度に約6億円あった累積欠損金が、平成19年度以降の黒字決算の継続により、平成24年度決算終了時点で累積剰余金に転じている。

平成26年度決算終了後、地方公益企業法の改正により資本剰余金を累積剰余金に122,605千円振り替えを行ったため、平成26年度決算終了時点で、累積剰余金は202,873千円となった。

剰余金の処分方法については、条例の定めによるか議会の議決を要することとされているが、平成26年度決算において発生した累積剰余金については、未処分利益剰余金として扱う。

9、日野病院経営計画プラン(公立病院改革プラン)の策定及び評価について

日野病院は平成20年度に「日野病院安定経営プラン」を策定し、現在は平成24年度に策定した「日野病院経営計画プラン」により目標数値を設定している。プランの評価(数値目標に対する実績)は別紙のとおり。

1. 医業収支について

平成26年度の決算の中から、収入については構成町からの負担金・補助金等、支出については起債償還額等を除いた医業収支については…

医業収支…診療報酬等を収入とし、医業にかかる給与費・経費等を支出とした収支
*平成19年度から実施している退職給与引当ては、本来は給与費として医業収支に含めるべきものであるが、前年度との比較や他病院との比較を分かりやすくするため、この表においては除外している。

収益について、外来収益は一人あたりの単価が微減となったが、患者数が微増となった。入院収益は入院患者数の減により減収となった。（一人あたりの単価は、地域包括ケア病床の稼働により10月以降は増となった。）在宅介護支援事業の介護サービス収益は居宅支援収益の増により増加したが、診療所事業は患者数の減少により減収となった。全体では12,806千円の減収となった。

費用について、材料費・経費が減少したものの、給与費・委託費が増加したため、全体で5,256千円の増となった。

以上から、平成25年度と比較し18,062千円の収支の減となった。

（医業収入）

病院事業について、患者数が37,851人で、平成25年度と比較し22人の増となったが、一人あたりの診療単価が8,507円となり162円減少したため、外来収益は5,927千円の減収となった。

入院収益は、患者数が25,373人で、平成25年度と比較し316人の減少となった。一人あたりの診療単価についても29,619円で、平成25年度と比較し27円減少したため、全体で10,063千円の減収となった。

在宅介護支援事業については、訪問看護利用者が30人増、訪問リハビリ利用者が6人増、居宅介護支援件数が290件増加したため、全体で4,004千円の増収となった。

診療所事業については、患者数が黒坂診療所が99人の減少、二部診療所が11人の減少となったため、353千円の減収となった。

その他の医業収益は、室料差額が2,219千円の減収、保健予防活動収益が1,039千円の増収、その他医業収益が713千円の増収となった。

（医業費用）

職員給与費については、看護師の増及び手当（賞与引当金繰入額）の増により15,452千円の増、材料費が18,740千円の減、経費が3,091千円の減となったが、委託費は病院警備委託及び消費税率のUPにより11,971千円の増となった。

平成26年度決算 医業収支(介護・診療所)年度比較表

(収益)

(単位:千円)

内訳	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	差引	備 考	
外来収益	病 院	320,706	309,136	315,063	315,215	308,719	328,039	327,934	322,007	△ 5,927	年間外来患者数 37,851人(1人あたり 8,507円)
	在 宅	35,935	35,698	47,758	49,602	51,221	56,579	57,758	61,762	4,004	訪問看護(17,990千円)・訪問リハビリ(25,779千円)・居宅介護等(17,993千円)
	診療所	5,400	8,575	6,062	5,276	4,685	4,504	3,025	2,672	△ 353	黒坂(2,356千円)・二部(316千円)
入院収益	788,250	769,926	843,754	784,437	795,516	755,900	761,575	751,512	△ 10,063	年間入院患者数 25,373人(1人あたり 29,619円)	
室料差額	30,055	27,028	27,847	25,313	25,643	24,878	24,068	21,849	△ 2,219	稼働率(特別室 24.7%・個室A 50.4%・個室B 66.9%)	
保健予防	25,559	23,782	30,900	24,545	23,926	23,754	22,432	23,471	1,039	ドック・予防接種・各種検診等	
その他	12,952	16,743	17,163	18,283	18,269	17,805	14,777	15,490	713	文書料等	
計(A)	1,218,857	1,190,888	1,288,547	1,222,671	1,227,979	1,211,459	1,211,569	1,198,763	△ 12,806		

(費用)

内訳	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	差引	備 考
給 与 費	748,930	765,375	814,170	838,471	845,625	868,956	870,328	885,780	15,452	給与(338,485千円)・手当(234,876千円)・賃金(191,123千円)・法定福利費(121,296千円)
退職給与金等	91,974	87,955	123,765	102,250	55,900	106,607	54,627	47,754	△ 6,873	通常分28,660千円(給料×165/1000) * 22,500千円減額・経過措置分19,094千円
材 料 費	249,847	232,142	270,647	228,200	232,206	218,570	239,860	221,120	△ 18,740	医薬品費・薬品費・診療材料費等
経 費	75,981	78,208	76,716	77,119	83,386	91,180	92,598	89,507	△ 3,091	消耗品・光熱水費等
委 託 費	107,408	104,852	109,140	108,711	115,214	123,093	116,711	128,682	11,971	給食・寝具・検査委託等
減価償却費等	110,461	100,956	105,455	102,247	109,899	112,702	123,498	136,281	12,783	減価償却費(135,176千円)・資産減耗費(1,105千円) * 内制度改正増額分(18,859千円)
その他	4,027	4,193	5,150	5,981	6,590	5,934	5,900	5,564	△ 336	研究研修費(5,125千円)・本部費(439千円)
計(B)	1,388,628	1,373,681	1,505,043	1,462,979	1,448,820	1,527,042	1,503,522	1,514,688	11,166	

(収支)

内訳	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	差引	備 考
計(A)―(B)	△ 169,771	△ 182,793	△ 216,496	△ 240,308	△ 220,841	△ 315,583	△ 291,953	△ 315,925	△ 23,972	医業収益計(A)―医業費用計(B)
(前年度との比較)	82,016	△ 13,022	△ 33,703	△ 23,812	19,467	△ 94,742	23,630	△ 23,972		制度改正による減価償却費の増額分(18,859千円)を除くと△5,113千円

* 医業収支以外の主なもの

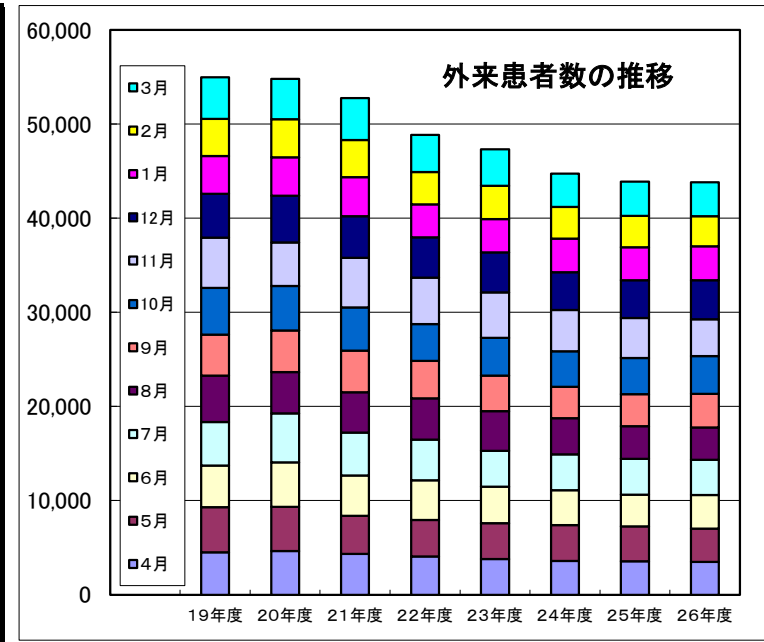
(単位:千円)

(収入)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	差引	備 考
負 担 金	202,261	218,825	313,784	332,612	344,362	344,922	326,036	328,130	2,094	交付税措置額(不採算地区病院・へき地医療 含む)
補 助 金	41,218	40,990	38,620	38,967	38,234	38,083	37,770	36,948	△ 822	建設費にかかる支払利子の1/2・輪番制補助金 等
(支出)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	差引	備 考
起債償還等	126,056	129,792	135,149	147,996	163,786	176,691	200,240	170,865	△ 29,375	元金 140,413千円・利子 30,452千円

(外来患者数の推移)

(単位:人)

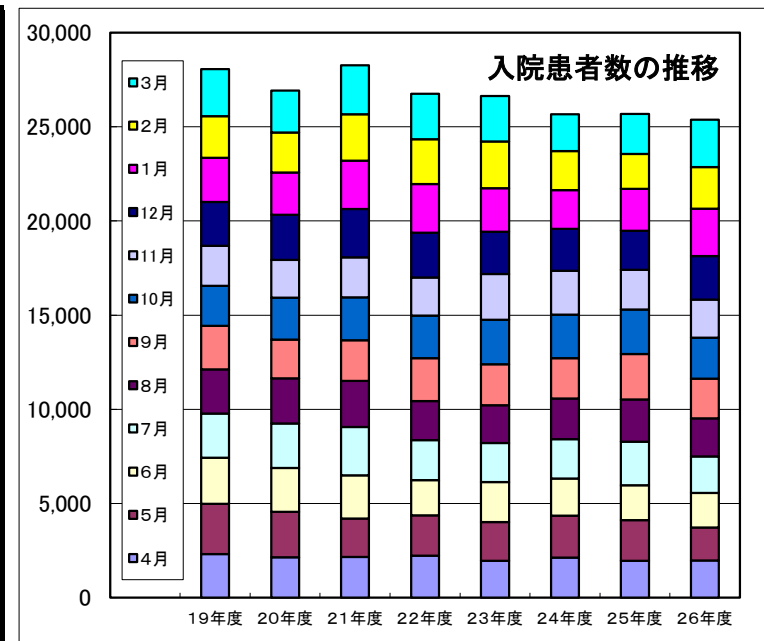
患者数	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	差引
4月	4,522	4,629	4,342	4,073	3,806	3,582	3,569	3,503	△ 66
5月	4,780	4,718	4,050	3,855	3,780	3,815	3,697	3,531	△ 166
6月	4,405	4,730	4,288	4,216	3,889	3,717	3,367	3,556	189
7月	4,655	5,179	4,536	4,334	3,807	3,789	3,818	3,759	△ 59
8月	4,924	4,400	4,299	4,376	4,214	3,861	3,461	3,418	△ 43
9月	4,330	4,418	4,399	3,974	3,792	3,324	3,376	3,587	211
10月	4,980	4,735	4,612	3,932	3,984	3,761	3,842	3,998	156
11月	5,339	4,616	5,274	4,904	4,850	4,388	4,261	3,893	△ 368
12月	4,663	4,944	4,414	4,297	4,252	4,011	4,021	4,158	137
1月	4,011	4,082	4,157	3,511	3,542	3,565	3,500	3,616	116
2月	3,926	4,058	3,935	3,415	3,540	3,375	3,339	3,177	△ 162
3月	4,447	4,289	4,449	3,967	3,870	3,535	3,616	3,619	3
計	54,982	54,798	52,755	48,854	47,326	44,723	43,867	43,815	△ 52



(入院患者数の推移)

(単位:人)

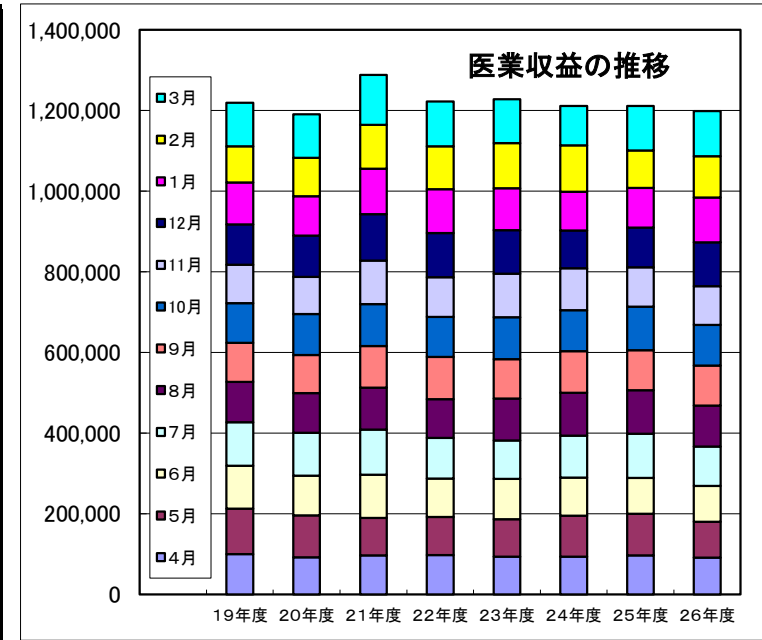
患者数	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	差引
4月	2,314	2,149	2,158	2,233	1,960	2,131	1,953	1,975	22
5月	2,671	2,406	2,041	2,132	2,056	2,225	2,158	1,743	△ 415
6月	2,454	2,340	2,304	1,872	2,129	1,977	1,856	1,843	△ 13
7月	2,338	2,359	2,559	2,134	2,062	2,085	2,318	1,943	△ 375
8月	2,352	2,387	2,450	2,062	2,006	2,153	2,234	2,016	△ 218
9月	2,303	2,053	2,161	2,284	2,172	2,140	2,425	2,108	△ 317
10月	2,122	2,230	2,266	2,252	2,363	2,323	2,362	2,179	△ 183
11月	2,126	2,014	2,128	2,035	2,436	2,323	2,093	2,024	△ 69
12月	2,325	2,393	2,571	2,379	2,246	2,220	2,079	2,312	233
1月	2,355	2,235	2,568	2,583	2,304	2,057	2,220	2,517	297
2月	2,197	2,136	2,452	2,373	2,487	2,070	1,864	2,207	343
3月	2,500	2,225	2,603	2,423	2,410	1,964	2,127	2,506	379
計	28,057	26,927	28,261	26,762	26,631	25,668	25,689	25,373	△ 316



(収益の推移)

(単位:千円)

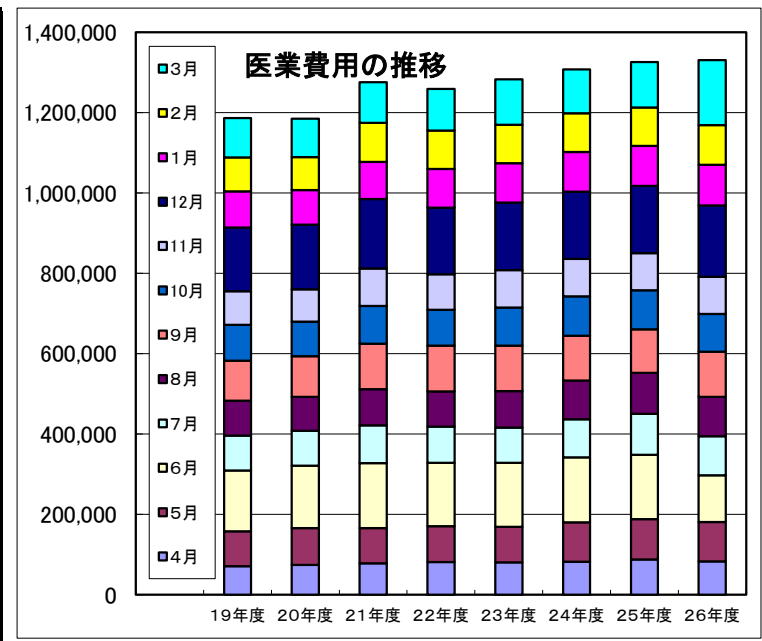
収益	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	差引
4月	99,881	91,893	96,799	97,222	93,129	93,388	96,962	91,271	△ 5,691
5月	112,525	104,315	92,480	94,933	93,323	101,644	103,053	88,981	△ 14,072
6月	106,685	97,832	107,721	94,857	99,813	94,693	88,846	88,561	△ 285
7月	107,544	106,994	111,804	100,710	95,533	103,445	109,755	97,897	△ 11,858
8月	100,296	98,338	103,986	96,379	103,533	106,746	107,556	101,608	△ 5,948
9月	97,191	93,858	103,118	104,669	98,115	103,541	99,282	99,268	△ 14
10月	98,426	101,600	103,635	99,669	104,143	101,154	107,655	101,007	△ 6,648
11月	95,240	92,625	108,052	97,871	108,031	104,203	97,611	95,528	△ 2,083
12月	99,879	102,124	115,017	109,497	107,397	93,570	98,976	108,759	9,783
1月	103,921	97,724	113,249	109,363	104,209	96,464	98,197	111,663	13,466
2月	89,362	95,433	108,316	106,083	112,044	114,722	93,144	102,095	8,951
3月	107,907	108,152	124,049	111,418	108,709	97,889	110,532	112,125	1,593
計	1,218,857	1,190,888	1,288,226	1,222,671	1,227,979	1,211,459	1,211,569	1,198,763	△ 12,806



(費用の推移)

(単位:千円)

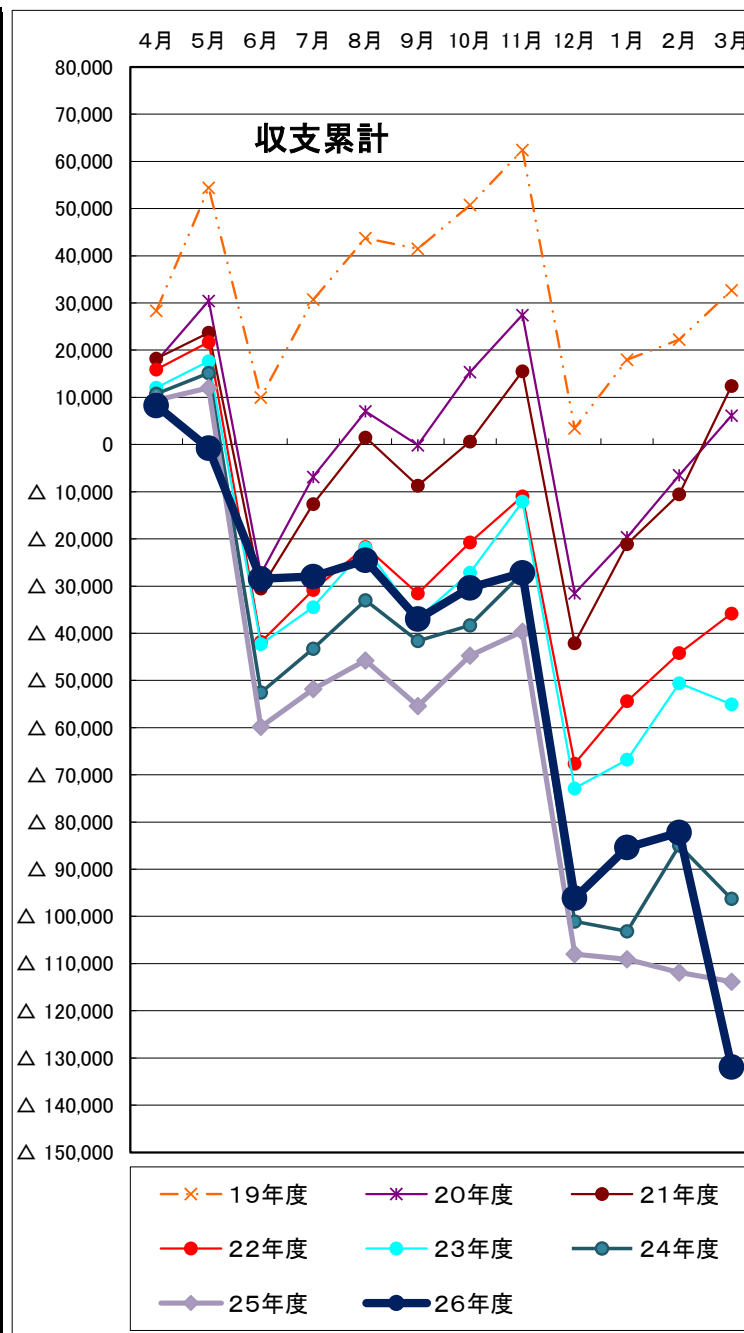
費用	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	差引
4月	71,533	74,291	78,617	81,334	81,080	82,630	87,539	83,018	△ 4,521
5月	86,445	91,471	86,941	89,124	87,717	97,260	100,489	97,984	△ 2,505
6月	151,121	155,669	161,942	158,360	159,770	162,381	160,669	116,277	△ 44,392
7月	86,826	86,463	93,921	89,738	87,686	94,179	101,757	97,408	△ 4,349
8月	87,285	84,455	89,883	87,267	90,964	96,462	101,467	98,158	△ 3,309
9月	99,424	101,027	113,308	114,517	113,095	112,177	108,969	111,747	2,778
10月	89,167	86,110	94,328	88,825	94,450	97,820	96,935	94,366	△ 2,569
11月	83,580	80,512	93,135	88,133	92,950	93,123	92,535	92,386	△ 149
12月	158,862	161,136	172,614	166,105	168,168	167,413	167,309	177,691	10,382
1月	89,378	85,800	92,276	96,127	98,122	98,571	99,331	100,914	1,583
2月	85,084	82,330	97,735	95,935	95,861	96,524	95,939	98,935	2,996
3月	97,488	95,506	101,117	103,017	113,158	109,193	112,458	161,769	49,311
計	1,186,193	1,184,770	1,275,817	1,258,482	1,283,021	1,307,733	1,325,397	1,330,653	5,256



(収支の推移)

(単位:千円)

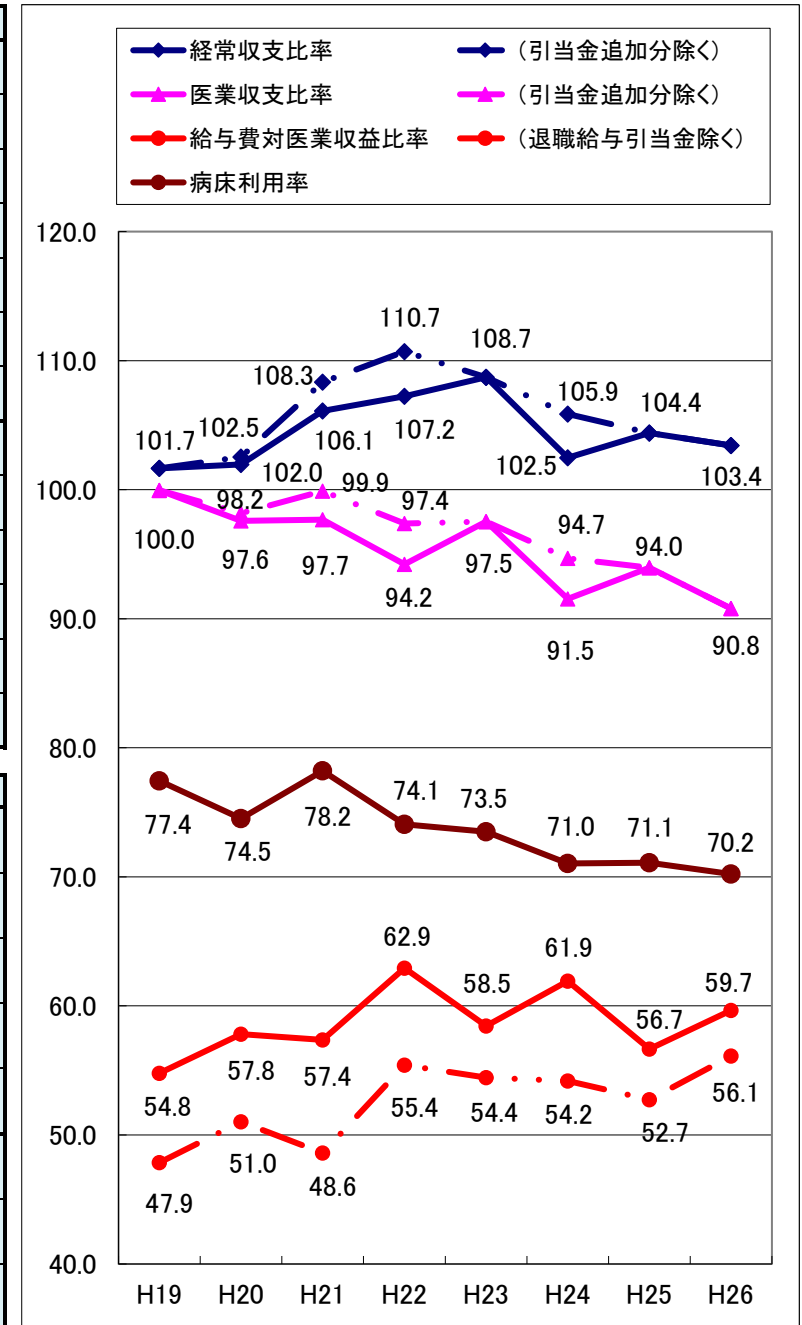
収支	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	差引
4月	28,348	17,602	18,182	15,888	12,049	10,758	9,423	8,253	△ 1,170
5月	26,080	12,844	5,539	5,809	5,606	4,384	2,564	△ 9,003	△ 11,567
6月	△ 44,436	△ 57,837	△ 54,221	△ 63,503	△ 59,957	△ 67,688	△ 71,823	△ 27,716	44,107
7月	20,718	20,531	17,883	10,972	7,847	9,266	7,998	489	△ 7,509
8月	13,011	13,883	14,103	9,112	12,569	10,284	6,089	3,450	△ 2,639
9月	△ 2,233	△ 7,169	△ 10,190	△ 9,848	△ 14,980	△ 8,636	△ 9,687	△ 12,479	△ 2,792
10月	9,259	15,490	9,307	10,844	9,693	3,334	10,720	6,641	△ 4,079
11月	11,660	12,113	14,917	9,738	15,081	11,080	5,076	3,142	△ 1,934
12月	△ 58,983	△ 59,012	△ 57,597	△ 56,608	△ 60,771	△ 73,843	△ 68,333	△ 68,932	△ 599
1月	14,543	11,924	20,973	13,236	6,087	△ 2,107	△ 1,134	10,749	11,883
2月	4,278	13,103	10,581	10,148	16,183	18,198	△ 2,795	3,160	5,955
3月	10,419	12,646	22,932	8,401	△ 4,449	△ 11,304	△ 1,926	△ 49,644	△ 47,718
計	32,664	6,118	12,409	△ 35,811	△ 55,042	△ 96,274	△ 113,828	△ 131,890	△ 18,062



決算統計数値の推移

項目	決算統計	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
医業収益 (A)	20表(2)	1,327,131	1,294,736	1,411,715	1,359,287	1,392,512	1,378,182	1,392,110	1,344,711
医業外収益 (B)	20表(15)	141,065	161,547	234,784	247,427	220,851	220,877	212,060	252,109
医業費用 (C)	20表(26)	1,327,780	1,326,718	1,445,214	1,442,771	1,427,809	1,505,721	1,481,548	1,481,150
医業外費用 (D)	20表(40)	116,571	101,661	106,675	55,582	56,267	54,778	55,060	62,861
職員給与費 (E)	20表(27)	727,069	748,513	809,819	855,347	813,925	853,402	788,720	802,275
材料費 (F)	20表(28)	237,753	220,924	257,591	213,502	221,220	208,079	228,454	204,652
うち薬品費 (G)	21表(22)	144,695	138,025	147,332	120,517	112,711	113,224	120,188	108,111
年延入院患者数 (H)	27表(6)	28,057	26,927	28,261	26,762	26,631	25,668	25,689	25,373
うち一般患者数 (I)	27表(1)	28,057	26,927	28,261	26,762	26,631	25,668	25,689	25,373
うち療養患者数 (J)	27表(2)	0	0	0	0	0	0	0	0
年延病床数 (K)	27表(12)	36,234	36,135	36,135	36,135	36,234	36,135	36,135	36,135
うち一般病床 (L)	27表(7)	36,234	36,135	36,135	36,135	36,234	36,135	36,135	36,135
うち療養病床 (M)	27表(8)	0	0	0	0	0	0	0	0

項目		H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
経常収支比率	$\frac{(A)+(B)}{(C)+(D)}$	101.7	102.0	106.1	107.2	108.7	102.5	104.4	103.4
医業収支比率	$\frac{(A)}{(C)}$	100.0	97.6	97.7	94.2	97.5	91.5	94.0	90.8
職員給与費対医業収益比率	$\frac{(E)}{(A)}$	54.8	57.8	57.4	62.9	58.5	61.9	56.7	59.7
材料費対医業収益比率	$\frac{(F)}{(A)}$	17.9	17.1	18.2	15.7	15.9	15.1	16.4	15.2
うち薬品費対医業収益比率	$\frac{(G)}{(A)}$	10.9	10.7	10.4	8.9	8.1	8.2	8.6	8.0
病床利用率	$\frac{(H)}{(K)}$	77.4	74.5	78.2	74.1	73.5	71.0	71.1	70.2
うち一般病床	$\frac{(I)}{(L)}$	77.4	74.5	78.2	74.1	73.5	71.0	71.1	70.2
うち療養病床	$\frac{(J)}{(M)}$	-	-	-	-	-	-	-	-



平成26年度 外来患者(介護・診療所含)分析

(単位:人)

収益

(単位:千円)

患者数	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	差引	稼働	平均	病院	訪問	診療所
4月	5,369	4,750	4,522	4,629	4,342	4,073	3,806	3,582	3,569	3,503	△ 66	21	166.8	26,113	5,100	270
5月	5,445	5,028	4,780	4,718	4,050	3,855	3,780	3,815	3,697	3,531	△ 166	20	176.6	28,342	4,996	227
6月	5,828	5,194	4,405	4,730	4,288	4,216	3,889	3,717	3,367	3,556	189	21	169.3	29,142	5,638	189
7月	5,726	4,959	4,655	5,179	4,536	4,334	3,807	3,789	3,818	3,759	△ 59	22	170.9	28,929	5,603	231
8月	6,396	5,524	4,924	4,400	4,299	4,376	4,214	3,861	3,461	3,418	△ 43	19	179.9	28,507	4,989	207
9月	5,528	4,945	4,330	4,418	4,399	3,974	3,792	3,324	3,376	3,587	211	20	179.4	27,691	5,454	199
10月	5,368	4,901	4,980	4,735	4,612	3,932	3,984	3,761	3,842	3,998	156	22	181.7	27,261	5,320	258
11月	5,940	5,323	5,339	4,616	5,274	4,904	4,850	4,388	4,261	3,893	△ 368	18	216.3	24,266	5,017	213
12月	5,232	5,058	4,663	4,944	4,414	4,297	4,252	4,011	4,021	4,158	137	19	218.8	27,889	5,016	211
1月	4,827	4,430	4,011	4,082	4,157	3,511	3,542	3,565	3,500	3,616	116	19	190.3	26,770	4,457	230
2月	4,949	4,346	3,926	4,058	3,935	3,415	3,540	3,375	3,339	3,177	△ 162	19	167.2	24,364	4,631	220
3月	5,416	4,866	4,447	4,289	4,449	3,967	3,870	3,535	3,616	3,619	3	22	164.5	22,733	5,541	217
計	66,024	59,324	54,982	54,798	52,755	48,854	47,326	44,723	43,867	43,815	△ 52	242	181.1	322,007	61,762	2,672

(内訳)

(単位:人)

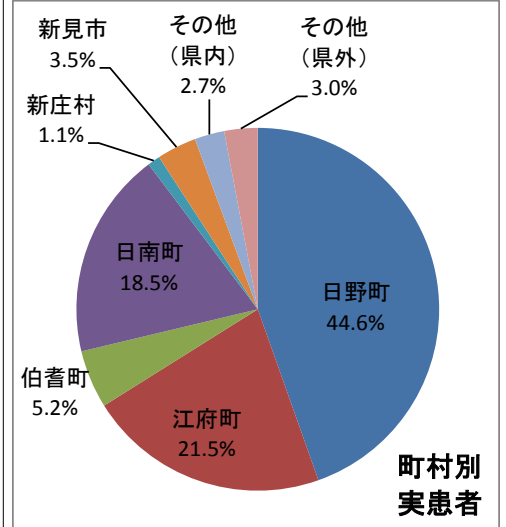
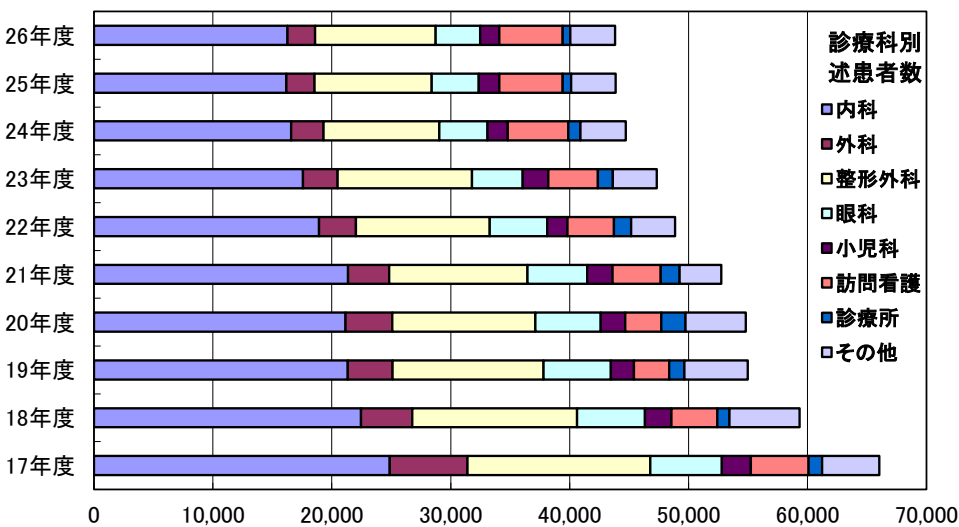
(単位:千円)

診療科	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	差引	稼働	平均	収益	診療単価	備考
内科	18,198	19,464	18,602	18,405	18,328	16,242	14,928	14,738	14,732	14,905	173	242	61.6	167,262	11,222	月～金
循環器内科	997	842	727	616	810	922	770	0	0	0	0	0		0	0	
消化器内科	712	803	712	818	955	851	868	804	683	576	△ 107	48	12.0	5,035	8,741	水
脳神経内科	4,953	1,334	1,307	1,300	1,261	900	1,010	1,043	750	778	28	49	15.9	5,068	6,514	木
外科	5,960	3,803	3,302	3,497	3,078	2,751	2,580	2,410	2,095	2,063	△ 32	240	8.6	16,628	8,060	月～金
整形外科	15,350	13,855	12,683	12,019	11,640	11,251	11,302	9,736	9,841	10,137	296	241	42.1	70,523	6,957	月～金
心臓血管外科	597	528	463	456	386	367	326	300	288	270	△ 18	35	7.7	1,901	7,041	第1～3火
眼科	6,018	5,703	5,654	5,488	5,006	4,832	4,255	4,053	3,956	3,742	△ 214	232	16.1	20,411	5,455	月～金
耳鼻咽喉科	950	917	845	922	727	698	760	731	723	694	△ 29	49	14.2	2,122	3,058	木
泌尿器科	1,462	1,505	1,391	1,350	1,304	1,438	1,495	1,598	1,420	1,350	△ 70	40	33.8	20,683	15,321	月
皮膚科	479	466	430	476	522	565	451	411	519	747	228	48	15.6	2,255	3,019	火
婦人科	566	285	445	174	167	78	68	147	191	168	△ 23	60	2.8	700	4,167	火・第1水
小児科	2,443	2,220	1,955	2,069	2,142	1,702	2,161	1,702	1,746	1,604	△ 142	242	6.6	4,826	3,009	月～金
心療内科	951	828	756	653	716	799	766	806	753	743	△ 10	51	14.6	4,406	5,930	金
アレルギー科	90	64	62	93	88	107	153	134	132	74	△ 58	242	0.3	187	2,527	月～金
居宅管理	298	1,824	1,415	1,394	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	
訪問看護・リハ	4,858	3,854	2,967	3,043	4,051	3,912	4,182	5,108	5,309	5,345	36	305	17.5	61,762	11,555	随時
黒坂診療所	1,142	1,029	1,042	1,814	1,442	1,311	1,157	905	649	550	△ 99	98	5.6	2,356	4,284	火・木
二部診療所	0	0	224	211	132	128	94	97	80	69	△ 11	49	1.4	316	4,580	水
計	66,024	59,324	54,982	54,798	52,755	48,854	47,326	44,723	43,867	43,815	△ 52	-	-	386,441	8,820	

(内訳)

(単位:人・%)

町 村 別 患者数	日野町	江府町	伯耆町	構成町 (小計)	日南町	新庄村	新見市	その他 (県内)	その他 (県外)	合計
実患者数*	2,082	1,005	242	3,329	862	52	165	124	139	4,671
割合 (%)	44.6	21.5	5.2	71.3	18.5	1.1	3.5	2.7	3.0	100.0



平成26年度 入院患者分析

(単位:人)

患者数	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	差引	稼働	平均	稼働率(%)	入院収益
4月	3,065	2,701	2,314	2,149	2,158	2,233	1,960	2,131	1,953	1,975	22	30	65.8	66.5	56,861
5月	2,660	2,456	2,671	2,406	2,041	2,132	2,056	2,225	2,158	1,743	△ 415	31	56.2	56.8	52,138
6月	2,689	2,736	2,454	2,340	2,304	1,872	2,129	1,977	1,856	1,843	△ 13	30	61.4	62.1	53,916
7月	2,796	2,453	2,338	2,359	2,559	2,134	2,062	2,085	2,318	1,943	△ 375	31	62.7	63.3	58,330
8月	2,359	2,166	2,352	2,387	2,450	2,062	2,006	2,153	2,234	2,016	△ 218	31	65.0	65.7	62,268
9月	2,277	2,179	2,303	2,053	2,161	2,284	2,172	2,140	2,425	2,108	△ 317	30	70.3	71.0	61,820
10月	2,661	2,351	2,122	2,230	2,266	2,252	2,363	2,323	2,362	2,179	△ 183	31	70.3	71.0	64,353
11月	2,553	2,435	2,126	2,014	2,128	2,035	2,436	2,323	2,093	2,024	△ 69	30	67.5	68.1	61,602
12月	2,589	2,359	2,325	2,393	2,571	2,379	2,246	2,220	2,079	2,312	233	31	74.6	75.3	69,405
1月	2,815	2,424	2,355	2,235	2,568	2,583	2,304	2,057	2,220	2,517	297	31	81.2	82.0	74,390
2月	2,434	2,355	2,197	2,136	2,452	2,373	2,487	2,070	1,864	2,207	343	28	78.8	79.6	66,781
3月	2,870	2,557	2,500	2,225	2,603	2,423	2,410	1,964	2,127	2,506	379	31	80.8	81.7	69,648
計	31,768	29,172	28,057	26,927	28,261	26,762	26,631	25,668	25,689	25,373	△ 316	365	69.5	70.2	751,512

(内訳)

(単位:人)

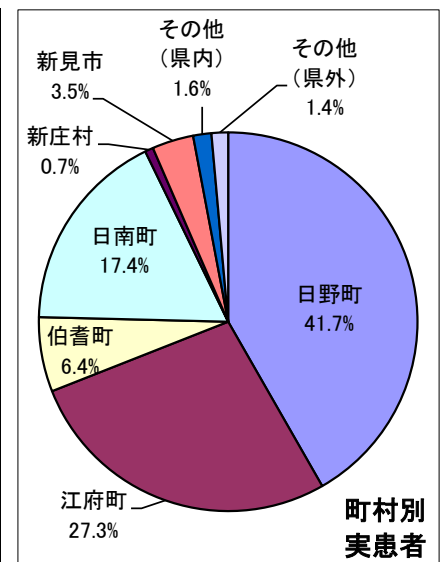
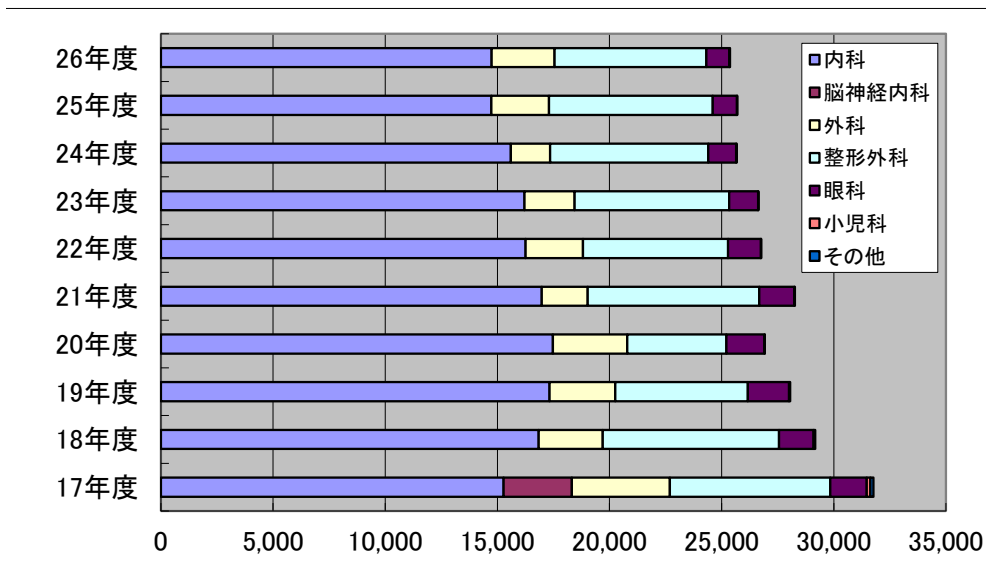
(単位:千円)

診療科	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	差引	稼働	平均	収益(千円)	単価(円)
内科	15,274	16,847	17,330	17,481	16,977	16,256	16,204	15,601	14,726	14,746	20	365	40.4	395,154	26,797
脳神経内科	3,048	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	365	0.0	0	—
外科	4,365	2,854	2,929	3,316	2,048	2,563	2,236	1,748	2,578	2,800	222	365	7.7	84,636	30,227
整形外科	7,152	7,859	5,904	4,411	7,655	6,464	6,895	7,060	7,293	6,772	△ 521	365	18.6	228,136	33,688
眼科	1,636	1,533	1,842	1,706	1,566	1,467	1,291	1,236	1,089	1,036	△ 53	365	2.8	43,007	41,513
小児科	152	79	52	13	15	12	5	23	3	19	16	365	0.1	579	30,474
その他	141	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	365	0.0	0	—
計	31,768	29,172	28,057	26,927	28,261	26,762	26,631	25,668	25,689	25,373	△ 316	365	69.5	751,512	29,619
平均患者数	87.0	79.9	76.7	73.8	77.4	73.3	72.8	70.3	70.4	69.5	平成18年8月以前(一般病床101床・療養病床16床)				
稼働率	74.4	76.1	77.4	74.5	78.2	74.1	73.5	71.0	71.1	70.2	平成18年8月以後(一般病床99床)				

(内訳)

(単位:人・%)

町村別患者数	日野町	江府町	伯耆町	構成町(小計)	日南町	新庄村	新見市	その他(県内)	その他(県外)	構成町以外(小計)	合計
実患者数*	295	193	45	533	123	5	25	11	10	174	707
割合(%)	41.7	27.3	6.4	75.4	17.4	0.7	3.5	1.6	1.4	24.6	100.0



施設・設備等整備状況

施設・設備等整備状況

設備

購入物品名	契約金額	契約年月日	契約の相手方
睡眠時無呼吸検査機器	1,879,200 円 (内消費税 139,200円)	平成26年4月1日	フクダライフテック中国(株)
院内情報システム一式	2,989,440 円 (内消費税 221,440円)	平成26年4月15日	オフィスオートメーションシステム(株)
ピンドライバー	259,200 円 (内消費税 19,200円)	平成26年4月22日	村中医療器(株)
食器消毒保管庫 1台	561,600 円 (内消費税 41,600円)	平成26年5月26日	有限会社エフエスエーシステムズ
輸液ポンプ	291,600 円 (内消費税 21,600円)	平成26年5月26日	村中医療器(株)
ジェットウォッシャー	3,780,000 円 (内消費税 280,000円)	平成26年5月26日	村中医療器(株)
電子内視鏡ビデオシステム一式	5,918,400 円 (内消費税 438,400円)	平成26年5月26日	成和産業(株)
超音波骨折治療器	351,000 円 (内消費税 26,000円)	平成26年5月26日	村中医療器(株)
経腸栄養ポンプ	151,200 円 (内消費税 11,200円)	平成26年6月12日	村中医療器(株)
手持型体外式超音波診断用プローブ	702,000 円 (内消費税 52,000円)	平成26年6月17日	東芝メディカルシステムズ(株)
耳鼻咽喉科診察ユニット一式	3,564,000 円 (内消費税 264,000円)	平成26年8月21日	小西医療器(株)
清拭車	156,600 円 (内消費税 11,600円)	平成26年9月16日	村中医療器(株)
防護対策キット 330セット	709,236 円 (内消費税 52,536円)	平成26年10月27日	株式会社エムバス
スチームコンベクションオーブン	2,106,000 円 (内消費税 156,000円)	平成26年12月12日	有限会社エフエスエーシステムズ
DPC調査ファイル出力システム	1,706,400 円 (内消費税 126,400円)	平成26年12月12日	株式会社ケイズ
インピーダンスオージオメーター	1,231,200 円 (内消費税 91,200円)	平成27年2月2日	小西医療器(株)

委員会活動状況

日野病院委員会(ワーキング) 構成表

番号	会議・委員会	ワーキング
0	管理者会議	幹事会
1	病院運営会議	人事委員会 倫理委員会
2	管理職会議	病院機能評価受審委員会
3	情報システム管理委員会	電子カルテ検討委員会 医療連携ネットワーク委員会
4	診療局会議	
5	医療技術局運営会議	リハビリ運営委員会 放射線室運営委員会 検査室運営委員会 薬剤管理室運営委員会 臨床工学室運営委員会
6	病院業務検討委員会	病院機能検討委員会 医師負担軽減対策委員会 医療機器購入検討委員会
7	看護業務検討委員会	外来業務委員会 病棟運営委員会 手術室運営委員会 透析室運営委員会
8	地域連携推進委員会	
9	輸血委員会	
10	物流委員会	薬事審議委員会 SPD委員会 委託業者連絡委員会
11	経営企画委員会	保険診療委員会 クリニカルパス委員会 褥瘡・NST委員会 がん研究及び対策委員会 生活習慣病対策委員会 ドック検診委員会 栄養管理委員会
12	医療安全管理委員会	医薬品安全管理委員会 医療機器安全管理委員会 医療ガス安全管理委員会 診療記録開示検討委員会
13	院内感染対策委員会	ICT委員会
14	労働安全衛生委員会	
15	診療記録管理委員会	
16	サービス推進委員会	
17	接遇向上委員会	
18	教育・研修委員会	図書委員会 BLS委員会
19	災害対策委員会	
20	個人情報保護対策委員会	

1. 病院運営会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第 98回	H26.4.25	7名	平成26年度各委員会及びワーキングの委員編成について 平成25年度部門別目標の評価及び平成26年度部門別目標の提出について 平成25年度年報作成に係る委員会活動報告・学会発表・業績等の入力について 各種マニュアルの見直し及び変更手続きについて 地域連携連絡会の開催について 看護の日イベントに実施について(5/14) 5月1日辞令交付について 患者さまの声について その他 3階公衆電話の撤去について 鵜の池マラソンの対応について(6/8) 看護必要度について 平成25年度決算(中締め)について
第 99回	H26.5.23	7名	平成25年度病院事業等の決算概況について 鳥取大学地域医療総合教育研修センター開所式及び看板上掲式について(6/9) 外来診察の変更予定について(平成26年6月～) 6月1日辞令交付について 医療事故の報告について 患者さまの声について その他 日野町国民健康保険運営協議会及び介護計画策定委員の推薦について
第100回	H26.6.20	7名	平成25年度決算分析における各種統計数値の確認について 日野病院組織表について 地域包括ケア病床の検討について 奨学金制度の検討について 7月1日辞令交付について 患者さまの声について その他 院内各種マニュアルの閲覧について 職員の夏季休暇について 日野郡民体育大会にかかる駐車場の使用について 日野町の産業医依頼について 平成26年度医学生・看護・薬学生サマーセミナーの開催について 「肺の日」市民公開講座の開催について 画像保管ディスク(NAS)の増設について
第101回	H26.7.25	7名	日野病院組合議会定例会の開催について(8/29) 職員の募集について 病床の変更について(地域包括ケア病床及び重症管理加算) 8月1日辞令交付について 黒坂診療所の木曜日担当医追加について 患者さまの声について その他 サマーセミナーの実施について 地域医療学の学生実習について
第102回	H26.8.29	6名	日野病院組合議会定例会の開催について(8/29) 日野病院組合職員の勤務時間変更について 外来診察医師の変更について(平成26年10月～) 卒後臨床研修医の予定について 鳥取県西部地区病院の病床一覧について 職員説明会の開催について 9月1日辞令交付について 患者さまの声について その他 日野町図書館による移動図書館の実施について
第103回	H26.9.19	5名	基本理念・基本方針の見直しについて 日野病院災害対策訓練の実施について(10/5予定) 肺炎球菌ワクチン及びインフルエンザ予防接種について 地域包括ケア病床の運用開始について(10月～)

			10月1日辞令交付について 患者さまの声について その他 火曜日当直の変更について 薬剤管理室の業務軽減について 透析の祝日勤務の対応について 夜勤勤務時間の対応について 学会発表の内容保存について
第104回	H26.10.24	6名	日野病院組合議会定例会の開催について(11/7) 日野病院組合人事評価の実施について 平成25年度年報について 職員のインフルエンザ予防接種実施及び罹患時の対応について 「日野病院のこれからを考える研修会」の開催について(11/21) 11月1日辞令交付について 患者さまの声について その他 平均在院日数の状況について 鳥取大学医学科4年生の地域医療体験について
第105回	H26.11.12 (臨時)	9名	病床機能報告について 施設基準の変更について(平均在院日数関係)
第106回	H26.11.21	7名	平成27年度当初予算要求について 日野病院職員表彰の推薦について 日野病院組合議会定例会の結果及び臨時会の開催について 施設基準の変更について 人事評価の運用(55才以上の昇給基準)について 平成28年度からのあやめの運営体制について 12月1日辞令交付について 患者さまの声について その他 鳥取大学からの病院訪問について 医療安全マニュアルの差し替えについて 「日野病院のこれからを考える研修会」の開催について 日野病院互助会忘年会の開催について 日野病院クリスマスイベントの開催について
第107回	H26.12.19	7名	日野病院組合議会臨時会の結果について 病院機能評価期中の確認について 奨学生の募集について 日野病院職員表彰の推薦について 地方交付税(負担金)の確定について 施設基準の変更について 仕事納め式及び仕事始め式(辞令交付)について 患者さまの声について その他 病室の運用について
第108回	H27.1.23	7名	日野病院組合議会定例会について(2/23) 平成26年度決算見込み及び平成27年度当初予算の状況について 平成27年度医療機器の購入について(当初予算計上予定) 平成27年度自治医科大学卒業医師の派遣について 日野病院職員表彰規程の変更について 施設基準の変更について 2月1日辞令交付について 患者さまの声について その他 医師の変更について(4月～) 黒坂診療所10周年について
第109回	H27.2.20	7名	日野病院組合議会定例会の開催について(2/23) 日野病院職員表彰について(局長表彰) 外来担当医師及び外来診療体制の変更について(4月～) 施設基準の変更について 地域医療総合教育研修センターとの連絡会開催について 3月1日辞令交付について 4月1日付人事異動について 患者さまの声について その他 退院調整看護師の配置検討について
第110回	H27.3.20	6名	3月31日(退職)及び4月1日付け辞令交付について

		<p> 新入職員オリエンテーションの実施について 外来診察及び医師の変更について 平成27年度各委員会及びワーキングに編成について 平成26年度部門別目標の評価及び平成27年度部門別目標の提出について 職員表彰について(院長表彰) スプリングセミナーの実施について 施設基準の変更について 患者さまの声について その他 医療管理マニュアルの変更について 日野病院組合議会定例会の結果について 日野病院組合議会臨時会について 黒坂診療所開所10周年記念事業の開催について 「医の倫理」研修会の実施について </p>
--	--	--

2. 管理職会議 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H26.4.30	12名	(1)3月末経営概況について (2)3月分各種統計について (3)各種委員会の議事録について (4)5月1日付辞令交付について (5)平成25年度年報作成に係る委員会活動報告及び業績の入力について (6)平成26年度各委員会及びワーキングの編成について (7)平成25年度部門別目標の評価及び平成26年度部門別目標の提出について (8)各種マニュアルの提出及びマニュアル作成・変更基準について (9)患者様の声について (10)その他 看護の日イベントについて
第2回	H26.5.28	11名	(1)4月末経営概況について (2)4月分各種統計について (3)各種委員会の議事録について (4)6月1日付辞令交付について (5)平成25年度病院事業等の決算概要について (6)鳥取大学地域医療総合教育研修センター開所式及び看板上掲式について (7)外来診療体制の変更について (8)患者様の声について (9)その他
第3回	H26.6.25	11名	(1)5月末経営概況について (2)5月分各種統計について (3)各種委員会の議事録について (4)7月1日付辞令交付について (5)院内各種マニュアルの閲覧について (6)平成25年度決算分析における各種統計数値について (7)日野病院組織表について (8)患者様の声について (9)その他 職員の夏季休暇について サマーセミナーの開催について 「肺の日」市民公開講座の開催について
第4回	H26.7.30	12名	(1)6月末経営概況について (2)6月分各種統計について (3)各種委員会の議事録について (4)8月1日付辞令交付について (5)サマーセミナーの実施について (6)職員の募集状況について (7)日野病院組合議会定例会の開催について(8/29) (8)病床の変更について(地域包括ケア病床及び重症管理加算) (9)黒坂診療所の木曜日担当医師追加について(谷口医師・井上医師)7月～ (10)患者様の声について (11)その他 地域医療総合教育研修センターに係る日野病院職員の意見について
第5回	H26.8.27	11名	(1)7月末経営概況について (2)7月分各種統計について (3)各種委員会の議事録について (4)9月1日付辞令交付について (5)卒後臨床プログラムの予定について (6)職員説明会の開催について(9/17-9/18) (7)外来診察の変更について(10月～)

			(8)患者様の声について (9)その他
第6回	H26.9.24	11名	(1)8月末経営概況について (2)8月分各種統計について (3)各種委員会の議事録について (4)10月1日付辞令交付について (5)卒後臨床プログラムの予定について (6)基本理念・基本方針等の見直しについて (7)日野病院災害対策訓練の実施について(10月5日) (8)肺炎球菌ワクチン及びインフルエンザ予防接種について (9)地域包括ケア病床の運用開始について(10月～) (10)外来診察の変更について(10月～) (11)患者様の声について (12)その他
第7回	H26.10.29	12名	(1)9月末経営概況について (2)9月分各種統計について (3)各種委員会の議事録について (4)11月1日付辞令交付について (5)卒後臨床プログラム研修医の受け入れについて (6)平成25年度年報作成に係る委員会活動報告及び業績等の入力について (7)日野病院組合議会定例会の開催について(11/7) (8)人事評価の実施について (9)職員のインフルエンザ予防接種の実施及び罹患時の対応について (10)「日野病院のこれからを考える研修会」の開催について(11/21) (11)平均在院日数の現状と対策について (12)地域医療学実習スケジュールについて (13)患者さまの声について (14)その他
第8回	H26.11.26	8名	(1)10月末経営概況について (2)10月分各種統計について (3)各種委員会の議事録について (4)12月1日付辞令交付について (5)卒後臨床プログラム今後の受け入れ予定について (6)平成27年度当初予算要求について (7)日野病院組合議会定例会の結果について (8)日野病院組合議会臨時会の開催について(12/1) (9)施設基準の変更について (10)患者さまの声について (11)その他
第9回	H26.12.25	12名	(1)11月末経営概況について (2)11月分各種統計について (3)各種委員会の議事録について (4)1月1日付辞令交付について (5)仕事納め式・仕事始め式について (6)看護師育成奨学生の募集について (7)日野病院組合議会臨時会の結果について (8)病院機能評価期中の確認について (9)地方交付税(負担金)の確定について (10)施設基準の変更について (11)患者さまの声について (12)その他 病室の運用について
第10回	H27.1.28	11名	(1)12月末経営概況について (2)12月分各種統計について (3)各種委員会の議事録について

			<ul style="list-style-type: none"> (4) 2月1日付辞令交付について (5) 平成27年度自治医科大学卒業医師の派遣について (6) 日野病院組合議会定例会の開催について(2/23予定) (7) 平成26年度決算見込み及び平成27年度当初予算の状況について (8) 平成27年度医療機器の購入について (9) 施設基準の変更について (10) 患者さまの声について (11) その他
第11回	H27.2.25	11名	<ul style="list-style-type: none"> (1) 1月末経営概況について (2) 1月分各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 3月1日付及び4月1日付けの人事異動について (5) 日野病院職員表彰(局長表彰)について (6) 日野病院組合議会定例会の結果について (7) 外来診療体制の変更について (8) 施設基準の変更について (9) 患者さまの声について (10) その他
第12回	H27.3.26	12名	<ul style="list-style-type: none"> (1) 2月末経営概況について (2) 2月分各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 新規採用職員オリエンテーションの実施について (5) 4月1日付人事異動について (6) 外来診療体制の変更について (7) 平成26年度部門別目標の評価及び平成27年度部門別目標の提出について (7) 日野病院組合議会臨時会の結果について (8) 施設基準の変更について (9) 患者さまの声について (10) マニュアルの改正について(医療安全マニュアル) (11) その他

(1) 病院機能評価受審委員会

活動報告

・期中の確認(認定から3年目となる年に、質改善活動の取り組み状況の確認をするもの)の実施
【期間:平成26年12月20日(開始)～平成27年5月26日(提出)】

3. 情報システム管理委員会

委員会開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H27.2.26	12名	<ul style="list-style-type: none"> ・情報系システムの運用について ・おしどりネット3運用状況について ・地域医療学講座画像参照システムについて ・インターネットを利用した情報共有システムについて ・PACSサーバ、バージョンアップに係る利用停止について

(1) 電子カルテ検討委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H26.5.8	15名	<ul style="list-style-type: none"> ・Q&A管理台帳より ・リストバンド認証について ・リハメイトによるWebカルテ参照について ・診療報酬改定について ・その他
第2回	H26.8.21	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・端末設定変更禁止について ・データ退避不具合について ・看護必要度新基準への設定変更について ・ノートPCバッテリー消耗について ・Q&A管理台帳より
第3回	H26.11.13	12名	<ul style="list-style-type: none"> ・サーバ再起動およびユニット交換について ・Q&A管理台帳より ・感染症検査表示設定変更について ・DPCによるデータ提出について
第4回	H27.2.12	15名	<ul style="list-style-type: none"> ・Q&A管理台帳より ・クライアント端末更新について

4. 診療局会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H26.5.27	10名	輸血委員会より輸血後3か月患者の検査依頼について 電子カルテ点滴に関する項目について 6月1日からの総合診療内科について 検査室機器に係る変更・検討事項について 地域医療総合教育研修センターについて
第2回	H26.6.24	10名	画像保管用量のための画像削除実施について 地域包括ケア病床について
第3回	H26.8.26	9名	人事異動について(整形外科) インフルエンザ・肺炎球菌ワクチン予防接種について
第4回	H26.10.28	9名	エボラ出血熱の国内発生を想定した医療機関における基本的な対応について 電子カルテ・検査等実施入力再確認についてのお願い
第5回	H26.11.25	8名	難病医療助成制度における指定について(難病指定医申請についてのお願い)
第6回	H27.1.27	8名	胃がん・大腸がん担当医について 院内使用の薬剤について(負担経費軽減の相談)
第7回	H27.4.28	8名	リハビリテーション算定項目について 院内使用の薬剤について 電子カルテ一時使用不可についてのお知らせ 診療局内での勉強会・抄読会開催について

5. 医療技術局運営会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H26.5.1	6名	各部署からの報告・管理職会議の報告・平成25年度各WGのまとめ
第2回	H26.5.29	5名	各部署からの報告・管理職会議の報告・鳥取大学地域医療総合教育センター
第3回	H26.6.26	5名	各部署からの報告・管理職会議の報告・日野病院組織表
第4回	H26.7.31	5名	各部署からの報告・管理職会議の報告・地域包括ケア病床
第5回	H26.8.28	4名	各部署からの報告・管理職会議の報告、職員説明会の開催について
第6回	H26.9.25	5名	各部署からの報告・管理職会議の報告、災害対策訓練、卒後臨床プログラム
第7回	H26.10.30	6名	各部署からの報告・管理職会議の報告、日野病院のこれからを考える会
第8回	H26.11.27	5名	各部署からの報告・管理職会議の報告、27年度予算要求について
第9回	H26.12.25	5名	各部署からの報告・管理職会議の報告、病院機能評価期中の確認
第10回	H27.1.29	6名	各部署からの報告・管理職会議の報告、高額医療機器の購入について
第11回	H27.2.26	7名	各部署からの報告・管理職会議の報告、職員表彰、外来診療体制の変更
第12回	H27.3.28	5名	各部署からの報告・管理職会議の報告、委員会及びワーキングの編成

活動報告

- ・医療技術局内の予算要求について各部門から意見を聞き対応し充実を図った
- ・鳥取大学地域医療総合教育センターへの対応を検討し協力した

(1) 検査室運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H.26.5.22	7名	・委員会要綱確認 ・平成25年度部門目標反省、平成26年度部門目標について ・検査機器更新に伴う変更、注意点
第2回	H26.8.29	6名	・メーカー(協和メデックス)精度管理調査結果について ・外来患者採血開始時間について
第3回	H26.12.18	6名	・時間外のインフルエンザ検査結果報告について ・年末年始検査センター休業に伴う受託不可項目について ・年末年始の臨床検査室勤務体制について
第4回	H.27.4.3	8名	・平成26年度部門目標の反省について ・精度管理調査結果報告 ・検査説明、相談ができる検査技師育成講習会参加報告

活動報告

- ・マニュアルの見直し
- ・新規採用検査項目の検討
- ・外部精度管理調査参加
- ・技師会主催研修会参加

7. 看護業務検討委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H26.4.11	12名	平成26年度 看護局活動方針(スローガン・重点目標) 平成26年度 目標管理について 各委員会活動メンバー決定 各委員会から活動報告 4月からの勤務体制(昇任・配置換・新採用) 「看護の日」イベントについて(5/14) 看護フェアについて(5/11):米子ホープタウン 「看護研究年間戦略～Let'sチャレンジ～:受講者2名 看護管理者研修・ファーストレベル:受講者3名 鳥取県実践が活きる看護診断研究会:連絡委員2名
第2回	H26.5.30	8名	各委員会からの活動報告 病院業務委員会各ワーキングの活動報告 「看護の日」イベント・「看護フェア」終了報告 就職ガイダンス参加報告 「第10回 鳥取県西部自治体病院看護研究発表会」開催について 各委員会活動報告 平成25年度 看護局会計報告・監査報告 職場体験実習・看護臨地実習(日野高校・日野中学・米子北高) 平成26年鳥取県看護職員実習指導要請講習会参加:1名
第3回	H26.6.27	8名	各委員会からの活動報告 病院業務委員会各ワーキングの活動報告 平成26年度診療報酬改定に伴う地域包括ケア病床取得についての概要説明
第4回	H26.7.15	9名	各委員会からの活動報告 病院業務委員会各ワーキングの活動報告 平成26年度診療報酬改定に伴う地域包括ケア病床取得についての決定報告
第5回	H26.8.19	7名	各委員会からの活動報告 病院業務委員会各ワーキングの活動報告 看護師応援事業について(8/26・9/10)ナースセンターニュース掲載 鳥取県看護協会主催シンポジウム参加「地域で育てる新人教育」(8/21)
第6回	H26.9.30	10名	各委員会からの活動報告 病院業務委員会各ワーキングの活動報告 医療マネジメント学会鳥取支部学術集会(9/27) 西部自治体病院看護部門懇談会:日南病院(9/17) 外来満足後調査終了報告(9/8～9/22)
第7回	H26.10.28	10名	各委員会活動報告 病院業務委員会各ワーキングの活動報告 院内研究発表会(10/15) 臨床実習指導者研修会履修報告会(10/23) DM・フットケア公開講座(10/23) 鳥取県看護協会主催シンポジウム参加(10/7) 地域医療講座学生合宿時口演参加 西部地区結核従事者研修参加 医療安全管理者養成研修会参加報告(10/10・11)

第8回	H26.11.11	8名	各委員会活動報告 病院業務委員会各ワーキングの活動報告 寝具類の棚卸後の補充 再チャレンジ教室1名参加報告(11/6)
第9回	H26.12.9	6名	各委員会活動報告 病院業務委員会各ワーキングの活動報告 平成27年度採用試験結果報告 人事異動について
第10回	H27.1.13	9名	各委員会活動報告 病院業務委員会各ワーキングの活動報告 西部自治体病院看護部門懇談会:西伯病院(1/28) 人事異動について
第11回	H27.2.9	9名	研修会報告:診療報酬と看護管理～磨きをかけよう!看護管理～:(2/7) 各委員会活動報告 病院業務委員会各ワーキングの活動報告
第12回	H27.3.10	11名	各委員会活動報告 病院業務委員会各ワーキングの活動報告 平成27年度看護管理者研修会ファーストレベル:1名参加 リウマチ・アレルギー相談員養成研修会受講終了報告 在宅医療推進のための看護師養成支援事業キックオフ会講演会・講師参加(3/21) 第9回鳥取県看護研究学会発表(3/7)報告 就職ガイダンス参加(3/22) 平成26年度 看護局成果報告会(各部署・各委員会)・プレゼンテーション

活動報告

- ・平成26年度 看護局運営方針 スローガン:「地域」という視座から考えた「看護」の探求と実践
- ・「看護の日」イベント:5/14
- ・看護局教育・研修プログラムの企画運営
- ・鳥大研修会参加
(感染対策コース・褥創ケアコース・下肢救済コース・救急・災害コース・がん看護・緩和ケアコース)
- ・西部自治体病院看護部門懇談会(6月・9月・1月)
- ・鳥取県実践が活きる看護診断研究会(11/8)口演1題発表・シンポジウム1演題発表
- ・全国自治体病院学会:宮崎(10/30・31)示説1題発表
- ・第11回鳥取県西部自治体病院看護研究発表会(11/1)口演2題発表:日南病院
- ・看護体験実習(日野中4名:6/16～6/21)(日野高1名:6/10・11・13)看護サマーセミナー(日野高1名:8/7)
- ・看護サマーセミナー(鳥取大学・兵庫県立総合衛生学院2名:8/19)
- ・看護専攻科臨地実習(米子北高看護専攻科1年生:2名10/14～10/31・11/25～12/12)
- ・再チャレンジ教室1名参加(11/6)
- ・リウマチ・アレルギー相談員養成研修会受講終了
- ・学校訪問(米子北高3年生)
- ・就職ガイダンス(3/22)
- ・鳥取県看護研究学会:鳥取県看護協会(3/7)口演1題発表
- ・ファーストレベル3名合格
- ・平成26年度看護局成果報告会(3/10)
- ・平成26年度看護局履修報告会(3/12)

(1) 外来業務委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H26.5.27	7名	外来患者満足度調査施行に関して 各部署からの報告
第2回	H26.8.26	8名	外来患者満足度調査実施日・方法に関して報告・協力依頼 各部署からの報告
第3回	H26.11.25		外来患者満足度調査アンケート集計報告資料を配布
第4回	H27.2.24	8名	往診時の申し合わせ再確認 各部署からの報告

活動報告

- *患者満足度調査施行
- *予約時間枠の廃止(消化器内科・呼吸器内科・泌尿科・総合診療内科)
- *残薬確認支援の流れの構築・伝達
- *検査のみで来院患者様の対応の仕方の徹底

(2) 病棟運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H26.6.6	8名	各部署からの報告及びNST委員会からの依頼
第2回	H27.2.19	6名	各部署からの報告 地域包括ケア病床稼働率及び看護必要度の正しく漏れのない入力について

活動報告

- ・「睡眠時無呼吸症候群」検査入院用クリニカルパスの作成
- ・地域包括ケア病床移動時の看護必要度入力の徹底
- ・退院時未来オーダーの確認と死亡時のオーダー中止について検査室への依頼

(3) 手術室運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H26.5.15	7名	手術室使用状況報告、作業環境測定結果報告、安全チェックの確認
第2回	H26.6.19	8名	手術室使用状況報告、購入物品報告、手術前手洗い方法の検討
第3回	H26.7.17	8名	手術室使用状況報告、ガス漏れ検知器故障について、針刺し事故防止の為縫合針検討

第4回	H26.8.21		手術の為、手術室使用状況等報告のみ
第5回	H26.9.18	7名	手術室使用状況報告、生体モニター点検結果報告
第6回	H26.10.16		手術の為、手術室使用状況等報告のみ
第7回	H26.11.20	7名	手術室使用状況報告、高圧蒸気滅菌器・ジェットウォッシャー点検結果報告、作業環境測定結果報告、研修会参加報告
第8回	H26.12.18	6名	手術室使用状況報告、EOG滅菌器点検結果報告、ビデオ喉頭鏡デモについて
第9回	H27.1.15	7名	手術室使用状況報告、修理器械について報告、勤務異動について、職務満足度調査について
第10回	H27.2.19	6名	手術室使用状況報告、看護助手マニュアル追加について、麻酔記録・手術パスについて
第11回	H27.3.19	7名	手術室使用状況報告、環境モニタリング結果報告、麻酔器点検結果報告
第12回	H27.4.16	6名	手術室使用状況報告、年間活動報告

活動報告

- ・手術前手洗い方法の検討及び導入
- ・安全チェックの徹底(誤認防止)
- ・医療機器の保守点検
- ・看護研究発表

(4)透析室運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H25.5.27	4名	透析室の現況、看護局の目標、業務改善について
第2回	H25.6.25	6名	透析室の現況、透析担当医について、業務改善について
第3回	H25.11.27	3名	透析室の現況、シャント図の作成、災害連絡シートについて
第4回	H26.4.10	3名	透析室の現況、業務改善点について、次年度へ向けて

活動報告

- * 穿刺針の再検討・・・現在は変更しない
- * 血液回路の変更
- * 注射指示の見落とし対策の検討・・・指示書のプリントアウト
- * シャント図を患者毎に作成
- * 災害時連絡シートの作成・・・見直しが必要
- * 救急カートの薬品の再検討・・・Drに依頼

(5)看護助手会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H26.6.2	6名	今年度のリーダー決定 寝具交換の日程確認 今年度の棚卸予定
第2回	H26.10.6	6名	寝具の管理状況 研修会参加状況(感染症について) 汚物入れ用ビニール袋の検討
第3回	H27.2.2	7名	手術室看護助手リリーの確認 寝具の不足状況確認・リネン類の棚卸について

活動報告

・リネン類の棚卸(6/25・10/28・3/30)

8. 地域連携推進委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H26.5.28	14名	1. 本年度委員会活動 ①日野町地域ケア会議への地域連携推進委員の参加 ②看取りの勉強会開催 2. 開催日
第2回	H26.6.25	14名	1. 病棟カンファレンス開催 2. 日野町地域ケア会議への地域連携推進委員の参加
第3回	H26.8.27	12名	1. 日野町「見える事例検討会」参加 2. 「医療介護福祉の地域連携に関するアンケート」実施
第4回	H26.9.24	5名	1. 日野町「見える事例検討会」参加 2. 「入院時の退院調整スクリーニングシート」の見直し
第5回	H26.10.22	13名	1. 日野町「見える事例検討会」参加 2. 「入院時の退院調整スクリーニングシート」の見直し
第6回	H26.11.26	13名	1. 日野町「見える事例検討会」参加 2. 「入院時の退院調整スクリーニングシート」の見直し
第7回	H27.2.18	12名	1. 日野町「見える事例検討会」参加 2. 「入院時の退院調整スクリーニングシート」の見直し
第8回	H27.3.25	13名	1. 「入院時の退院調整スクリーニングシート」の見直し 2. 「見える事例検討会」の今後の方針
第9回	H27.4.22	12名	1. 「入院時の退院調整スクリーニングシート」の見直し 2. 「退院時必要書類一覧票」の見直し 3. 地域連携推進室ホームページ作成

活動報告

- ・見える事例検討会体験講座への参加(H26.11.17)
- ・ファシリテーター養成講座への参加①(H27.2.28)
- ・ファシリテーター養成講座への参加②(H27.3.1)
- ・医療マネジメント学会鳥取支部会 学会発表(MSW)(H27.9.27)
- ・全国自治体病院学会 学会発表(MSW)(H27.10.30)

9. 輸血委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H26.5.26	8名	・血液製剤使用状況(平成25年度) ・平成26年度部門目標 ・輸血後感染症検査(説明書.同意書)について
第2回	H26.7.28	8名	・血液製剤使用状況 ・委員会要綱変更について ・鳥取県合同輸血委員会研修会参加報告 ・輸血後感染症検査について
第3回	H26.9.29	8名	・血液製剤使用状況 ・委員会要綱変更について ・輸血後感染症検査案内書について
第4回	H26.12.15	4名	・輸血後感染症検査案内書訂正箇所について ・輸血後感染症検査マニュアル追加について
第5回	H27.2.23	5名	・血液製剤使用状況 ・輸血後感染症検査マニュアルについて

活動報告

- ・血液製剤適正使用(廃棄)について検討
- ・輸血後感染症検査実施の検討(案内書、マニュアルの整備)
- ・輸血合同会議参加

10. 物流委員会

(1)SPD委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H26.5.12	7名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第2回	H26.6.9	7名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第3回	H26.7.14	6名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第4回	H26.8.11	7名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第5回	H26.9.12	6名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第6回	H26.10.20	6名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第7回	H26.11.10	7名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第8回	H26.12.8	7名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第9回	H27.1.14	5名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第10回	H27.2.9	7名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第11回	H27.3.9	6名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第12回	H27.4.17	5名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討

(2)委託業者連絡委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H26.5.13	6名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第2回	H26.6.10	8名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第3回	H26.7.8	6名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第4回	H27.8.12	7名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第5回	H26.9.9	7名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第6回	H26.10.14	7名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第7回	H26.11.11	7名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第8回	H26.12.9	8名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第9回	H27.1.13	7名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第10回	H27.2.10	7名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第11回	H27.3.10	7名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第12回	H27.4.14	8名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討

11. 経営企画委員会

(1) 褥瘡NST委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 名数	内容
第1回	H26.5.21	11名	4月24日褥瘡回診4人…メンバー参加4人 5月7日NSTミーティング…メンバー参加10人 5月8日褥瘡回診…1人…メンバー参加6人
第2回	H26.6.18	9名	5月22日褥瘡回診2人…メンバー参加7人 6月4日NSTミーティング2人…メンバー参加12人 棕田医師による勉強会「食えることとその周辺の話～胃瘻造設前嚥下機能評価 必須化に向けて」今年度胃瘻造設パス作成する。 6月12日褥瘡回診2人…メンバー参加8人 NST勉強会 嚥下評価1人 6月18日NSTミーティング1人 NST専門療法士実地研修:三好Ns参加
第3回	H26.7.16	7名	6月26日褥瘡回診4人…メンバー参加6人 7月2日NSTミーティング4人…メンバー参加11人 木村STのよる勉強会「嚥下機能ベットのサイドでのスクリーニング」 7月10日褥瘡回診3人…メンバー参加5人 7月16日NSTミーティング3人 電子カルテ食事摂取量の記載欄を上段にあげる。
第4回	H26.8.16	7名	7月24日褥瘡回診3人…メンバー参加5人 8月6日NSTミーティング3人…メンバー参加6人 PEG造設パスについて検討 8月7日褥瘡回診3人…メンバー参加7人
第5回	H26.9.16	9名	8月28日褥瘡回診3人…メンバー参加6人 9月3日NSTミーティング2人…メンバー参加7人 9月11日褥瘡回診3人…メンバー参加6人 9月16日胃瘻造設パス検討 ストーマケア研修木村多Ns、褥瘡学会参加:野坂Ns, 野津Ns NST稼働認定の更新のためのセミナー:棕田医師
第6回	H26.10.15	8名	9月25日褥瘡回診3人…メンバー参加6人 10月1日NSTミーティング1人…メンバー参加6人 10月9日褥瘡回診4人…メンバー参加7人 10月15日NSTミーティング3人 SGA記載時の活動係数・ストレス係数さしかえ
第7回	H26.11	7名	月2回の褥瘡回診 月2回のNSTミーティング
第8回	H26.12	7名	月2回の褥瘡回診 月2回のNSTミーティング
第9回	H27.1.21	7名	月2回の褥瘡回診 月2回のNSTミーティング
第10回	H27.2.18	11名	月2回の褥瘡回診 月2回のNSTミーティング
第11回	H27.3.18	8名	月2回の褥瘡回診 月2回のNSTミーティング
第12回	H27.4.15	7名	3月26日褥瘡回診3人…メンバー参加8人 4月1日NSTミーティング1人…メンバー参加8人 4月9日褥瘡回診3人…メンバー参加8人

- ・NST専門療法士実地研修:三好Ns参加
- ・胃瘻造設パス作成

(2)栄養管理委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 名数	内容
第1回	H26.5.19	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・胃瘻患者のとろみ水について ・夏場のお茶について ・第14回日野郡栄養士地域連携会議の報告 ・とろみ水の基準について ・寒天化使用シリンジの請求について ・患者さんからの退院時の声
第2回	H26.8.7	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・今夏の食中毒警報報告 ・糖尿病の表示カロリーについて ・検食について ・夏場の冷たいお茶について ・配膳車の配置について ・第15回日野郡栄養士地域連携会議予定について ・患者さんからの退院時の声
第3回	H26.11.14	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・GFOについて ・シリンジについて ・管理栄養士学生実習生受け入れについて ・第15回日野郡栄養士地域連携会議の報告 ・配膳車・食器容器に対しての要望について ・患者さんからの退院時の声
第4回	H27.3.4	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・ノロ対応の入院患者食事連絡体制について ・第16回日野郡栄養士地域連携会議の報告 ・管理栄養士学生実習生受け入れの報告について ・患者さんからの退院時の声

活動報告

- ・院内栄養士会議を毎週開催し、入院患者の食事内容・残食量等を検討。
- ・新入院患者全員の栄養スクリーニングを行い、多職種で栄養状態を検討。
- ・日本病態栄養学会、日本静脈経腸栄養学会、栄養士会主催研修会、各種栄養関連研修会等への参加。
- ・第15回、第16回、第17回日野郡栄養士地域連携会議を開催
 - 第15回:出席者…5施設 10名(場所:日野病院外来待合棟)
内容…バックタイプの濃厚流動について、糖尿病交換表の改訂について、各施設の好評献立の紹介、その他情報交換他。
 - 第16回:出席者…7施設10名(場所:日野病院外来待合棟)
内容…木村言語聴覚士による勉強会、各施設の好評献立の紹介、情報交換他。
講演:「正常な嚥下のメカニズムについて」
 - 第17回:出席者…4施設9名(場所:日野病院外来待合棟)
内容…とろみ茶・とろみ水の試飲、とろみ剤の統一化について、各施設好評献立の紹介、情報交換他。

(3)がん研究及び対策委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H26.5.26	18名	平成26年度の取り組みについて
第2回	H26.6.23	18名	研究発表:「最近外来でやってるがん治療について」 山本 直子
第3回	H26.7.28	18名	研究発表:「在宅での看取り支援」 影山 光恵、濱田 辰美
第4回	H26.8.25	8名	研究発表:「痛みについて考える」 田中 武志
第5回	H26.9.29	18名	研究発表:「がん治療における栄養」 仲石 康子
第6回	H26.10.27	12名	症例検討 2階病棟
第7回	H26.12.1	18名	研究発表:「緩和ケア」 松波 馨士
第8回	H26.12.22	12名	研究発表:「がんの統計と資料」 山口 浩一
第9回	H27.2.16	11名	研究発表:「病棟での理想の看取りに向けた多職種連携について」 3階病棟
第10回	H27.3.23	10名	研究発表:「リンパ浮腫マッサージ」 中村 弓子
第11回	H27.4.27	18名	平成26年度活動の振り返り

活動報告

- ・日本がん治療学会:研究発表 山本 直子
- ・日本緩和医療学会:研究発表 田中 武志

12. 医療安全管理委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人数	内容
第1回	H26.5.21	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・H26. 4月ヒヤリハットレポート集計結果報告(資料参照) ・事例共有(2例) ・「医療事故等報告書」影響レベル3a提出部署からの報告 ・H25年度ヒヤリハット事例に対する改善点・対策等のまとめ(資料参照) ・H25年度部門別目標について承認 ・平成26年度部門目標案について ・医療機器管理委員会から臨床工学士の管理範囲について
第2回	H26.6.18	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・H26. 5月ヒヤリハットレポート集計結果報告(資料参照) ・事例共有(2例) ・報告済「医療事故等報告書」事例の経過報告 ・医療安全必須研修会の開催月と内容について ・全国医療安全推進週間のイベントについて ・医療安全ニュース配布 ・環境ラウンド(9月・1月)チェックリスト作成について ・第1回医療安全交流会のお知らせ ・医療機器管理委員会より臨床工学士が点検する機器項目についての説明
第3回	H26.7.16	6名	<ul style="list-style-type: none"> ・H26. 6月ヒヤリハットレポート集計結果報告(資料参照) ・5月提出事例改善策の報告(2事例) ・事例共有(2例) ・8月医療安全必須研修会について ・山陰リスクマネジメント研究会について ・医療機器管理委員会から点検済み輸液ポンプの報告 ・日本マネジメント学会発表者
第4回	H26.8.20	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・H26. 7月ヒヤリハットレポート集計結果報告(資料参照) ・事例共有(レベル3a)と経過報告 ・第1号ポスター発行 ・必須研修会について ・日本医療マネジメント学会鳥取支部学術集会について ・医療安全管理者養成研修会第1回専門コースについて ・「医療事故が発生したら」の各部署配布ファイルに一部資料追加の承認
第5回	H26.9.17	7名	<ul style="list-style-type: none"> ・H26. 8月ヒヤリハットレポート集計結果報告(資料参照) ・事例共有(3例) ・8月必須研修会(医療機器管理・透析の説明)の報告(研修報告書参照) ・医療安全管理者養成研修会第1回専門コース参加者決定 ・安全環境ラウンドについて(日程・対象部署及び実施者) ・医療機器管理委員会、医療ガス委員会より報告事項
第6回	H26.10.15	7名	<ul style="list-style-type: none"> ・H26. 9月ヒヤリハットレポート集計結果報告(資料参照) ・事例共有(1例) ・「内服アセスメントシート」「内服アセスメント運用方法」のマニュアル変更の承認について ・医療機器管理委員会より器械点検開始のお知らせ ・安全環境ラウンド実施後の結果報告(別紙参照)
第7回	H26.11.19	7名	<ul style="list-style-type: none"> ・H26.10月ヒヤリハットレポート集計結果報告(資料参照) ・事例報告(レベル3a) ・安全環境ラウンド結果報告及び指摘事項についての改善策 ・必須研修会(薬剤関連)について ・全国医療安全推進週間のイベントについて ・医療機器管理委員会から臨床工学士管理の器械故障時の対応について
第8回	H26.12.17	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・H26.11月ヒヤリハットレポート集計結果報告(資料参照) ・事例共有(1例) ・10月レベル3a事例の経過報告 ・「内服アセスメントシート」「内服アセスメント運用方法」マニュアルの電子カルテ内差し替え済の報告 ・必須研修会(薬剤関連)の振り返り用紙集計結果報告 ・救急外来のサーボベンチレーター900Cサポート終了(H27. 3月まで)後の対応について ・H27. 1月必須研修会の内容について
第9回	H27.1.21	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・H26.12月ヒヤリハットレポート集計結果(資料参照) ・事例共有(5例) ・1月必須研修会(事故・災害対策)について ・医療機器管理委員会より機器の故障で損失届を提出する際には「管理番号」で管理されている機器は管理番号も記入すること

13. 院内感染対策委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H26.5.14	11名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、合同カンファレンス、平成25年度評価、平成26年度目標、ワクチン接種など
第2回	H26.6.11	10名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、針刺し事件事例検討、HIV抗菌薬、研修会案内など
第3回	H26.7.9	12名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、合同カンファレンス報告、抗菌薬耐性サーベイランスなど
第4回	H26.8.13	7名	感染状況・サーベイランス、MERS、エボラ出血熱、感染防護セットなど
第5回	H26.9.10	11名	感染状況・サーベイランス、抗菌薬耐性サーベイランス、針刺し事例検討、機能評価対応など
第6回	H26.10.8	10名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、地域支援ネットワーク会議、結核医療従事者研修、生花の対応など
第7回	H26.11.12	10名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、研修会報告、来年度予算など
第8回	H26.12.10	11名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、インフルエンザ、合同カンファレンス報告など
第9回	H27.1.16	12名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、針刺し事例報告、機能評価、集団感染事例など
第10回	H27.3.11	10名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、CRE、合同カンファレンス、環境感染学会報告など
第11回	H27.4.8	10名	感染状況・サーベイランス、平成26年度抗菌薬使用状況、研修会報告、MIC値、ラウンド時指摘事項など

活動報告

<p>・院内研修会開催</p> <p>4月 新人職員研修 講師:長尾</p> <p>11月 標準予防策 DVD鑑賞</p> <p>3月 嘔吐物処理 講師:長尾、リンクナース</p> <p>・院外研修会参加</p> <p>5月 感染制御総合カンファレンス 7名参加</p> <p>5月 山陰インфекションコントロールセミナー 9名参加</p> <p>9月 鳥取県抗菌薬耐性サーベイランス報告会 1名参加</p> <p>10月 西部医療圏感染制御地域支援ネットワーク会議 3名参加</p> <p>11月 山陰インフェクションコントロールセミナー 3名参加</p> <p>11月 鳥取県院内感染対策講習会 1名参加</p> <p>11月 米子医療フォーラム 3名参加</p> <p>1月 西部医療圏感染制御地域支援ネットワーク会議</p> <p>2月 環境感染学会発表 3名参加</p> <p>・マニュアルの作成・改訂・周知徹底</p>
--

(1)ICT委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H26.5.9	6名	委員会組織体制、院内感染対策指針
第2回	H26.6.1	4名	院内ラウンド、ワクチン接種プログラムなど
第3回	H26.7.18	7名	院内ラウンド、研修会報告など
第4回	H26.9.19	5名	院内ラウンド、抗菌薬サーベイランス、手指衛生サーベイランスなど
第5回	H26.10.17	6名	院内ラウンド、研修会報告など

14. 労働安全衛生委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H26.5.26	9名	・今年度の取り組みについて ・メンタルヘルスへの取り組みについて
第2回	H26.6.23	6名	・パワハラ・セクハラマニュアルの整備について ・安全パトロールの実施について ・休職復帰に向けての取り組みについて
第3回	H26.7.27	9名	・禁煙に対する取り組みについて ・定期健康診断再検査対象者について
第4回	H26.8.25	8名	・禁煙に対する取り組みについて ・メンタルヘルスに係る疾患における病気休暇者に対する委員会の関与について
第5回	H26.9.22	8名	・メンタルヘルス等における休暇について ・病気休暇、休職者におけるリハビリ勤務について
第6回	H26.10.27	7名	・安全パトロールの実施について ・職員インフルエンザ予防接種について
第7回	H27.2.23	7名	・安全パトロールチェックリストについて ・時間外・休日に関する協定届について
第8回	H27.4.27	9名	・電離放射線健康診断(病院機能評価機構指摘事項)について ・当年度部門目標評価について ・管理者・所属所内産業保健スタッフ研修会について

16. サービス推進委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H26.5.8	16名	委員会の開催方法について 平成26年度目標及び各事業(イベント関係・広報関係・地域貢献関係)の担当者について 看護の日イベントについて
第2回	H26.6.5	11名	前回議事録確認 協議・報告 ホームページ・広報関係について イベント関係について(5/22開催) 地域貢献関係について(5/14開催)
第3回	H26.7.3	11名	前回議事録確認 協議・報告 ホームページ・広報関係について イベント関係について(6/5開催) 地域貢献関係について(6/17開催)
第4回	H26.8.7	10名	前回議事録確認 協議・報告 ホームページ・広報関係について イベント関係について(7/3開催) 地域貢献関係について(7/15開催)
第5回	H26.9.4	9名	前回議事録確認 協議・報告 ホームページ・広報関係について イベント関係について(8/7開催) 地域貢献関係について(8/19開催)
第6回	H26.10.2	8名	前回議事録確認 協議・報告 ホームページ・広報関係について イベント関係について(9/4開催) 地域貢献関係について(9/16開催)
第7回	H26.11.6	12名	前回議事録確認 協議・報告 ホームページ・広報関係について イベント関係について(10/27開催) 地域貢献関係について(10/16開催)
第8回	H26.12.4	10名	前回議事録確認 協議・報告 ホームページ・広報関係について イベント関係について(11/6、11/25開催) 地域貢献関係について(11/18開催)
第9回	H27.1.8	6名	前回議事録確認 協議・報告 ホームページ・広報関係について イベント関係について(12/5開催) 地域貢献関係について(1/18開催)
第10回	H27.2.5	8名	前回議事録確認 協議・報告 ホームページ・広報関係について イベント関係について 地域貢献関係について(1/20開催)
第11回	H27.3.5	8名	前回議事録確認 協議・報告 ホームページ・広報関係について イベント関係について 地域貢献関係について(2/17開催)
第12回	H27.4.2	8名	前回議事録確認 協議・報告 ホームページ・広報関係について イベント関係について 地域貢献関係について(3/17開催) その他 活動報告まとめ依頼

活動報告

【ホームページ・広報関係】

随時：ホームページ更新

- 5月：せせらぎ50号発行
日野町広報5月号(看護師募集について)
- 6月：日野町広報6月号(外来の変更について)
- 7月：日野町広報7月号(大学研修センターの開所、職員募集について)
- 8月：日野町広報8月号(納涼会のお知らせについて)
- 9月：せせらぎ51号発行
日野町広報9月号(柳楽先生の異動について)
- 10月：日野町広報10月号(インフルエンザ予防接種について)
- 11月：日野町広報11月号(クリスマスイベントのご案内)
- 12月：日野町広報12月号(年末年始の休診について)
- 1月：せせらぎ52号発行
日野町広報1月号(看護師育成奨学金について)
- 2月：日野町広報2月号(インフルエンザ・ノロウイルスについて)
- 3月：せせらぎ臨時号発行
日野町広報3月号(黒坂診療所10周年イベントについて)
- 4月：日野町広報4月号(看護の日イベントのお知らせ)

【地域貢献関係】

- 5月：看護の日イベント参加
- 6月：看護の宅配便 6月17日
- 7月：看護の宅配便 7月15日
- 8月：看護の宅配便 8月19日
- 9月：看護の宅配便 9月16日
- 10月：看護の宅配便 10月16日
- 11月：看護の宅配便 11月18日
- 12月：クリスマス会に参加
- 1月：看護の宅配便 1月20日
- 2月：看護の宅配便 2月17日
- 3月：看護の宅配便 3月17日
- 4月：看護の宅配便 4月16日

【イベント関係】

- 夕涼み会 8月29日 ミュージカル・展示・ゲームなど
- クリスマス会 12月20日 トーンチャイム・ミュージカル
- 看護の日イベント 5月17日 「1日看護局長」委託式・健康相談・手洗いチェッカーなど
- 飾りつけ
 - 七夕の飾り
 - クリスマス
 - お正月
 - ひな祭り
 - 鯉のぼり

17. 接遇向上委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H26.5.19	6名	平成26年度年間スケジュールと目標の立案 6月開催予定全職員対象接遇研修会についての打ち合わせ
第2回	H26.6.24	5名	全職員接遇研修についての打ち合わせ 次年度予算について
第3回	H26.7.22	4名	接遇研修会中止 患者・職員向けアンケートについての話し合い
第4回	H26.8.26	4名	接遇研修代案についての話し合い 職員向けアンケートについて 2階病棟接遇委員補充について
第5回	H26.10.28	4名	アンケート実施について 接遇研修について 接遇週間(接遇を啓蒙できるような期間)に向けた話し合い
第6回	H26.11.25	2名	12月開催予定アンケートについての話し合い
第7回	H27.2.24	3名	今月開催の医療安全・接遇合同研修会について
第8回	H27.4.28	4名	平成26年度 部門別目標・年間計画の反省

18. 教育研修委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H26.5.8	10名	平成26年度教育研修委員会、要綱・目標の検討、年間スケジュール立案
第2回	H26.6.12	11名	BLS講習会、接遇向上委員会主催研修会への準備打ち合わせ 「医の倫理」研修会開催に向けた検討
第3回	H26.7.10	10名	BLS講習会、接遇向上委員会主催研修会への準備打ち合わせ 「医の倫理」研修会開催に向けた検討
第4回	H26.8.7	9名	接遇向上委員会主催研修会の中止報告、 BLS講習会、医療安全管理委員会主催研修会への準備打ち合わせ
第5回	H26.9.11	9名	平成25年度日野病院決算報告会、BLS講習会、報告、準備打ち合わせ 病院機能評価からの課題検討(参加率100%にするには?)
第6回	H26.10.9	10名	院内感染対策委員会主催研修会準備打ち合わせ BLS講習会、報告、準備打ち合わせ
第7回	H26.11.13	8名	教育研修委員会主催、人権研修会の開催回数の検討 医療安全管理委員会主催研修会への準備打ち合わせ
第8回	H26.12.11	10名	教育研修委員会主催、人権研修会の開催時期の検討
第9回	H27.1.15	10名	「医の倫理」研修会開催に向けた検討
第10回	H27.2.12	12名	医療安全管理委員会主催医療ガス取り扱い研修会開催報告 接遇向上委員会・医療安全管理委員会主催合同研修会準備打ち合わせ、
第11回	H27.3.12	10名	教育研修委員会主催人権研修会準備打ち合わせ 院内感染対策委員会主催研修会準備打ち合わせ
第12回	H27.4.9	10名	「医の倫理」研修会開催準備打ち合わせ、 年間を通じての反省

活動報告

- ・平成26年度教育研修委員会にて決定された年間研修スケジュールは日時の変更等あったものの全て開催
- ・平成26年度の主な活動内容
 - ①年間研修スケジュールの企画
 - ②各委員会主催研修会のマネジメント(必須研修会の分散)
 - ③研修会場の準備、撤収の協力
 - ④必須研修会、不参加者へのレポート提出要請及び回収

平成26年度 院内研修会実施状況

開催年月日	研修会名	講師等	参加人数
H26.4.1	平成26年度新規採用職員オリエンテーション ①組織について ②サービス・勤務条件について ③待遇について ④感染対策について ⑤医療安全対策について ⑥公務員の心得について	事務局長 生田 哲二 総務課係長 河本 亮介 看護局長 小村 裕美子 主任臨床検査技師 長尾 孝夫 看護師長 竹永 真由美 総務課長 頭本 保人	7名
H26.6.17	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	8名
H26.7.15	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	8名
H26.8.19	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	10名
H26.8.28	医療安全研修会 (医療機器)	臨床工学技士 河角 昌希	57名
H26.9.16	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	9名
H26.9.17 9.18	平成26年度職員説明会 ①決算状況について ②基本理念等について ③個人情報取扱規程について 他	事務局長 生田 哲二 医事課長 川上 靖 総務課長 頭本 保人	96名
H26.10.20	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	6名
H26.11.5 11.7	院内感染研修会 (標準予防策の再確認)	DVD研修	116名
H26.11.18	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	10名
H26.11.27	医療安全研修会 (類似薬品 その他について)	薬剤管理室長 山本 直子	64名
H26.12.16	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	10名
H27.1.20	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	7名
H27.1.30	医療安全研修会 (医療ガスについて)	山陰酸素工業株式会社	64名
H27.2.10 2.12	医療安全研修会 接遇研修会(合同)	DVD研修	88名
H27.3.17	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	5名
H27.3.17 ~3.20	人権研修会	DVD研修	103名
H27.3.27 3.30	院内感染研修会 (ノロウイルス対策について)	DVD研修	71名
H27.4.20 ~4.24	「医の倫理」研修会	DVD研修	117名

19. 災害対策委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H26.5.22	6名	・平成25年度反省及び平成26年度目標について ・衛星携帯電話について ・停電時非常用延長コード購入について報告
第2回	H26.6.30	8名	・平成26年度災害対策訓練について
第3回	H26.7.31	8名	・チェックシート様式について ・災害対策訓練実施要領(案)について
第4回	H26.9.1	8名	・災害対策訓練実施要領(案)について ・被害状況報告書及び職員参集状況様式について
第5回	H26.9.25	8名	・災害対策訓練実施要領(案)について ・事前打ち合わせ会について
第6回	H26.10.30	8名	・災害対策訓練実施状況について ・訓練における反省点、改善点について
第7回	H27.4.28	7名	・平成26年度反省点について

活動報告

H26. 10. 5 災害対策訓練実施

2、統計

患者統計

I. 外来患者数統計

1. 地域別統計

(人)

区分	総数	日野町	日南町	江府町	伯耆町	他県内	新見市	真庭市	新庄村	他県外
患者数(人)	4,671	2,082	862	1,005	242	124	165	1	52	138
構成比(%)	100.0	44.6	18.5	21.5	5.2	2.7	3.5	0.0	1.1	3.0

2. 年齢階層別統計

(人)

区分	総数	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
男	2,044	4	51	73	88	58	62	105	137	232	168	218	184	184	239	159	82
女	2,627	3	64	74	100	50	84	109	123	220	168	233	235	334	331	280	219
計	4,671	7	115	147	188	108	146	214	260	452	336	451	419	518	570	439	301
構成比(%)	100.0	0.1	2.5	3.1	4.0	2.3	3.1	4.6	5.6	9.7	7.2	9.7	9.0	11.1	12.2	9.4	6.4

※ 実患者数(同一人が何度通院・入院しても1人)による

II. 入院患者数統計

1. 地域別統計

(人)

区分	総数	日野町	日南町	江府町	伯耆町	他県内	新見市	真庭市	新庄村	他県外
患者数(人)	707	295	123	193	45	19	26	1	5	0
構成比(%)	100.0	41.7	17.4	27.3	6.4	2.7	3.7	0.1	0.7	0.0

※ 実患者数(同一人が何度通院・入院しても1人)による

2. 診療科別・年齢階層別・入退院暦数

(人)

		総数	構成比(%)	平均年齢	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
総数	計	780	100.0	78.7	2	—	3	2	6	8	8	36	36	43	81	103	148	160	144
	男	325	41.7	75.3	1	—	2	2	3	7	3	20	18	28	45	37	62	67	30
	女	455	58.3	81.1	1	—	1	—	3	1	5	16	18	15	36	66	86	93	114
構成比(%)	計	100.0			0.2	—	0.4	0.3	0.8	1.0	1.0	4.6	4.6	5.5	10.4	13.2	19.0	20.5	18.5
	男	100.0			0.3	—	0.6	0.6	0.9	2.2	0.9	6.2	5.5	8.6	13.8	11.4	19.1	20.6	9.2
	女	100.0			0.2	—	0.2	—	0.7	0.2	1.1	3.5	4.0	3.3	7.9	14.5	18.9	20.4	25.1
内科	計	441	56.5	81.8	—	—	—	—	2	2	4	19	17	17	39	45	76	105	115
	男	196	60.3	78.2	—	—	—	—	2	2	1	11	9	13	33	16	36	47	26
	女	245	53.8	84.7	—	—	—	—	—	—	3	8	8	4	6	29	40	58	89
外科	計	74	9.5	70.9	—	—	—	1	3	3	3	5	4	5	5	16	16	9	4
	男	38	11.7	69.4	—	—	—	1	—	3	1	3	3	4	3	10	6	2	2
	女	36	7.9	72.6	—	—	—	—	3	—	2	2	1	1	2	6	10	7	2
整形外科	計	192	24.6	75.9	—	—	2	1	1	3	1	10	10	17	24	30	41	33	19
	男	63	19.4	69.6	—	—	2	1	1	2	1	6	4	9	4	6	15	11	1
	女	129	28.4	79.0	—	—	—	—	—	1	—	4	6	8	20	24	26	22	18
眼科	計	70	9.0	78.0	—	—	—	—	—	—	—	2	5	4	13	12	15	13	6
	男	27	8.3	78.9	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	5	5	5	7	1
	女	43	9.5	77.5	—	—	—	—	—	—	—	2	3	2	8	7	10	6	5
小児科	計	3	0.4	5.0	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	0.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	7.5	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

3.診療科別・在院期間別・入退院暦数

(人)

		総数	構成比 (%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
総数	計	780	100.0	24,314	31.2	209	137	122	82	142	42	34	9	3	-
	男	325	41.7	9,290	28.6	101	64	48	34	51	7	12	7	1	-
	女	455	58.3	15,024	33.0	108	73	74	48	91	35	22	2	2	-
構成比 (%)	計	100.0				26.8	17.6	15.6	10.5	18.2	5.4	4.4	1.2	0.4	-
	男	100.0				31.1	19.7	14.8	10.5	15.7	2.2	3.7	2.2	0	-
	女	100.0				23.7	16.0	16.3	10.5	20.0	7.7	4.8	0.4	0.4	-
内科	計	441	56.5	14,597	33.1	152	78	53	44	55	24	25	7	3	-
	男	196	60.3	6,320	32.2	74	30	24	21	25	7	8	6	1	-
	女	245	53.8	8,277	33.8	78	48	29	23	30	17	17	1	2	-
外科	計	74	9.5	2,198	29.7	20	16	6	4	21	3	3	1	-	-
	男	38	11.7	875	23.0	12	12	3	-	10	-	-	1	-	-
	女	36	7.9	1,323	36.8	8	4	3	4	11	3	3	-	-	-
整形外科	計	192	24.6	6,492	33.8	29	24	18	33	66	15	6	1	-	-
	男	63	19.4	1,702	27.0	12	14	5	12	16	-	4	-	-	-
	女	129	28.4	4,790	37.1	17	10	13	21	50	15	2	1	-	-
眼科	計	70	9.0	1,008	14.4	5	19	45	1	-	-	-	-	-	-
	男	27	8.3	385	14.3	2	8	16	1	-	-	-	-	-	-
	女	43	9.5	623	14.5	3	11	29	-	-	-	-	-	-	-
小児科	計	3	0.4	19	6.3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	8	8.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	11	5.5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4.診療科別・退院月別・入退院暦数

(人)

		総数	構成比 (%)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	死亡	剖検
総数	計	780	100.0	79	66	53	65	56	63	68	53	76	72	56	73	88	-
	男	325	41.7	26	26	19	27	28	31	29	21	32	33	23	30	32	-
	女	455	58.3	53	40	34	38	28	32	39	32	44	39	33	43	56	-
構成比 (%)	計	100.0		10.1	8.5	6.8	8.3	7.2	8.1	8.7	6.8	9.7	9.2	7.2	9.4	11.3	-
	男	100.0		8.0	8.0	5.8	8.3	8.6	9.5	8.9	6.5	9.8	10.2	7.1	9.2	9.8	-
	女	100.0		11.6	8.8	7.5	8.4	6.2	7.0	8.6	7.0	9.7	8.6	7.3	9.5	12.3	-
内科	計	441	56.5	36	42	30	33	28	36	38	28	45	53	30	42	81	-
	男	196	60.3	13	14	12	15	18	20	14	14	22	24	12	18	30	-
	女	245	53.8	23	28	18	18	10	16	24	14	23	29	18	24	51	-
外科	計	74	9.5	11	6	1	7	5	4	7	8	2	5	7	11	4	-
	男	38	11.7	3	5	-	4	3	3	5	3	-	2	5	5	2	-
	女	36	7.9	8	1	1	3	2	1	2	5	2	3	2	6	2	-
整形外科	計	192	24.6	22	16	17	20	20	17	17	10	17	10	14	12	3	-
	男	63	19.4	7	6	4	5	6	8	6	2	4	6	5	4	-	-
	女	129	28.4	15	10	13	15	14	9	11	8	13	4	9	8	3	-
眼科	計	70	9.0	10	2	5	5	2	6	6	7	10	4	5	8	-	-
	男	27	8.3	3	1	3	3	1	-	4	2	5	1	1	3	-	-
	女	43	9.5	7	1	2	2	1	6	2	5	5	3	4	5	-	-
小児科	計	3	0.4	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-

疾病統計（入院患者）

日野病院組合 日野病院
 疾病大分類別・診療科別・病名数
 (2014/04/01-2015/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科
総数	計	695	100.0	419	73	130	70	3
	男	294	42.3	187	38	41	27	1
	女	401	57.7	232	35	89	43	2
構成比(%)	計	100.0		60.3	10.5	18.7	10.1	0.4
	男	100.0		63.6	12.9	13.9	9.2	0.3
	女	100.0		57.9	8.7	22.2	10.7	0.5
I 感染症及び寄生虫症	計	18	2.6	15	1	—	—	2
	男	5	1.7	4	—	—	—	1
	女	13	3.2	11	1	—	—	1
II 新生物	計	36	5.2	24	12	—	—	—
	男	23	7.8	17	6	—	—	—
	女	13	3.2	7	6	—	—	—
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	計	9	1.3	9	—	—	—	—
	男	5	1.7	5	—	—	—	—
	女	4	1.0	4	—	—	—	—
V 精神及び行動の障害	計	10	1.4	10	—	—	—	—
	男	3	1.0	3	—	—	—	—
	女	7	1.7	7	—	—	—	—
VI 神経系の疾患	計	25	3.6	20	1	4	—	—
	男	13	4.4	11	1	1	—	—
	女	12	3.0	9	—	3	—	—
VII 眼及び付属器の疾患	計	70	10.1	—	—	—	70	—
	男	27	9.2	—	—	—	27	—
	女	43	10.7	—	—	—	43	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	計	2	0.3	2	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.5	2	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	計	76	10.9	73	3	—	—	—
	男	32	10.9	30	2	—	—	—
	女	44	11.0	43	1	—	—	—
X 呼吸器系の疾患	計	115	16.5	112	2	—	—	1
	男	52	17.7	50	2	—	—	—
	女	63	15.7	62	—	—	—	1
XI 消化器系の疾患	計	80	11.5	45	35	—	—	—
	男	44	15.0	25	19	—	—	—
	女	36	9.0	20	16	—	—	—
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	計	20	2.9	12	6	2	—	—
	男	11	3.7	7	3	1	—	—
	女	9	2.2	5	3	1	—	—
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	計	43	6.2	8	—	35	—	—
	男	18	6.1	5	—	13	—	—
	女	25	6.2	3	—	22	—	—
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	計	32	4.6	31	1	—	—	—
	男	7	2.4	7	—	—	—	—
	女	25	6.2	24	1	—	—	—
XV 妊娠、分娩及び産じょく<褥>	計	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
XVI 周産期に発生した病態	計	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	計	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	計	50	7.2	44	4	2	—	—
	男	19	6.5	16	2	1	—	—
	女	31	7.7	28	2	1	—	—
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	87	12.5	4	6	77	—	—
	男	24	8.2	1	2	21	—	—
	女	63	15.7	3	4	56	—	—
XX 傷病及び死亡の外因	計	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	21	3.0	9	2	10	—	—
	男	10	3.4	5	1	4	—	—
	女	11	2.7	4	1	6	—	—
XXII 特殊目的用コード	計	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—

ICD10コード別・診療科別・病名数

(2014/04/01-2015/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科
総数	計	695	100.0	419	73	130	70	3
	男	294	42.3	187	38	41	27	1
	女	401	57.7	232	35	89	43	2
構成比(%)	計	100.0		60.3	10.5	18.7	10.1	0.4
	男	100.0		63.6	12.9	13.9	9.2	0.3
	女	100.0		57.9	8.7	22.2	10.7	0.5
A047 クロストリジウム・ディフィシルによる全腸炎	計	2	0.3	2	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.5	2	—	—	—	—
A049 細菌性腸管感染症、詳細不明	計	3	0.4	2	—	—	—	1
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	3	0.7	2	—	—	—	1
A081 ノーウォーク様ウイルスによる急性胃腸症	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
A09 感染症と推定される下痢及び胃腸炎	計	8	1.2	6	1	—	—	1
	男	3	1.0	2	—	—	—	1
	女	5	1.2	4	1	—	—	—
A419 敗血症、詳細不明	計	2	0.3	2	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
A481 レジオネラ症<在郷軍人病>	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
B441 その他の肺アスペルギルス症	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
C159 食道、部位不明【食道の悪性新生物】	計	2	0.3	1	1	—	—	—
	男	2	0.7	1	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
C169 胃、部位不明【胃の悪性新生物】	計	6	0.9	3	3	—	—	—
	男	4	1.4	2	2	—	—	—
	女	2	0.5	1	1	—	—	—
C182 上行結腸【結腸の悪性新生物】	計	1	0.1	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—	—
C187 S状結腸【結腸の悪性新生物】	計	1	0.1	—	1	—	—	—
	男	1	0.3	—	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
C20 直腸の悪性新生物	計	1	0.1	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—	—
C220 肝癌【肝及び肝内胆管の悪性新生物】	計	1	0.1	—	1	—	—	—
	男	1	0.3	—	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
C259 膵、部位不明【膵の悪性新生物】	計	4	0.6	4	—	—	—	—
	男	3	1.0	3	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
C349 気管支又は肺、部位不明【気管支及び肺の悪性新生物】	計	10	1.4	9	1	—	—	—
	男	7	2.4	6	1	—	—	—
	女	3	0.7	3	—	—	—	—
C509 乳房、部位不明【乳房の悪性新生物】	計	1	0.1	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—	—
C61 前立腺の悪性新生物	計	4	0.6	4	—	—	—	—
	男	4	1.4	4	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
C66 尿管の悪性新生物	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
C679 膀胱、部位不明【膀胱の悪性新生物】	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
C749 副腎、部位不明【副腎の悪性新生物】	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
C787 肝の続発性悪性新生物	計	1	0.1	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—	—
D219 結合組織及びその他の軟部組織、部位不明	計	1	0.1	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—	—

ICD10コード別・診療科別・病名数

(2014/04/01-2015/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科
D649 貧血、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
E111 ケトアシドーシスを伴うもの 【インスリン非依存性糖尿病< N I D D M>】	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
E141 ケトアシドーシスを伴うもの 【詳細不明の糖尿病】	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
E15 非糖尿病性低血糖性昏睡	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
E222 抗利尿ホルモン不適合分泌症候 群<S I A D H>	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
E86 体液量減少 (症)	計	5	0.7	5	—	—	—	—
	男	4	1.4	4	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
F03 詳細不明の認知症	計	5	0.7	5	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	4	1.0	4	—	—	—	—
F100 急性中毒【アルコール使用<飲 酒>による精神及び行動の障 害】	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
F220 妄想性障害	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
F411 全般性不安障害	計	2	0.3	2	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.5	2	—	—	—	—
F459 身体表現性障害、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
G20 パーキンソン病	計	3	0.4	3	—	—	—	—
	男	2	0.7	2	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
G250 本態性振戦	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
G442 緊張性頭痛	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
G459 一過性脳虚血発作、詳細不明	計	4	0.6	3	1	—	—	—
	男	2	0.7	1	1	—	—	—
	女	2	0.5	2	—	—	—	—
G473 睡眠時無呼吸	計	9	1.3	9	—	—	—	—
	男	6	2.0	6	—	—	—	—
	女	3	0.7	3	—	—	—	—
G522 迷走神経障害	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
G560 手根管症候群	計	3	0.4	—	—	3	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	3	0.7	—	—	3	—	—
G562 尺骨神経の病変	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
G908 自律神経系のその他の障害	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
G934 脳症<エンセファロパチ<シ >->、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
H024 眼瞼下垂	計	1	0.1	—	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	—	1	—
H250 老人性初発白内障	計	2	0.3	—	—	—	2	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.5	—	—	—	2	—
H259 老人性白内障、詳細不明	計	66	9.5	—	—	—	66	—
	男	27	9.2	—	—	—	27	—
	女	39	9.7	—	—	—	39	—

ICD10コード別・診療科別・病名数

(2014/04/01-2015/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科
H501 共同性外斜視	計	1	0.1	—	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	—	1	—
H813 その他の末梢性めまい<眩暈(症)>	計	2	0.3	2	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.5	2	—	—	—	—
I10 本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
I209 狭心症、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
I350 大動脈弁狭窄(症)	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
I409 急性心筋炎、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
I442 房室ブロック、完全	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
I48 心房細動及び粗動	計	2	0.3	2	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.5	2	—	—	—	—
I500 うっ血性心不全	計	4	0.6	4	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	3	0.7	3	—	—	—	—
I509 心不全、詳細不明	計	30	4.3	30	—	—	—	—
	男	12	4.1	12	—	—	—	—
	女	18	4.5	18	—	—	—	—
I609 くも膜下出血、詳細不明	計	1	0.1	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—	—
I610 (大脳)半球の脳内出血、皮質下	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
I619 脳内出血、詳細不明	計	2	0.3	2	—	—	—	—
	男	2	0.7	2	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
I633 脳動脈の血栓症による脳梗塞	計	3	0.4	3	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	3	0.7	3	—	—	—	—
I635 脳動脈の詳細不明の閉塞又は狭窄による脳梗塞	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
I638 その他の脳梗塞	計	7	1.0	7	—	—	—	—
	男	2	0.7	2	—	—	—	—
	女	5	1.2	5	—	—	—	—
I639 脳梗塞、詳細不明	計	9	1.3	9	—	—	—	—
	男	5	1.7	5	—	—	—	—
	女	4	1.0	4	—	—	—	—
I669 詳細不明の脳動脈の閉塞及び狭窄	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
I693 脳梗塞の続発・後遺症	計	4	0.6	4	—	—	—	—
	男	3	1.0	3	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
I710 大動脈の解離[各部位]	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
I713 腹部大動脈瘤、破裂性	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
I841 その他の合併症を伴う内痔核	計	1	0.1	—	1	—	—	—
	男	1	0.3	—	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
I959 低血圧(症)、詳細不明	計	3	0.4	2	1	—	—	—
	男	1	0.3	—	1	—	—	—
	女	2	0.5	2	—	—	—	—
J029 急性咽頭炎、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—

ICD10コード別・診療科別・病名数

(2014/04/01-2015/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科
J069 急性上気道感染症、詳細不明	計	2	0.3	1	1	—	—	—
	男	1	0.3	—	1	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
J101 その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されたもの	計	2	0.3	2	—	—	—	—
	男	2	0.7	2	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
J13 肺炎レンサ球菌による肺炎	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
J188 その他の肺炎、病原体不詳	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
J189 肺炎、詳細不明	計	60	8.6	59	1	—	—	—
	男	24	8.2	23	1	—	—	—
	女	36	9.0	36	—	—	—	—
J209 急性気管支炎、詳細不明	計	11	1.6	10	—	—	—	1
	男	6	2.0	6	—	—	—	—
	女	5	1.2	4	—	—	—	1
J40 気管支炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	3	0.4	3	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	3	0.7	3	—	—	—	—
J441 急性増悪を伴う慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
J448 その他の明示された慢性閉塞性肺疾患	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
J449 慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	3	0.4	3	—	—	—	—
	男	3	1.0	3	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
J459 喘息、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
J46 喘息発作重積状態	計	2	0.3	2	—	—	—	—
	男	2	0.7	2	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
J47 気管支拡張症	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
J690 食物及び吐物による肺臓炎	計	16	2.3	16	—	—	—	—
	男	4	1.4	4	—	—	—	—
	女	12	3.0	12	—	—	—	—
J841 肺線維症を伴うその他の間質性肺疾患	計	3	0.4	3	—	—	—	—
	男	2	0.7	2	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
J90 胸水、他に分類されないもの	計	2	0.3	2	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
J954 メンデルソン症候群	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
J960 急性呼吸不全	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
J961 慢性呼吸不全	計	2	0.3	2	—	—	—	—
	男	2	0.7	2	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
K253 急性、出血又は穿孔を伴わないもの【胃潰瘍】	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
K254 慢性又は詳細不明、出血を伴うもの【胃潰瘍】	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
K269 急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【十二指腸潰瘍】	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
K359 急性虫垂炎、詳細不明	計	5	0.7	—	5	—	—	—
	男	2	0.7	—	2	—	—	—
	女	3	0.7	—	3	—	—	—
K409 一側性又は患側不明のそけい< 崁径>ヘルニア、閉塞又はえ< 壊>疝を伴わないもの	計	9	1.3	—	9	—	—	—
	男	8	2.7	—	8	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—	—

ICD10コード別・診療科別・病名数

(2014/04/01-2015/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科
K419 一側性又は患側不明の大腿<股>ヘルニア、閉塞又はえ<壊>痕を伴わないもの	計	2	0.3	—	2	—	—	—
	男	1	0.3	—	1	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—	—
K429 臍ヘルニア、閉塞又はえ<壊>痕を伴わないもの	計	1	0.1	—	1	—	—	—
	男	1	0.3	—	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
K439 腹壁ヘルニア、閉塞又はえ<壊>痕を伴わないもの	計	1	0.1	—	1	—	—	—
	男	1	0.3	—	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
K450 その他の明示された腹部ヘルニア、閉塞を伴い	計	1	0.1	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—	—
K529 非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
K550 腸の急性血行障害	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
K559 腸の血行障害、詳細不明	計	5	0.7	5	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	4	1.0	4	—	—	—	—
K562 軸捻（転）	計	2	0.3	—	2	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.5	—	2	—	—	—
K566 その他及び詳細不明の腸閉塞	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
K567 イレウス、詳細不明	計	5	0.7	3	2	—	—	—
	男	5	1.7	3	2	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
K573 穿孔又は膿瘍を伴わない大腸の憩室性疾患	計	6	0.9	6	—	—	—	—
	男	3	1.0	3	—	—	—	—
	女	3	0.7	3	—	—	—	—
K590 便秘	計	2	0.3	2	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
K623 直腸脱	計	1	0.1	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—	—
K635 大腸<結腸>のポリープ	計	5	0.7	5	—	—	—	—
	男	4	1.4	4	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
K701 アルコール性肝炎	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
K729 肝不全、詳細不明	計	5	0.7	5	—	—	—	—
	男	5	1.7	5	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
K768 その他の明示された肝疾患	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
K769 肝疾患、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
K800 急性胆のう<嚢>炎を伴う胆のう<嚢>結石	計	1	0.1	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—	—
K802 胆のう<嚢>炎を伴わない胆のう<嚢>結石	計	3	0.4	—	3	—	—	—
	男	2	0.7	—	2	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—	—
K805 胆管炎又は胆のう<嚢>炎を伴わない胆管結石	計	2	0.3	1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.5	1	1	—	—	—
K810 急性胆のう<嚢>炎	計	5	0.7	1	4	—	—	—
	男	2	0.7	1	1	—	—	—
	女	3	0.7	—	3	—	—	—
K830 胆管炎	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
K831 胆管閉塞	計	2	0.3	1	1	—	—	—
	男	1	0.3	—	1	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—

ICD10コード別・診療科別・病名数

(2014/04/01-2015/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科
K839 胆道の疾患、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
K85 急性膵炎	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
K911 胃手術後症候群	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
K913 術後腸閉塞	計	1	0.1	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—	—
K921 メレナ	計	3	0.4	3	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	2	0.5	2	—	—	—	—
L039 蜂巣炎<蜂窩織炎>、詳細不明	計	11	1.6	7	3	1	—	—
	男	7	2.4	5	2	—	—	—
	女	4	1.0	2	1	1	—	—
L270 薬物及び薬剤による全身の発疹	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
L509 じんま<蕁麻>疹、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
L511 水疱性多形紅斑	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
L89 じょく<褥>瘡性潰瘍	計	6	0.9	2	3	1	—	—
	男	3	1.0	1	1	1	—	—
	女	3	0.7	1	2	—	—	—
M1124 その他の軟骨石灰化症（手関節偽痛風）	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
M1126 その他の軟骨石灰化症（膝関節偽痛風）	計	2	0.3	—	—	2	—	—
	男	1	0.3	—	—	1	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
M1129 その他の軟骨石灰化症（偽痛風）	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
M169 股関節症、詳細不明	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
M179 膝関節症、詳細不明	計	12	1.7	1	—	11	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	12	3.0	1	—	11	—	—
M200 指の変形	計	2	0.3	—	—	2	—	—
	男	1	0.3	—	—	1	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
M2531 関節のその他の不安定症（外傷性肩不安定症）	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
M351 その他の重複症候群	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
M4316 脊椎すべり症（腰椎すべり症）	計	2	0.3	—	—	2	—	—
	男	1	0.3	—	—	1	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
M4806 脊柱管狭窄（症）（腰部脊柱管狭窄症）	計	4	0.6	—	—	4	—	—
	男	3	1.0	—	—	3	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
M512 その他の明示された椎間板ヘルニア<変位>	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
M5456 下背部痛（腰痛症）	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
M6259 筋の消耗及び萎縮、他に分類されないもの（筋萎縮症）	計	5	0.7	4	—	1	—	—
	男	4	1.4	3	—	1	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
M6534 ばね<弾発>指（ばね指）	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—

ICD10コード別・診療科別・病名数

(2014/04/01-2015/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科
M6594 滑膜炎及び腱鞘炎、詳細不明 (手指腱鞘炎)	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
M7022 肘頭滑液包炎 (肘頭滑液包炎)	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
M7046 膝蓋前部滑液包炎 (膝蓋前部滑液包炎)	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
M7269 えく壊>死性筋膜炎 (壊死性筋膜炎)	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
M8415 骨折の骨癒合不全[偽関節] (大腿骨偽関節)	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
M8699 骨髄炎、詳細不明 (骨膜炎)	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
M8795 骨えく壊>死、詳細不明 (大腿骨壊死)	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
M8799 骨えく壊>死、詳細不明 (骨壊死)	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
N10 急性尿管間質性腎炎	計	6	0.9	6	—	—	—	—
	男	2	0.7	2	—	—	—	—
	女	4	1.0	4	—	—	—	—
N12 尿管間質性腎炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	2	0.3	2	—	—	—	—
	男	2	0.7	2	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
N179 急性腎不全、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
N189 慢性腎不全、詳細不明	計	6	0.9	6	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	5	1.2	5	—	—	—	—
N201 尿管結石	計	3	0.4	3	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	2	0.5	2	—	—	—	—
N288 腎及び尿管のその他の明示された障害	計	1	0.1	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—	—
N390 尿路感染症、部位不明	計	13	1.9	13	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	12	3.0	12	—	—	—	—
R000 頻脈、詳細不明【心拍の異常】	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
R060 呼吸困難	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
R064 過呼吸	計	1	0.1	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—	—
R090 窒息	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
R11 悪心及び嘔吐	計	2	0.3	2	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.5	2	—	—	—	—
R13 えんく嚥>下障害	計	2	0.3	—	2	—	—	—
	男	1	0.3	—	1	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—	—
R190 腹腔内及び骨盤内腫脹、腫瘤及び塊	計	1	0.1	—	1	—	—	—
	男	1	0.3	—	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
R195 その他の異常便	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
R208 その他及び詳細不明の皮膚感覚障害	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—

ICD10コード別・診療科別・病名数

(2014/04/01-2015/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科
R223 限局性腫脹、腫瘍及び塊【皮膚及び皮下組織の限局性腫脹、腫瘍及び塊】	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
R252 (有痛性)けいれん<痙攣>【異常不随意運動】	計	2	0.3	2	—	—	—	—
	男	2	0.7	2	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
R391 その他の排尿困難	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
R402 昏睡、詳細不明	計	11	1.6	10	—	1	—	—
	男	3	1.0	3	—	—	—	—
	女	8	2.0	7	—	1	—	—
R42 めまい<眩暈>感及びよろめき感	計	6	0.9	6	—	—	—	—
	男	3	1.0	3	—	—	—	—
	女	3	0.7	3	—	—	—	—
R509 発熱、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
R54 老衰	計	12	1.7	12	—	—	—	—
	男	3	1.0	3	—	—	—	—
	女	9	2.2	9	—	—	—	—
R570 心原性ショック	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
R579 ショック、詳細不明	計	2	0.3	2	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
R630 食欲不振	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
R91 肺の画像診断における異常所見	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
S000 頭皮の表在損傷	計	1	0.1	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—	—
S010 頭皮の開放創	計	1	0.1	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—	—
S141 頸髄のその他及び詳細不明の損傷	計	3	0.4	—	—	3	—	—
	男	1	0.3	—	—	1	—	—
	女	2	0.5	—	—	2	—	—
S2200 胸椎骨折(胸椎圧迫骨折)	計	6	0.9	—	—	6	—	—
	男	3	1.0	—	—	3	—	—
	女	3	0.7	—	—	3	—	—
S2230 肋骨骨折(肋骨骨折)	計	2	0.3	—	1	1	—	—
	男	1	0.3	—	1	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
S270 外傷性気胸	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
S300 下背部及び骨盤部の挫傷【腹部、下背部及び骨盤部の表在損傷】	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
S3200 腰椎骨折(腰椎圧迫骨折)	計	5	0.7	—	—	5	—	—
	男	1	0.3	—	—	1	—	—
	女	4	1.0	—	—	4	—	—
S3230 腸骨骨折(腸骨骨折)	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
S3250 恥骨骨折(恥骨骨折)	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
S3280 腰椎及び骨盤のその他及び部位不明の骨折(骨盤骨折)	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
S335 腰椎の捻挫及びストレイン	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
S430 肩関節脱臼	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—

ICD10コード別・診療科別・病名数

(2014/04/01-2015/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科
S462 上腕二頭筋のその他の部位の筋及び腱の損傷	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
S5200 尺骨近位端骨折（モンテジア骨折）	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
S5250 橈骨遠位端骨折（ガレアッチ骨折）	計	4	0.6	—	—	4	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	4	1.0	—	—	4	—	—
S563 前腕の母指の伸筋又は外転筋及び腱の損傷	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
S6260 その他の指の骨折（環指骨折）	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
S670 母指及びその他の指の挫滅損傷	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
S681 その他の単指の外傷性切断（完全）（部分的）	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
S7200 大腿骨頸部骨折（股関節骨折）	計	8	1.2	—	—	8	—	—
	男	1	0.3	—	—	1	—	—
	女	7	1.7	—	—	7	—	—
S7210 転子貫通骨折（大腿骨転子部骨折）	計	9	1.3	—	—	9	—	—
	男	2	0.7	—	—	2	—	—
	女	7	1.7	—	—	7	—	—
S7240 大腿骨遠位端骨折（大腿骨遠位端骨折）	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
S7290 大腿骨骨折、部位不明（大腿骨骨折）	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
S761 大腿四頭筋及び腱の損傷	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
S8200 膝蓋骨骨折（膝蓋骨骨折）	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
S8210 脛骨近位端骨折（脛骨近位端骨折）	計	3	0.4	—	—	3	—	—
	男	1	0.3	—	—	1	—	—
	女	2	0.5	—	—	2	—	—
S8220 脛骨骨幹部骨折（脛骨骨折）	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
S8260 外果骨折（デュピトラン骨折）	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
S832 半月裂傷<断裂>、新鮮損傷	計	4	0.6	—	—	4	—	—
	男	1	0.3	—	—	1	—	—
	女	3	0.7	—	—	3	—	—
S835 膝の（前）（後）十字靭帯の捻挫及びストレイン	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
S836 膝のその他及び部位不明の捻挫及びストレイン	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
S860 アキレス腱損傷	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
S8610 下腿の後筋群のその他の筋及び腱の損傷（腓腹筋肉離れ）	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
S870 膝の挫滅損傷	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
S9200 踵骨骨折（踵骨骨折）	計	2	0.3	—	—	2	—	—
	男	1	0.3	—	—	1	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
S9230 中足骨骨折（行軍骨折）	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—

ICD10コード別・診療科別・病名数

(2014/04/01-2015/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科
S971 趾<足ゆび>の挫滅損傷	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
T0210 胸部<郭>の骨折、下背部及び骨盤部の骨折を伴うもの(胸腰椎圧迫骨折)	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
T08-0 脊椎骨折、部位不明(脊椎骨折、部位不明)	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
T149 損傷、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
T179 気道内異物、部位不明	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
T240 股関節部及び下肢の程度不明の熱傷、足首及び足を除く	計	1	0.1	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—	—
T460 強心配糖体及び類似作用薬【主として心血管系に作用する薬物による中毒】	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
T630 ヘビ毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	2	0.3	—	2	—	—	—
	男	1	0.3	—	1	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—	—
T68 低体温(症)	計	1	0.1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—	—
T796 筋の外傷性阻血	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—
T814 処置に続発する感染症、他に分類されないもの	計	2	0.3	—	—	2	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.5	—	—	2	—	—
T911 脊椎骨折の続発・後遺症	計	1	0.1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
Z470 骨折プレート及びその他の内固定器具の除去に関する経過観察<フォローアップ>ケア	計	2	0.3	—	—	2	—	—
	男	1	0.3	—	—	1	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—	—
Z501 その他の理学療法	計	12	1.7	5	2	5	—	—
	男	6	2.0	3	1	2	—	—
	女	6	1.5	2	1	3	—	—
Z988 その他の明示された術後状態	計	7	1.0	4	—	3	—	—
	男	3	1.0	2	—	1	—	—
	女	4	1.0	2	—	2	—	—

日野病院組合 日野病院
 ICD10コード別・年齢階層別・病名数
 (2014/04/01-2015/03/31)

	計	総数	構成比 (%)	平均年齢	0-28	29日	1-4歳	5-9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90歳-
					日	11月	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
総数	計	695	100.0	78.8	-	1	1	-	3	2	5	7	8	30	33	38	70	91	131	144	131
	男	294	42.3	75.5	-	1	-	-	2	2	2	6	3	17	17	25	41	32	55	63	28
	女	401	57.7	81.2	-	-	1	-	1	-	3	1	5	13	16	13	29	59	76	81	103
構成比 (%)	計	100.0	-	-	0.1	0.1	0.4	0.3	0.7	1.0	1.2	4.3	4.7	5.5	10.1	13.1	18.8	20.7	18.8	-	
	男	100.0	-	-	0.3	-	-	0.7	0.7	0.7	2.0	1.0	5.8	5.8	8.5	13.9	10.9	18.7	21.4	9.5	
	女	100.0	-	-	-	-	0.2	-	0.2	-	0.7	0.2	1.2	3.2	4.0	3.2	7.2	14.7	19.0	20.2	25.7
A047 クロストリジウム・ディフィシルによる全腸炎	計	2	0.3	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.5	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
A049 細菌性腸管感染症、詳細不明	計	3	0.4	40.3	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	3	0.7	40.3	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
A081 ノーウォーク様ウイルスによる急性胃腸症	計	1	0.1	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
A09 感染症と推定される下痢及び胃腸炎	計	8	1.2	70.1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	2	1	-
	男	3	1.0	55.3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
	女	5	1.2	79.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	2	-	-
A419 敗血症、詳細不明	計	2	0.3	83.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	男	1	0.3	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	女	1	0.2	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
A481 レジオネラ症<在郷軍人病>	計	1	0.1	90.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	90.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
B441 その他の肺アスペルギルス症	計	1	0.1	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	1	0.3	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C159 食道、部位不明【食道の悪性新生物】	計	2	0.3	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-
	男	2	0.7	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C169 胃、部位不明【胃の悪性新生物】	計	6	0.9	71.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2	-	-	-	-	-	2
	男	4	1.4	80.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
	女	2	0.5	52.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
C182 上行結腸【結腸の悪性新生物】	計	1	0.1	60.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	60.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
C187 S状結腸【結腸の悪性新生物】	計	1	0.1	73.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	1	0.3	73.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C20 直腸の悪性新生物	計	1	0.1	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
C220 肝癌【肝及び肝内胆管の悪性新生物】	計	1	0.1	79.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	1	0.3	79.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C259 膵、部位不明【膵の悪性新生物】	計	4	0.6	78.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	-	-
	男	3	1.0	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	-	-
	女	1	0.2	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
C349 気管支又は肺、部位不明【気管支及び肺の悪性新生物】	計	10	1.4	80.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	5	1	1	2
	男	7	2.4	79.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	1	-
	女	3	0.7	81.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2
C509 乳房、部位不明【乳房の悪性新生物】	計	1	0.1	81.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	81.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
C61 前立腺の悪性新生物	計	4	0.6	84.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2
	男	4	1.4	84.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C66 尿管の悪性新生物	計	1	0.1	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
C679 膀胱、部位不明【膀胱の悪性新生物】	計	1	0.1	90.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	男	1	0.3	90.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C749 副腎、部位不明【副腎の悪性新生物】	計	1	0.1	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
C787 肝の続発性悪性新生物	計	1	0.1	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
D219 結合組織及びその他の軟部組織、部位不明	計	1	0.1	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
D649 貧血、詳細不明	計	1	0.1	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	1	0.3	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E111 ケトアシドーシスを伴うもの【インスリン非依存性糖尿病<NIDDM>】	計	1	0.1	70.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	70.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
E141 ケトアシドーシスを伴																					

日野病院組合 日野病院
 ICD10コード別・年齢階層別・病名数
 (2014/04/01-2015/03/31)

	総数	構成比 (%)	平均年齢	0-28 日	29日- 11月	1-4歳	5-9歳	10-14 歳	15-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-64 歳	65-69 歳	70-74 歳	75-79 歳	80-84 歳	85-89 歳	90歳-
1693 脳梗塞の続発・後遺症	計	4	0.6	75.3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	1	-
	男	3	1.0	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	1	-
	女	1	0.2	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1710 大動脈の解離[各部位]	計	1	0.1	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
1713 腹部大動脈瘤、破裂性	計	1	0.1	99.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	99.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
1841 その他の合併症を伴う内痔核	計	1	0.1	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	1	0.3	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1959 低血圧(症)、詳細不明	計	3	0.4	72.3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1
	男	1	0.3	81.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	2	0.5	68.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
J029 急性咽頭炎、詳細不明	計	1	0.1	71.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	1	0.3	71.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J069 急性上気道感染症、詳細不明	計	2	0.3	70.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-
	男	1	0.3	63.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	77.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
J101 その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されたもの	計	2	0.3	86.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	男	2	0.7	86.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J13 肺炎レンサ球菌による肺炎	計	1	0.1	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	1	0.3	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J188 その他の肺炎、病原体不詳	計	1	0.1	83.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	1	0.3	83.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J189 肺炎、詳細不明	計	60	8.6	85.8	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	4	4	11	15	23
	男	24	8.2	81.7	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	4	2	5	6	5
	女	36	9.0	88.4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	6	9	18
J209 急性気管支炎、詳細不明	計	11	1.6	78.3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3	1	3
	男	6	2.0	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	2
	女	5	1.2	69.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1
J40 気管支炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	3	0.4	92.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	3	0.7	92.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
J441 急性増悪を伴う慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	1	0.1	65.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	65.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J448 その他の明示された慢性閉塞性肺疾患	計	1	0.1	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	1	0.3	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J449 慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	3	0.4	79.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-
	男	3	1.0	79.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J459 喘息、詳細不明	計	1	0.1	94.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	94.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
J46 喘息発作重積状態	計	2	0.3	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	男	2	0.7	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J47 気管支拡張症	計	1	0.1	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
J690 食物及び吐物による肺炎	計	16	2.3	90.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	4	10
	男	4	1.4	81.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2	-
	女	12	3.0	93.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	10
J841 肺線維症を伴うその他の間質性肺疾患	計	3	0.4	88.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1
	男	2	0.7	93.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	女	1	0.2	79.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
J90 胸水、他に分類されないもの	計	2	0.3	67.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
	男	1	0.3	41.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	93.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
J954 メンデルソン症候群	計	1	0.1	88.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	88.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
J960 急性呼吸不全	計	1	0.1	88.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	88.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
J961 慢性呼吸不全	計	2	0.3	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
	男	2	0.7	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K253 急性、出血又は穿孔を伴わないもの【胃潰瘍】	計	1	0.1	57.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	57.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K254 慢性又は詳細不明、出血を伴うもの【胃潰瘍】	計	1	0.1	89.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	89.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
K269 急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【十二指腸潰瘍】	計	1	0.1	32.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	32.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K359 急性虫垂炎、詳細不明	計	5	0.7	36.8	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	2	0.7	45.5	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	3	0.7	31.0	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
K409 一側性又は患側不明のそけい<峠>ヘルニア、閉塞又はえ<峠>瘻を伴わないもの	計	9	1.3	63.0	-	-	-	-	-	-	2	-	2	1	-	-	3	-	1	-
	男	8	2.7	61.4	-	-	-	-	-	-	2	-	2	1	-	-	2	-	1	-
	女	1	0.2	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
K419 一側性又は患側不明の大腿<峠>ヘルニア、閉塞又はえ<峠>瘻を伴わないもの	計	2	0.3	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
	男	1	0.3	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	1	0.2	81.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
K429 臍ヘルニア、閉塞又はえ<峠>瘻を伴わないもの	計	1	0.1	63.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	63.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K439 腹壁ヘルニア、閉塞又はえ<峠>瘻を伴わないもの	計	1	0.1	83.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	1	0.3																	

日野病院組合 日野病院
ICD10コード別・年齢階層別・病名数
(2014/04/01-2015/03/31)

		総数	構成比 (%)	平均年齢	0-28	29日	1-4歳	5-9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90歳-
					日	11月															
M129 その他の軟骨石灰化症（偽痛風）	計	1	0.1	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
M169 股関節症、詳細不明	計	1	0.1	64.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	64.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
M179 膝関節症、詳細不明	計	12	1.7	77.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	2	4	-	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	12	3.0	77.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	2	4	-	1
M200 指の変形	計	2	0.3	84.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
	男	1	0.3	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	83.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
M2531 関節のその他の不安定症（外傷性肩不安定症）	計	1	0.1	38.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	38.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M351 その他の重複症候群	計	1	0.1	66.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	66.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M4316 脊椎すべり症（腰椎すべり症）	計	2	0.3	79.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
	男	1	0.3	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	1	0.2	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M4806 脊柱管狭窄（症）（腰部脊柱管狭窄症）	計	4	0.6	78.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	1	-
	男	3	1.0	75.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-
	女	1	0.2	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
M512 その他の明示された椎間板ヘルニア<変位>	計	1	0.1	41.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	41.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M5456 下背部痛（腰痛症）	計	1	0.1	84.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	84.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
M6259 筋の消耗及び萎縮、他に分類されないもの（筋萎縮症）	計	5	0.7	84.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-
	男	4	1.4	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	女	1	0.2	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
M6534 ばねく弾発指（ばね指）	計	1	0.1	84.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	84.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
M6594 滑膜炎及び腱鞘炎、詳細不明（手指腱鞘炎）	計	1	0.1	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	1	0.3	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M7022 肘頭滑液包炎（肘頭滑液包炎）	計	1	0.1	81.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	1	0.3	81.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M7046 膝蓋前部滑液包炎（膝蓋前部滑液包炎）	計	1	0.1	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
M7269 えく壊>死性筋膜炎（壊死性筋膜炎）	計	1	0.1	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	1	0.3	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M8415 骨折の骨癒合不全【偽関節】（大腿骨偽関節）	計	1	0.1	70.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	70.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
M8699 骨髄炎、詳細不明（骨髄炎）	計	1	0.1	68.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	68.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M8795 骨えく壊>死、詳細不明（大腿骨壊死）	計	1	0.1	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
M8799 骨えく壊>死、詳細不明（骨壊死）	計	1	0.1	58.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	58.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
N10 急性尿細管間質性腎炎	計	6	0.9	78.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	2	-
	男	2	0.7	73.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
	女	4	1.0	81.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-
N12 尿細管間質性腎炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	2	0.3	53.5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	2	0.7	53.5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
N179 急性腎不全、詳細不明	計	1	0.1	84.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	84.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
N189 慢性腎不全、詳細不明	計	6	0.9	64.8	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	1	-
	男	1	0.3	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	5	1.2	60.6	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-
N201 尿管結石	計	3	0.4	83.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1
	男	1	0.3	90.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.5	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
N288 腎及び尿管のその他の明示された障害	計	1	0.1	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
N390 尿路感染症、部位不明	計	13	1.9	92.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	9
	男	1	0.3	93.0	-	-	-	-	-												

日野病院組合 日野病院
 ICD10コード別・年齢階層別・病名数
 (2014/04/01-2015/03/31)

		総数	構成比 (%)	平均年齢	0-28	29	1-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90歳-
					日	11月	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
S681 その他の単指の外傷性切断 (完全) (部分的)	計	1	0.1	55.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	55.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S7200 大腿骨頭部骨折 (股関節骨折)	計	8	1.2	93.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6
	男	1	0.3	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	7	1.7	94.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
S7210 転子貫通骨折 (大腿骨転子部骨折)	計	9	1.3	83.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	3	3	1
	男	2	0.7	78.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
	女	7	1.7	84.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	2	1
S7240 大腿骨遠位端骨折 (大腿骨遠位端骨折)	計	1	0.1	88.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	88.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
S7290 大腿骨骨折、部位不明 (大腿骨骨折)	計	1	0.1	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
S761 大腿四頭筋及び腱の損傷	計	1	0.1	70.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	70.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
S8200 膝蓋骨骨折 (膝蓋骨骨折)	計	1	0.1	66.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	66.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
S8210 脛骨近位端骨折 (脛骨近位端骨折)	計	3	0.4	67.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-
	男	1	0.3	56.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.5	73.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
S8220 脛骨骨幹部骨折 (脛骨骨折)	計	1	0.1	97.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	97.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
S8260 外果骨折 (デュビトラン骨折)	計	1	0.1	62.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	62.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S832 半月裂傷<断裂>、新鮮損傷	計	4	0.6	55.8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	-
	男	1	0.3	15.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	3	0.7	69.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	-
S835 膝の(前)(後)十字靭帯の捻挫及びストレイン	計	1	0.1	38.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	38.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S836 膝のその他及び部位不明の捻挫及びストレイン	計	1	0.1	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
S860 アキレス腱損傷	計	1	0.1	56.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	56.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S8610 下腿の後筋群のその他の筋及び腱の損傷 (腓腹筋肉離れ)	計	1	0.1	83.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	1	0.3	83.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S870 膝の挫減損傷	計	1	0.1	13.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	13.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S9200 踵骨骨折 (踵骨骨折)	計	2	0.3	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
	男	1	0.3	66.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
S9230 中足骨骨折 (行軍骨折)	計	1	0.1	69.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	69.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
S971 趾<足ゆび>の挫減損傷	計	1	0.1	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
T0210 胸部<郭>の骨折、下背部及び骨盤部の骨折を伴うもの (胸腰椎圧迫骨折)	計	1	0.1	72.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	72.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
T08-0 脊椎骨折、部位不明 (脊椎骨折、部位不明)	計	1	0.1	84.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	84.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
T149 損傷、詳細不明	計	1	0.1	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
T179 気道内異物、部位不明	計	1	0.1	79.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	1	0.3	79.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T240 股関節部及び下肢の程度不明の熱傷、足首及び足を除く	計	1	0.1	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
T460 強心配糖体及び類似作用薬【主として心血管系に作用する薬物による中毒】	計	1	0.1	95.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	95.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
T630 ヘビ毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	2	0.3	69.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-
	男	1	0.3	58.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	81.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
T68 低体温 (症)	計	1	0.1	93.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	男	-	-	-	-																

日野病院組合 日野病院
 ICD10コード別・在院期間別・病名数
 (2014/04/01-2015/03/31)

	計	総数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在 院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1 年	1-2年	2年-
						195	121	114	68	118	38	29	9	3	-
総数	計	695	100.0	21,613	31.1	195	121	114	68	118	38	29	9	3	-
	男	294	42.3	8,464	28.8	93	57	45	28	47	7	9	7	1	-
	女	401	57.7	13,149	32.8	102	64	69	40	71	31	20	2	2	-
	計	100.0				28.1	17.4	16.4	9.8	17.0	5.5	4.2	1.3	0.4	-
構成比(%)	男	100.0				31.6	19.4	15.3	9.5	16.0	2.4	3.1	2.4	0.3	-
	女	100.0				25.4	16.0	17.2	10.0	17.7	7.7	5.0	0.5	0.5	-
A047 クロストリジウム・ディフィシルによる全腸炎	計	2	0.3	34	17.0	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.5	34	17.0	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
A049 細菌性腸管感染症、詳細不明	計	3	0.4	34	11.3	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	3	0.7	34	11.3	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
A081 ノーウォーク様ウイルスによる急性胃腸症	計	1	0.1	7	7.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	7	7.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A09 感染症と推定される下痢及び胃腸炎	計	8	1.2	214	26.8	2	3	-	-	2	1	-	-	-	-
	男	3	1.0	115	38.3	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-
	女	5	1.2	99	19.8	1	3	-	-	1	-	-	-	-	-
A419 敗血症、詳細不明	計	2	0.3	23	11.5	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	21	21.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A481 レジオネラ症<在郷軍人病>	計	1	0.1	31	31.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	31	31.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
B441 その他の肺アスペルギルス症	計	1	0.1	32	32.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	32	32.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C159 食道、部位不明【食道の悪性新生物】	計	2	0.3	45	22.5	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	2	0.7	45	22.5	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C169 胃、部位不明【胃の悪性新生物】	計	6	0.9	228	38.0	-	3	-	-	2	-	1	-	-	-
	男	4	1.4	102	25.5	-	2	-	-	2	-	-	-	-	-
	女	2	0.5	126	63.0	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-
C182 上行結腸【結腸の悪性新生物】	計	1	0.1	25	25.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	25	25.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
C187 S状結腸【結腸の悪性新生物】	計	1	0.1	42	42.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	42	42.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C20 直腸の悪性新生物	計	1	0.1	113	113.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	113	113.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
C220 肝癌【肝及び肝内胆管の悪性新生物】	計	1	0.1	10	10.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	10	10.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C259 膵、部位不明【膵の悪性新生物】	計	4	0.6	151	37.8	2	-	1	-	-	-	1	-	-	-
	男	3	1.0	33	11.0	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	118	118.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
C349 気管支又は肺、部位不明【気管支及び肺の悪性新生物】	計	10	1.4	137	13.7	6	1	1	-	2	-	-	-	-	-
	男	7	2.4	66	9.4	6	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	3	0.7	71	23.7	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-
C509 乳房、部位不明【乳房の悪性新生物】	計	1	0.1	36	36.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	36	36.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
C61 前立腺の悪性新生物	計	4	0.6	186	46.5	1	-	-	1	1	-	1	-	-	-
	男	4	1.4	186	46.5	1	-	-	1	1	-	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C66 尿管の悪性新生物	計	1	0.1	150	150.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	150	150.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
C679 膀胱、部位不明【膀胱の悪性新生物】	計	1	0.1	41	41.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	41	41.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C749 副腎、部位不明【副腎の悪性新生物】	計	1	0.1	7	7.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	7	7.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C787 肝の続発性悪性新生物	計	1	0.1	23	23.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	23	23.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
D219 結合組織及びその他の軟部組織、部位不明	計	1	0.1	34	34.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	34	34.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
D649 貧血、詳細不明	計	1	0.1	25	25.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	25	25.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E111 ケトアシドーシスを伴うもの【インスリン非依存性糖尿病<NIDDM>】	計	1	0.1	14	14.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	14	14.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
E141 ケトアシドーシスを伴うもの【詳細不明の糖尿病】	計	1	0.1	16	16.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	16	16.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
E15 非糖尿病性低血糖性昏睡	計	1	0.1	16	16.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	16	16.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
E222 抗利尿ホルモン不適分泌症候群<SIADH>	計	1	0.1	53	53.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	53	53.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E86 体液量減少(症)	計	5	0.7	105	21.0	3	-	-	-	2	-	-	-	-	-
	男	4	1.4	48	12.0	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	57	57.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
F03 詳細不明の認知症	計	5	0.7	779	155.8	2	-	-	-	1	-	1	-	1	-
	男	1	0.3	32	32.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	4	1.0	747	186.8	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-
F100 急性中毒【アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害】	計	1	0.1	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F220 妄想性障害	計	1	0.1	71	71.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	71	71.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

日野病院組合 日野病院
 ICD10コード別・在院期間別・病名数
 (2014/04/01-2015/03/31)

		総数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在 院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1 年	1-2年	2年-
						1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1 年	1-2年	2年-
F411 全般性不安障害	計	2	0.3	145	72.5	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.5	145	72.5	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—
F459 身体表現性障害、詳細不明	計	1	0.1	16	16.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	16	16.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
G20 パーキンソン病	計	3	0.4	200	66.7	—	1	1	—	—	—	1	—	—	—
	男	2	0.7	178	89.0	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—
	女	1	0.2	22	22.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
G250 本態性振戦	計	1	0.1	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
G442 緊張性頭痛	計	1	0.1	3	3.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	3	3.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
G459 一過性脳虚血発作、詳細不明	計	4	0.6	56	14.0	2	1	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	2	0.7	49	24.5	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	2	0.5	7	3.5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
G473 睡眠時無呼吸	計	9	1.3	18	2.0	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	6	2.0	12	2.0	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	3	0.7	6	2.0	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
G522 迷走神経障害	計	1	0.1	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
G560 手根管症候群	計	3	0.4	24	8.0	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	3	0.7	24	8.0	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—
G562 尺骨神経の病変	計	1	0.1	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
G908 自律神経系のその他の障害	計	1	0.1	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
G934 脳症<エンセファロパチ> >->、詳細不明	計	1	0.1	64	64.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	64	64.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H024 眼瞼下垂	計	1	0.1	17	17.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	17	17.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
H250 老人性初発白内障	計	2	0.3	20	10.0	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.5	20	10.0	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—
H259 老人性白内障、詳細不明	計	66	9.5	965	14.6	4	17	44	1	—	—	—	—	—	—
	男	27	9.2	385	14.3	2	8	16	1	—	—	—	—	—	—
	女	39	9.7	580	14.9	2	9	28	—	—	—	—	—	—	—
H501 共同性外斜視	計	1	0.1	6	6.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	6	6.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H813 その他の末梢性めまい<眩暈 (症)>	計	2	0.3	11	5.5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.5	11	5.5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I10 本態性(原発性<一次性>)高 血圧(症)	計	1	0.1	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I209 狭心症、詳細不明	計	1	0.1	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I350 大動脈弁狭窄(症)	計	1	0.1	47	47.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	47	47.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
I409 急性心筋炎、詳細不明	計	1	0.1	31	31.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	31	31.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I442 房室ブロック、完全	計	1	0.1	84	84.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	84	84.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
I48 心房細動及び粗動	計	2	0.3	9	4.5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.5	9	4.5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I500 うっ血性心不全	計	4	0.6	54	13.5	2	1	—	1	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	5	5.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	3	0.7	49	16.3	1	1	—	1	—	—	—	—	—	—
I509 心不全、詳細不明	計	30	4.3	1,024	34.1	5	6	5	5	4	4	—	1	—	—
	男	12	4.1	453	37.8	3	1	2	3	2	—	—	1	—	—
	女	18	4.5	571	31.7	2	5	3	2	2	4	—	—	—	—
I609 くも膜下出血、詳細不明	計	1	0.1	63	63.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	63	63.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
I610 (大脳)半球の脳内出血、皮質下	計	1	0.1	23	23.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	23	23.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I619 脳内出血、詳細不明	計	2	0.3	59	29.5	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	2	0.7	59	29.5	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I633 脳動脈の血栓症による脳梗塞	計	3	0.4	152	50.7	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	3	0.7	152	50.7	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—
I635 脳動脈の詳細不明の閉塞又は狭 窄による脳梗塞	計	1	0.1	38	38.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	38	38.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I638 その他の脳梗塞	計	7	1.0	484	69.1	1	—	1	—	3	—	1	1	—	—
	男	2	0.7	223	111.5	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—
	女	5	1.2	261	52.2	1	—	1	—	2	—	1	—	—	—
I639 脳梗塞、詳細不明	計	9	1.3	381	42.3	1	3	—	1	3	—	1	—	—	—
	男	5	1.7	278	55.6	1	1	—	—	2	—	1	—	—	—
	女	4	1.0	103	25.8	—	2	—	1	1	—	—	—	—	—
I669 詳細不明の脳動脈の閉塞及び狭 窄	計	1	0.1	11	11.0	—	1								

日野病院組合 日野病院
 ICD10コード別・在院期間別・病名数
 (2014/04/01-2015/03/31)

	総数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在 院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1 年	1-2年	2年-
K450 その他の明示された腹部ヘルニア、閉塞を伴い	計	1	0.1	9	9.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	9	9.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—
K529 非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎、詳細不明	計	1	0.1	32	32.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	32	32.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—
K550 腸の急性血行障害	計	1	0.1	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K559 腸の血行障害、詳細不明	計	5	0.7	42	8.4	3	2	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	4	1.0	31	7.8	3	1	—	—	—	—	—	—	—
K562 軸捻(転)	計	2	0.3	77	38.5	—	—	1	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.5	77	38.5	—	—	1	—	1	—	—	—	—
K566 その他及び詳細不明の腸閉塞	計	1	0.1	164	164.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	1	0.3	164	164.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K567 イレウス、詳細不明	計	5	0.7	315	63.0	1	—	—	2	1	—	—	1	—
	男	5	1.7	315	63.0	1	—	—	2	1	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K573 穿孔又は膿瘍を伴わない大腸の憩室性疾患	計	6	0.9	45	7.5	4	2	—	—	—	—	—	—	—
	男	3	1.0	21	7.0	2	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	3	0.7	24	8.0	2	1	—	—	—	—	—	—	—
K590 便秘	計	2	0.3	36	18.0	1	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	30	30.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	6	6.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
K623 直腸脱	計	1	0.1	45	45.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	45	45.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—
K635 大腸<結腸>のポリープ	計	5	0.7	11	2.2	5	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	4	1.4	9	2.3	4	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
K701 アルコール性肝炎	計	1	0.1	5	5.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	5	5.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K729 肝不全、詳細不明	計	5	0.7	274	54.8	2	1	1	—	—	—	—	1	—
	男	5	1.7	274	54.8	2	1	1	—	—	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K768 その他の明示された肝疾患	計	1	0.1	10	10.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	10	10.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—
K769 肝疾患、詳細不明	計	1	0.1	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
K800 急性胆のう<嚢>炎を伴う胆のう<嚢>結石	計	1	0.1	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—
K802 胆のう<嚢>炎を伴わない胆のう<嚢>結石	計	3	0.4	61	20.3	1	1	—	—	1	—	—	—	—
	男	2	0.7	18	9.0	1	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	43	43.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—
K805 胆管炎又は胆のう<嚢>炎を伴わない胆管結石	計	2	0.3	72	36.0	—	1	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.5	72	36.0	—	1	—	—	1	—	—	—	—
K810 急性胆のう<嚢>炎	計	5	0.7	240	48.0	1	1	—	—	1	2	—	—	—
	男	2	0.7	65	32.5	1	—	—	—	1	—	—	—	—
	女	3	0.7	175	58.3	—	1	—	—	—	2	—	—	—
K830 胆管炎	計	1	0.1	14	14.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	14	14.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—
K831 胆管閉塞	計	2	0.3	40	20.0	1	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	38	38.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	女	1	0.2	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
K839 胆道の疾患、詳細不明	計	1	0.1	635	635.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	635	635.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1
K85 急性膵炎	計	1	0.1	40	40.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	40	40.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—
K911 胃手術後症候群	計	1	0.1	9	9.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	9	9.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K913 術後腸閉塞	計	1	0.1	29	29.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	29	29.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—
K921 メレナ	計	3	0.4	16	5.3	2	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.5	14	7.0	1	1	—	—	—	—	—	—	—
L039 蜂巣炎<蜂窩織炎>、詳細不明	計	11	1.6	229	20.8	4	2	3	1	—	—	1	—	—
	男	7	2.4	81	11.6	3	2	2	—	—	—	—	—	—
	女	4	1.0	148	37.0	1	—	1	1	—	—	1	—	—
L270 薬物及び薬剤による全身の発疹	計	1	0.1	16	16.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	16	16.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—
L509 じんまき<蕁麻疹>、詳細不明	計	1	0.1	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
L511 水疱性多形紅斑	計	1	0.1	52	52.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	52	52.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—
L89 じょく<褥>瘡性潰瘍	計	6	0.9	1,221	203.5	—	—	—	—	1	—	3	1	1
	男	3	1.0	933	311.0	—	—	—	—	—	—	1	1	1
	女	3	0.7	288	96.0	—	—	—	—	1	—	2	—	—
M1124 その他の軟骨石灰化症(手関節偽痛風)	計	1	0.1	16	16.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	16	16.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
M1126 その他の軟骨石灰化症(膝関節偽痛風)	計	2	0.3	20	10.0	1	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	13	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—

日野病院組合 日野病院
 ICD10コード別・在院期間別・病名数
 (2014/04/01-2015/03/31)

病名	計	総数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在 院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1 年	1-2年	2年-
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
M1129 その他の軟骨石灰化症（偽痛風）	計	1	0.1	31	31.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	31	31.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
M169 股関節症、詳細不明	計	1	0.1	33	33.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	33	33.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
M179 膝関節症、詳細不明	計	12	1.7	390	32.5	1	1	-	1	9	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	12	3.0	390	32.5	1	1	-	1	9	-	-	-	-	-
M200 指の変形	計	2	0.3	44	22.0	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	18	18.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	26	26.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
M2531 関節のその他の不安定症（外傷性肩不安定症）	計	1	0.1	33	33.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	33	33.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M351 その他の重複症候群	計	1	0.1	28	28.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	28	28.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M4316 脊椎すべり症（腰椎すべり症）	計	2	0.3	7	3.5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	4	4.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M4806 脊柱管狭窄（症）（腰部脊柱管狭窄症）	計	4	0.6	84	21.0	1	-	-	2	1	-	-	-	-	-
	男	3	1.0	81	27.0	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M512 その他の明示された椎間板ヘルニア<変位>	計	1	0.1	23	23.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	23	23.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M5456 下背部痛（腰痛症）	計	1	0.1	22	22.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	22	22.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
M6259 筋の消耗及び萎縮、他に分類されないもの（筋萎縮症）	計	5	0.7	231	46.2	1	-	-	2	-	1	1	-	-	-
	男	4	1.4	135	33.8	1	-	-	2	-	1	-	-	-	-
	女	1	0.2	96	96.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
M6534 ばねく弾発指（ばね指）	計	1	0.1	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M6594 滑膜炎及び腱鞘炎、詳細不明（手指腱鞘炎）	計	1	0.1	14	14.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	14	14.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M7022 肘頭滑液包炎（肘頭滑液包炎）	計	1	0.1	15	15.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	15	15.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M7046 膝蓋前部滑液包炎（膝蓋前部滑液包炎）	計	1	0.1	23	23.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	23	23.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
M7269 えく壊>死性筋膜炎（壊死性筋膜炎）	計	1	0.1	24	24.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	24	24.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M8415 骨折の骨癒合不全〔偽関節〕（大腿骨偽関節）	計	1	0.1	86	86.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	86	86.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
M8699 骨髄炎、詳細不明（骨髄炎）	計	1	0.1	11	11.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	11	11.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M8795 骨えく壊>死、詳細不明（大腿骨壊死）	計	1	0.1	63	63.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	63	63.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
M8799 骨えく壊>死、詳細不明（骨壊死）	計	1	0.1	59	59.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	59	59.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
N10 急性尿管管間質性腎炎	計	6	0.9	116	19.3	1	2	2	-	1	-	-	-	-	-
	男	2	0.7	39	19.5	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
	女	4	1.0	77	19.3	1	2	-	-	1	-	-	-	-	-
N12 尿管管間質性腎炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	2	0.3	27	13.5	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	2	0.7	27	13.5	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
N179 急性腎不全、詳細不明	計	1	0.1	27	27.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	27	27.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
N189 慢性腎不全、詳細不明	計	6	0.9	274	45.7	-	3	-	1	-	1	1	-	-	-
	男	1	0.3	31	31.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	5	1.2	243	48.6	-	3	-	-	-	1	1	-	-	-
N201 尿管結石	計	3	0.4	34	11.3	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	22	22.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.5	12	6.0	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
N288 腎及び尿管のその他の明示された障害	計	1	0.1	21	21.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	21	21.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
N390 尿路感染症、部位不明	計	13	1.9	278	21.4	3	2	3	3	1	1	-	-	-	-
	男	1	0.3	6	6.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	12	3.0	272	22.7	2	2	3	3	1	1	-	-	-	-
R000 頻脈、詳細不明【心拍の異常】	計	1	0.1	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R060 呼吸困難	計	1	0.1	8	8.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	8	8.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R064 過呼吸	計	1	0.1	5	5.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	5	5.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R090 窒息	計	1	0.1	16	16.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	16	16.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R11 悪心及び嘔吐	計	2	0.3	7	3.5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.5	7	3.5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R13 えんく嚙>下障害	計	2	0.3	64	32.0	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	8	8.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	56	56.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-

日野病院組合 日野病院
ICD10コード別・在院期間別・病名数
(2014/04/01-2015/03/31)

病名	計	総数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在 院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1 年	1-2年	2年-
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
R190 腹腔内及び骨盤内腫脹、腫瘍及び塊	計	1	0.1	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R195 その他の異常便	計	1	0.1	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R208 その他及び詳細不明の皮膚感覚障害	計	1	0.1	5	5.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	5	5.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R223 限局性腫脹、腫瘍及び塊【皮膚及び皮下組織の限局性腫脹、腫瘍及び塊】	計	1	0.1	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R252 (有痛性)けいれん<痙攣>【異常不随意運動】	計	2	0.3	13	6.5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	2	0.7	13	6.5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R391 その他の排尿困難	計	1	0.1	72	72.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	72	72.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
R402 昏睡、詳細不明	計	11	1.6	89	8.1	8	2	—	1	—	—	—	—	—	—
	男	3	1.0	19	6.3	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	8	2.0	70	8.8	6	1	—	1	—	—	—	—	—	—
R42 めまい<眩暈>感及びよろめき感	計	6	0.9	17	2.8	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	3	1.0	8	2.7	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	3	0.7	9	3.0	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R509 発熱、詳細不明	計	1	0.1	106	106.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	106	106.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
R54 老衰	計	12	1.7	438	36.5	2	1	2	2	1	4	—	—	—	—
	男	3	1.0	152	50.7	—	—	—	1	1	1	—	—	—	—
	女	9	2.2	286	31.8	2	1	2	1	—	3	—	—	—	—
R570 心原性ショック	計	1	0.1	3	3.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	3	3.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R579 ショック、詳細不明	計	2	0.3	4	2.0	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R630 食欲不振	計	1	0.1	54	54.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	54	54.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
R91 肺の画像診断における異常所見	計	1	0.1	5	5.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	5	5.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S000 頭皮の表在損傷	計	1	0.1	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S010 頭皮の開放創	計	1	0.1	43	43.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	43	43.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
S141 頭髄のその他及び詳細不明の損傷	計	3	0.4	97	32.3	—	1	—	—	2	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	38	38.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	2	0.5	59	29.5	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—
S2200 胸椎骨折(胸椎圧迫骨折)	計	6	0.9	171	28.5	—	1	1	1	3	—	—	—	—	—
	男	3	1.0	102	34.0	—	—	—	1	2	—	—	—	—	—
	女	3	0.7	69	23.0	—	1	1	—	1	—	—	—	—	—
S2230 肋骨骨折(肋骨骨折)	計	2	0.3	36	18.0	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	16	16.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	20	20.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
S270 外傷性気胸	計	1	0.1	36	36.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	36	36.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S300 下背部及び骨盤部の挫傷【腹部、下背部及び骨盤部の表在損傷】	計	1	0.1	12	12.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	12	12.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S3200 腰椎骨折(腰椎圧迫骨折)	計	5	0.7	160	32.0	—	1	1	1	2	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	15	15.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	4	1.0	145	36.3	—	—	1	1	2	—	—	—	—	—
S3230 腸骨骨折(腸骨骨折)	計	1	0.1	30	30.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	30	30.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
S3250 恥骨骨折(恥骨骨折)	計	1	0.1	78	78.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	78	78.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
S3280 腰椎及び骨盤のその他及び部位不明の骨折(骨盤骨折)	計	1	0.1	14	14.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	14	14.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
S335 腰椎の捻挫及びストレイン	計	1	0.1	37	37.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	37	37.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
S430 肩関節脱臼	計	1	0.1	31	31.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	31	31.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
S462 上腕二頭筋のその他の部位の筋及び腱の損傷	計	1	0.1	5	5.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	5	5.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S5200 尺骨近位端骨折(モンテジヤ骨折)	計	1	0.1	16	16.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	16	16.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
S5250 橈骨遠位端骨折(ガリアッチ骨折)	計	4	0.6	145	36.3	—	—	—	2	1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	4	1.0	145	36.3	—	—	—	2	1	1	—	—	—	—
S563 前腕の母指の伸筋又は外転筋及び腱の損傷	計	1	0.1	13	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	13	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S6260 その他の指の骨折(環指骨折)	計	1	0.1	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S670 母指及びその他の指の挫減損傷	計	1	0.1	8	8.0	1									

日野病院組合 日野病院
ICD10コード別・在院期間別・病名数
(2014/04/01-2015/03/31)

病名	計	総数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
						1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
S681 その他の単指の外傷性切断(完全)(部分的)	計	1	0.1	3	3.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	3	3.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S7200 大腿骨頸部骨折(股関節骨折)	計	8	1.2	660	82.5	—	—	—	1	3	3	—	1	—	—
	男	1	0.3	55	55.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	7	1.7	605	86.4	—	—	—	1	2	3	—	1	—	—
S7210 転子貫通骨折(大腿骨転子部骨折)	計	9	1.3	409	45.4	1	—	—	—	6	1	1	—	—	—
	男	2	0.7	76	38.0	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—
	女	7	1.7	333	47.6	1	—	—	—	4	1	1	—	—	—
S7240 大腿骨遠位端骨折(大腿骨遠位端骨折)	計	1	0.1	79	79.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	79	79.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
S7290 大腿骨骨折、部位不明(大腿骨骨折)	計	1	0.1	5	5.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	5	5.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S761 大腿四頭筋及び腱の損傷	計	1	0.1	47	47.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	47	47.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
S8200 膝蓋骨骨折(膝蓋骨骨折)	計	1	0.1	25	25.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	25	25.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
S8210 脛骨近位端骨折(脛骨近位端骨折)	計	3	0.4	91	30.3	—	1	—	—	2	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	10	10.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.5	81	40.5	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—
S8220 脛骨骨幹部骨折(脛骨骨折)	計	1	0.1	59	59.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	59	59.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
S8260 外果骨折(デュピトラン骨折)	計	1	0.1	34	34.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	34	34.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S832 半月裂傷<断裂>、新鮮損傷	計	4	0.6	76	19.0	—	2	—	2	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	29	29.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	女	3	0.7	47	15.7	—	2	—	1	—	—	—	—	—	—
S835 膝の(前)(後)十字靭帯の捻挫及び びストレイン	計	1	0.1	88	88.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	88	88.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
S836 膝のその他及び部位不明の捻挫 及びストレイン	計	1	0.1	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
S860 アキレス腱損傷	計	1	0.1	46	46.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	46	46.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S8610 下腿の後筋群のその他の筋及び 腱の損傷(腓腹筋肉離れ)	計	1	0.1	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S870 膝の挫減損傷	計	1	0.1	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S9200 踵骨骨折(踵骨骨折)	計	2	0.3	129	64.5	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	61	61.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	68	68.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
S9230 中足骨骨折(行軍骨折)	計	1	0.1	39	39.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	39	39.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
S971 趾<足ゆび>の挫減損傷	計	1	0.1	6	6.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	6	6.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T0210 胸部<郭>の骨折、下背部及び 骨盤部の骨折を伴うもの(胸腰 椎圧迫骨折)	計	1	0.1	21	21.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	21	21.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
T08-0 脊椎骨折、部位不明(脊椎骨 折、部位不明)	計	1	0.1	30	30.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	30	30.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
T149 損傷、詳細不明	計	1	0.1	30	30.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	30	30.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
T179 気道内異物、部位不明	計	1	0.1	3	3.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	3	3.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T240 股関節部及び下肢の程度不明の 熱傷、足首及び足を除く	計	1	0.1	37	37.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	37	37.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
T460 強心配糖体及び類似作用薬【主 として心血管系に作用する薬物 による中毒】	計	1	0.1	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
T630 ヘビ毒【有毒動物との接触による 毒作用】	計	2	0.3	13	6.5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	6	6.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T68 低体温(症)	計	1	0.1	16	16.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	16	16.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
T796 筋の外傷性阻血	計	1	0.1	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T814 処置に続発する感染症、他に分 類されないもの	計	2	0.3	73	36.5	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.5	73	36.5	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—
T911 脊椎骨折の続発・後遺症	計	1	0.1	50	50.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	50	50.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
Z470 骨折プレート及びその他の内面 定器具の除去に関する経過観察 <フォローアップ>ケア	計	2	0.3	11	5.5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	3	3.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Z501 その他の理学療法	計	12	1.7	452	37.7	1	—	2	3	5	—	1	—	—	—
	男	6	2.0	291	48.5	—	—	1	1	3	—	1	—	—	—
	女	6	1.5	161	26.8	1	—	1							

疾病中分類別・上位疾病別・病名数

(2014/04/01-2015/03/3)

対象期間の全病名数695件

番号	順位	コード	分類名	件数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	平均年齢
1	1	079	水晶体の障害	68	9.8	985	14.5	77.9
2	2	102	インフルエンザ及び肺炎	64	9.2	2,344	36.6	85.7
3	3	096	その他の型の心疾患	39	5.6	1,249	32.0	85.7
4	4	097	脳血管疾患	29	4.2	1,510	52.1	80.1
5	5	116	腸のその他の疾患	28	4.0	743	26.5	80.6
6	6	204	股関節部及び大腿の損傷	20	2.9	1,200	60.0	86.8
7	7	189	認識、知覚、情緒状態及び行動に関する症状及び徴候	17	2.4	106	6.2	77.5
8	7	191	全身症状及び徴候	17	2.4	605	35.6	89.1
9	9	023	消化器の悪性新生物	16	2.3	614	38.4	74.1
10	9	106	外的因子による肺疾患	16	2.3	391	24.4	90.8
11	9	119	胆のう<囊>、胆管及び膵の障害	16	2.3	1,113	69.6	78.3
12	12	205	膝及び下腿の損傷	15	2.2	440	29.3	61.7
13	13	001	腸管感染症	14	2.0	289	20.6	67.0
14	13	070	挿間性及び発作性障害	14	2.0	77	5.5	69.1
15	13	114	ヘルニア	14	2.0	131	9.4	67.1
16	13	223	特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者	14	2.0	463	33.1	72.4
17	17	131	関節症	13	1.9	423	32.5	76.2
18	17	149	尿路系のその他の疾患	13	1.9	278	21.4	92.1
19	19	105	慢性下気道疾患	12	1.7	814	67.8	83.8
20	20	103	その他の急性下気道感染症	11	1.6	148	13.5	78.3
21	20	121	皮膚及び皮下組織の感染症	11	1.6	229	20.8	78.6

部門別統計

日野病院部門別各種統計調べ(No.1)

病院事業関係

(単位: 件)

(単位: 人)

手術件数	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	差引
外科	81	81	75	65	66	47	△ 19
整形外科	190	130	155	110	148	102	△ 46
眼科	177	161	151	139	122	122	0
泌尿器科	0	2	0	0	0	0	0
計	448	374	381	314	336	271	△ 65

(単位: 件)

内視鏡検査	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	差引
胃カメラ	819	729	655	695	674	606	△ 68
胃透視	35	24	23	16	7	1	△ 6
大腸ファイバー	89	89	77	132	131	106	△ 25
大腸透視	0	2	1	0	0	0	0
気管支鏡	9	7	12	18	13	12	△ 1
胃ろう造設術	17	19	18	12	14	13	△ 1
膀胱鏡		33	36	54	55	29	△ 26
ステント交換		12	26	28	25	22	△ 3

(単位: 件)

超音波検査	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	差引
腹部エコー	804	773	642	589	543	497	△ 46
心エコー	383	244	237	246	259	281	22

(単位: 件)

薬局状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	差引
服薬指導(人数)	581	551	571	378	388	373	△ 15
服薬指導(件数)	1,071	1,036	1,074	643	660	556	△ 104
訪問服薬指導	110	127	97	94	81	23	△ 58
処方箋枚数	10,067	10,209	10,010	11,141	11,006	11,340	334
薬剤数	27,608	25,471	27,567	30,693	32,249	34,405	2,156
注射箋枚数	18,685	16,159	14,976	14,190	14,387	12,966	△ 1,421
製剤数	889	665	877	862	774	829	55
IVH本数	4,820	3,131	1,902	1,831	1,696	745	△ 951
疑義照会	599	539	587	632	597	551	△ 46

人工透析状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	差引
実患者数	109	142	157	178	133	145	12
延べ患者数	1,217	1,536	1,734	1,938	1,552	1,714	162

(単位: 件)

放射線状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	差引
一般撮影	6,014	5,293	5,563	5,729	5,811	5,821	10
ポータブル撮影	887	888	845	803	730	707	△ 23
外科用イメージ撮影	97	57	72	45	71	55	△ 16
骨塩定量	266	332	321	578	465	540	75
マンモ撮影	231	51	36	29	23	15	△ 8
訪問撮影	47	33	52	83	77	74	△ 3
CT検査	1,512	1,564	1,657	1,732	1,626	1,554	△ 72
MRI検査	738	600	640	838	644	640	△ 4
計	9,792	8,818	9,186	9,837	9,447	9,406	△ 41
遠隔読影	0	1,300	1,530	1,698	1,780	1,854	74

(単位: 件)

検査実施状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	差引
人間ドック	116	136	86	116	119	114	△ 5
人間ドック(MRI含)	20	19	22	17	22	20	△ 2
共済組合ドック	128	65	71	76	66	55	△ 11
脳ドック	82	88	88	74	58	64	6
生活習慣病診	129	124	136	128	133	122	△ 11
子宮がん	230	9	5	36	30	29	△ 1
乳がん・マンモ	191	19	3	5	3	3	0
骨塩	24	22	12	31	42	35	△ 7
日野町前立腺マーカー	0	0	0	0	0	10	10
原爆検診	6	6	7	8	6	4	△ 2
予防接種	1,719	1,628	1,722	1,542	1,609	1,778	169
特定検診	12	13	9	9	13	12	△ 1
事業所健診	37	36	34	29	37	26	△ 11
計	2,694	2,165	2,195	2,071	2,138	2,272	134

日野病院部門別各種統計調べ(No.2)

(単位: 件)

(単位: 件)

栄養管理室 状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	差引
入院時 食事療養	64,905	63,016	66,148	64,536	64,526	67,609	3,083
特別食加算	39,577	32,181	32,364	34,346	33,564	38,906	5,342
食堂加算	22,141	21,447	22,514	21,917	21,430	22,927	1,497
入院時 延べ食数	64,905	63,016	66,148	64,536	64,526	67,609	3,083
外来透 析数	878	955	881	806	884	887	3
栄養指 導	557	586	532	548	532	516	△ 16
訪問栄 養指導	2	6	3	4	1	0	△ 1
特定健 診指導	26	5	11	1	1	0	△ 1
その他 検診等 指 導	9	6	25	120	195	240	45

(単位: 件)

理学療法 状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	差引
運動器 I	16,049	9,500	8,689	9,463	9,440	9,572	132
運動器 I (維持期)	0	0	0	0	0	756	756
呼吸器 I	1,260	1,410	1,529	1,960	952	1,253	301
脳血管 II	10,945	10,077	11,023	12,877	8,765	6,325	△ 2,440
脳血管 II (維持期)	0	0	0	0	0	203	203
徒手の 処置	1,483	1,520	1,230	853	527	733	206
器具の 処置	1,863	1,617	1,388	744	378	182	△ 196
退院時 指導	331	286	284	228	250	255	5
退院前 指導	108	69	96	91	92	90	△ 2
地域包 括ケア 病床分	0	0	0	0	0	6,801	6,801

(単位: 件)

検査室 状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	差引
生化学 セット	8,669	8,441	7,936	8,715	8,940	8,700	△ 240
C B C	8,647	8,126	7,694	7,844	8,353	7,878	△ 475
凝固 検査	1,898	2,326	2,259	2,421	2,789	2,762	△ 27
尿 検査	5,992	6,020	5,785	5,346	5,249	5,064	△ 185
心電 図	2,022	1,758	1,740	1,727	1,726	1,668	△ 58
呼吸 機能	605	451	435	562	479	382	△ 97
誘発 筋電図	33	74	98	118	132	109	△ 23
眼底 カメラ	364	312	277	292	273	257	△ 16
脳 波	10	18	15	19	23	24	1
血圧 脈波	32	44	62	58	23	120	97
計	28,272	27,570	26,301	27,102	27,987	26,964	△ 1,023

(単位: 人)

訪問看護	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	差引
実利用者数	411	370	373	455	395	451	56
延べ利用者数	2,062	1,897	1,822	2,062	1,785	1,815	30

(単位: 件)

在宅支援 (介護)	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	差引
件数	614	770	775	741	776	936	160

(単位: 人)

訪問リハビリ	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	差引
実利用者数	467	482	515	586	670	680	10
延べ利用者数	1,938	2,015	2,360	3,046	3,524	3,530	6

(単位: 件)

在宅支援 (予防)	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	差引
件数	229	267	288	344	389	524	135

メディカルソーシャルワーカー業務統計(平成26年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
援助 件数		188	205	242	234	254	256	273	294	402	338	335	305	3,326
入・外	入院	165	138	175	175	166	166	208	206	301	262	357	233	2,552
	外来	23	67	67	59	88	90	65	88	101	76	78	72	874
新・継	新規	55	42	57	53	53	51	76	57	100	69	72	31	716
	継続	133	163	185	181	201	205	197	237	302	269	283	274	2,630
援助内容	経済的・社会的問題の解決調整	17	28	40	34	34	39	56	41	74	27	29	27	446
	診療関係の援助	46	62	88	100	125	113	145	161	234	218	177	179	1,648
	人間関係の援助	28	24	39	38	52	42	41	52	74	38	91	65	584
	心理情緒的問題の援助	29	37	67	55	60	65	62	40	79	47	65	69	675
	社会復帰・退院援助	139	152	156	145	138	179	179	176	269	187	231	223	2,174
	関係(者)機関との連携・協力	127	159	124	123	95	176	194	202	312	223	222	191	2,148
面接等対象者	医師	77	113	124	112	121	128	168	148	252	233	188	182	1,846
	看護師	54	47	67	68	47	61	71	76	113	143	108	114	969
	職員	58	53	62	58	65	70	84	92	104	114	96	100	956
	本人	93	76	116	152	137	130	136	142	220	206	222	184	1,814
	家族	82	86	89	105	132	121	153	98	187	164	187	176	1,580
	関係機関	127	159	177	171	179	176	194	202	312	223	222	191	2,333
	その他	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	5	9
援助方法	面接	99	92	146	159	162	156	166	198	296	249	264	235	2,222
	協議	46	41	37	45	45	45	43	60	61	66	38	47	574
	訪問	9	4	7	10	13	5	8	11	10	9	14	10	110
	電話	43	134	84	65	59	84	121	99	157	184	156	153	1,339
	文書	60	47	66	67	64	50	57	74	81	87	62	60	775
新規紹介経路	医師	22	29	32	27	36	25	51	23	73	55	54	22	449
	看護師	17	13	24	19	12	9	17	15	27	31	25	7	216
	職員	15	12	22	15	10	9	20	17	28	21	18	5	192
	本人	29	17	33	36	24	25	45	23	43	39	46	14	374
	家族	21	86	22	22	23	17	49	15	30	25	38	18	366
	関係機関	38	27	39	38	37	35	47	41	77	48	51	22	500
	その他	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2

3、業績

誌上発表

ご近所のお医者さん 百寿者について

櫃田 豊

毎日新聞鳥取版 第 47265 号（平成 26 年 4 月 1 日発行）p25, 2014

ご近所のお医者さん 君の瞳に乾杯！

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 47286 号（平成 26 年 4 月 22 日発行）p23, 2014

肺炎は訪問診察患者さんの敵

櫃田 豊

日野病院組合だより せせらぎ 第 50 号（平成 26 年 5 月発行）p2, 2014

最新の医療情報から ドライアイの治療戦略

玉井 嗣彦

日野病院組合だより せせらぎ 第 50 号（平成 26 年 5 月発行）p3, 2014

栄養ニュースNo.6 規則的な食生活の重要性！

仲石 康子

日野病院組合だより せせらぎ 第 47 号（平成 25 年 5 月発行）p5, 2013

ご近所のお医者さん 続・百寿者について

櫃田 豊

毎日新聞鳥取版 第 47307 号（平成 26 年 5 月 13 日発行）p27, 2014

ご近所のお医者さん 睫毛を巡る話題

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 47328 号（平成 26 年 6 月 3 日発行）p21, 2014

ご近所のお医者さん 訪問診察と肺炎

櫃田 豊

毎日新聞鳥取版 第 47342 号（平成 26 年 6 月 17 日発行）p23, 2014

会場監督

玉井 嗣彦

2014-2015 年度クラブ活動状況報告書（米子ロータリークラブ、平成 26 年 6 月 20 日発行）
p47, 2014

〈納豆〉血栓を溶かす酵素により網膜血管閉塞症が劇的に回復

玉井 嗣彦

宮永嘉隆監修「目が劇的によくなる最強辞典」マキノ出版、東京（平成 26 年 6 月 22 日発行）
p100-115, 2014

目の奥の血管がつまる眼底出血には夜二パックの「納豆」が効き、視野欠損の回復も確認

玉井 嗣彦

健康月刊誌「わかさ」 第 25 巻（第 8 号）（平成 25 年 7 月 1 日発行） p152, 2014

米子ロータリークラブ第 3030 回新年例会 就任ご挨拶「S A A」

玉井 嗣彦

米子ロータリークラブ週報 No.2187 号（平成 26 年 7 月 4 日発行） p2, 2014

ご近所のお医者さん コンタクト使用は適切に

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 47362・3 号（平成 26 年 7 月 8 日発行） p25, 2014

網膜血管閉塞症の眼底出血や視野欠損が納豆食で劇的に回復したと眼科医が確認

玉井 嗣彦

マキノ出版ムック「安心」特別編集「目がぐんぐん若返るNo.1 自力療法」
マキノ出版、東京（平成 26 年 7 月 15 日発行） p36-37, 2014

S A Aからのメッセージ

玉井 嗣彦

米子ロータリークラブ月報 No.706 号（平成 26 年 7 月 24 日発行） p3, 2014

ご近所のお医者さん 鳥取県の平均寿命

櫃田 豊

毎日新聞鳥取版 第 47384 号（平成 26 年 7 月 29 日発行） p27, 2014

納豆を夕食に 1 パック食べたら 0.01 から 1.5 に視力回復！眼底出血も止まった

玉井 嗣彦

マキノ出版ムック「ゆほびか」特別編集「血液・血管が詰まらない切れない最強セルフケア」
マキノ出版、東京（平成 26 年 7 月 31 日発行） p58-60, 2014

目の血管にできた血栓を溶解し網膜血管閉塞を予防・改善！ 臨床例が続発の「夕食納豆」

玉井 嗣彦

健康月刊誌「はつらつ元気」第12巻（第8号）（平成26年8月2日発行）p70-71, 2014

出血が完全消失して視力回復！「夕食納豆」臨床報告

玉井 嗣彦

健康月刊誌「はつらつ元気」第12巻（第8号）（平成26年8月2日発行）p72-75, 2014

ご近所のお医者さん コンタクトにご注意

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第47426号（平成26年9月9日発行）p27, 2014

地域包括ケアシステムと地域包括ケア病床

櫃田 豊

日野病院組合だより せせらぎ 第51号（平成26年9月発行）p2, 2014

温かい生活環境を求めて —ユーモアの大切さ—

玉井 嗣彦

日野病院組合だより せせらぎ 第51号（平成26年9月発行）p3, 2014

栄養ニュースNo.7 【青魚を食べて生活習慣病予防！】

仲石 康子

日野病院組合だより せせらぎ 第51号（平成26年9月発行）p7, 2014

ご近所のお医者さん 地域包括ケアシステムと医療モデル

櫃田 豊

毎日新聞鳥取版 第47447号（平成26年9月30日発行）p25, 2014

食べる目薬「夜納豆」が血栓を溶かす！網膜血管閉塞症の予防・改善に効果大

玉井 嗣彦

「健康」編集部編「白内障・緑内障・黄斑変性が自分で治せる101のワザ」
主婦の友インフォス情報社、東京（平成26年11月1日発行）p94-95, 2014

ご近所のお医者さん 網膜色素変性と点眼治療

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第47488・9号（平成26年11月11日発行）p25, 2014

1 杯のコーヒーから

玉井 嗣彦

鳥取大学医学部眼科同門会だより 第 31 号（平成 26 年 12 月発行）p42, 2014

瞳に思いを寄せて

玉井 嗣彦

豊瞳（高知大学医学部眼科学教室同門会誌）第 17 号（平成 26 年 12 月発行）p48-50, 2014

鳥取大学地域医療総合教育研修センターと日野病院

櫃田 豊

鳥取県医師会報 No. 714（平成 26 年 12 月発行）p38-39, 2014

ご近所のお医者さん 地域包括ケアシステムと多職種連携

櫃田 豊

毎日新聞鳥取版 第 47510 号（平成 26 年 12 月 2 日発行）p25, 2014

年頭のご挨拶 ー昨年、一番驚いたことー

櫃田 豊

日野病院組合だより せせらぎ 第 52 号（平成 27 年 1 月発行）p2, 2015

新春放談 ー真の医療を求めてー

玉井 嗣彦

日野病院組合だより せせらぎ 第 52 号（平成 27 年 1 月発行）p4, 2015

真の医療を求めて

玉井 嗣彦

日本医事新報 No.4732 号（平成 27 年 1 月 3 日発行）p53-54, 2015

ご近所のお医者さん 眼とアンチエイジング

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 47544 号（平成 27 年 1 月 6 日発行）p23, 2015

ご近所のお医者さん 地方に医師を その 1

櫃田 豊

毎日新聞鳥取版 第 47565 号（平成 27 年 1 月 27 日）p25, 2015

ご近所のお医者さん 老視のアンチエイジング

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 47586 号（平成 27 年 2 月 17 日発行） p27, 2015

ご近所のお医者さん 地方に医師を その 2

櫃田 豊

毎日新聞鳥取版 第 47600 号（平成 27 年 3 月 3 日発行） p27, 2015

ご近所のお医者さん 3 歳児眼科検診の重要性

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 47621 号（平成 27 年 3 月 24 日発行） p27, 2015

学会等発表

1. 学会

第5回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会（平成26年5月10-11日 岡山コンベンションセンター）

中山間地の基幹病院の内科外来における「主訴－最終診断」についての前向き調査
福井 裕子、浜田 紀宏、松波 馨士、渡邊 ありさ、松澤 和彦、谷口 晋一、櫃田 豊、北谷 新、熊野 健太郎

第51回日本呼吸器学会中国四国地方会（平成26年7月11-12日 米子コンベンションセンター）

気管支拡張症患者に発症したANCA関連腎炎の1例
熊野 健太郎、松波 馨士、櫃田 豊、前田 佐登子、清水 英治

在宅療養患者の再入院および死亡理由についての検討－肺炎の重要性－
松波 馨士、熊野 健太郎、北谷 新、椋田 権吾、櫃田 豊、清水 英治

自作の内筒により長期生存が達成できた気管切迫閉塞症例
松波 馨士、熊野 健太郎、櫃田 豊、松本 慎吾、清水 英治

第11回日本医療マネジメント学会鳥取支部学術集会シンポジウム（平成26年9月27日 倉吉未来中心）

地域包括ケアシステムの中で病院の果たすべき役割
日野病院の地域包括ケアに対する取り組み－中山間地域の中核病院として－
櫃田 豊、松波 馨士、熊野 健太郎、椋田 権吾、山口 浩一、生田 伸二、小村 裕美子

中山間地基幹病院における服薬管理支援
山口 浩一、木戸脇 久美、山本 直子、川上 靖、櫃田 豊、大谷 眞二

入院患者の持参薬管理について
生田 絹子、山川 千秋

訪問看護介入事例よる在宅看取りについて振り返る－箕岡氏の「在宅でのよりよい看取りを阻む要因」を用いた検討－
影山 光恵、濱田 辰美、毛利 富士美、小村 裕美子、森谷 静枝

第24回日本医療薬学会年会（平成26年9月27-28日 名古屋国際会議場）

服薬アドヒアランスに影響を及ぼす因子の検討 ―中山間地の基幹病院における残薬調査およびアンケートをもとに―

山本 直子、神庭 隆、木戸脇 久美、山口 浩一、櫃田 豊、大谷 眞二

第53回全国自治体病院学会（平成26年10月30-31日 宮崎市 シーガイアコンベンションセンター）

看護に活かすデスカンファレンス ―デスカンファレンスシートを使用して見えてきたもの―
三好 妙子、吉川 玉枝、朝野 純子、生田 悠、山川 千秋、田中 恵

中山間地基幹病院における服薬管理支援

山口 浩一、木戸脇 久美、山本 直子、川上 靖、櫃田 豊、大谷 眞二

第30回日本環境感染学会学術集会（平成27年2月20-21日 神戸国際会議場）

当院での手指衛生の現状と課題

池田 清香、磯江 光代、長尾 孝夫

第9回鳥取県看護研究学会（平成27年3月7日 鳥取市 鳥取県看護研修センター）

看護師のカンファレンスに対する意識調査 ―カンファレンス充実のための課題―
生田 悠、朝野 純子

記録の充実に向けた取り組み ―形式的監査を通じて見えてきたもの―

近藤 智富美、妹尾 小百合、森原 伸子、木村 多亜子、篠田 多美子、安達 節子、生田 悠、
金田 明子

2. 研究会 その他

米子ロータリークラブ第 3030 回新年度初例会（平成 26 年 7 月 4 日 米子全日空ホテル）

S A A（就任ご挨拶）

玉井 嗣彦

地域で育てる新人教育（シンポジウム）（平成 26 年 8 月 21 日 鳥取市 鳥取県看護研修センター）

小規模病院における新人教育

野坂 由貴子

公開講座（シンポジウム）（平成 26 年 10 月 7 日 鳥取市 とりぎん文化会館）

がんになって見えてきたもの

野坂 由貴子

院内看護研究発表会（平成 26 年 10 月 15 日 日野病院）

小規模病院における新人教育

野坂 由貴子

出かける看護 ―お迎え入室を試みて―

住田 亜矢子、伊田 志保子、上田 宏美、佐藤 尚喜

訪問看護介入事例 ―在宅緩和ケアの現状を振り返る―

影山 光恵、濱田 辰美、毛利 富士美、森谷 静枝、小村 裕美子

当院における外来継続看護に関するアンケート調査結果を検討して

森川 実保、亀尾 加奈子、長尾 加奈子、竹永 真由美

看護に活かすデスカンファレンス ―デスカンファレンスシートを使用して見えてきたもの―

生田 悠、山川 千秋、三好 妙子、住田 早苗、朝野 純子、吉川 玉枝、田中 恵

在宅を見据えた医療・看護ケアの連携と現状の課題 ―看護診断の使用状況と、カンファレンス
で必ず確認する情報から―

濱田 辰美

鳥取県病院協会西部支部第 286 回定例会（平成 26 年 10 月 18 日 ホテルサンルート米子）

地域包括ケア病（床）棟の施設基準の取得と現状について

櫃田 豊

鳥取県西部自治体病院看護研究発表会（平成 26 年 11 月 1 日 日南町福祉センター）

訪問看護介入事例よる在宅看取りについて振り返る ―箕岡氏の「在宅でのよりよい看取りを阻む要因」を用いた検討―

影山 光恵、濱田 辰美、毛利 富士美、小村 裕美子、森谷 静江

出かける看護 ―お迎え入室を試みて―

住田 亜矢子、伊田 志保子、上田 宏美、佐藤 尚喜

第 7 回鳥取県実践が生きる看護診断研究会（平成 26 年 11 月 8 日 倉吉市 アゼリアホール）

当院における外来継続看護に関するアンケート調査結果を検討して

森川 実保、亀尾 加奈子、長尾 加奈子、竹永 真由美

シンポジウム

在宅を見据えた医療・看護ケアの連携と現状の課題 ―看護診断の使用状況と、カンファレンスで必ず確認する情報から―

濱田 辰美

健康教室（平成 26 年 11 月 19 日 日野町役場）

冬場の健康管理

檀田 豊

日野病院のこれからを考える研修会（平成 26 年 11 月 21 日 日野病院）

日野病院における地域包括ケア病床の役割と現状

檀田 豊

第 14 回県民公開講座 栄養士のための調査・研究研修会発表（平成 27 年 3 月 7 日 琴浦町生涯学習センター）

職域を越えた栄養士連携による栄養管理の重要性と効果

白岩 幸水恵、仲石 康子

平成 26 年度 鳥取大学医学部附属病院 コース研修履修報告（平成 27 年 3 月 12 日 日野病院）

感染対策コース：田枝 美智代、小林 博子

褥創ケアコース：長住 早紀、生田 悠

下肢救済ケアコース：長井 淳子、金田 明子

救急・災害看護コース：坪倉 隆美、住田 早苗

がん看護コース：木村 理絵、生田 絹子

緩和ケアコース：柳瀬 瑞保、長尾 純子

糖尿病コース：森 浩恵、吉川 玉枝

鳥取大学医学部附属病院 T-HOC事業 キックオフ会（平成 27 年 3 月 21 日 米子ワシントンホテル）

鳥取県の訪問看護の現状

濱田 辰美

黒坂診療所 10 周年記念イベント（平成 27 年 3 月 25 日 日野町公民館）

季節に応じた健康管理

櫃田 豊

訪問看護ステーションの活動状況

影山 光恵

4、新聞記事

ご近所のお医者さん

(毎日新聞鳥取版)

櫃田 豊 病院長

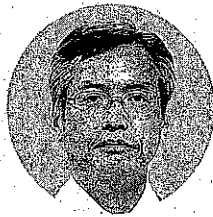
前回(4月1日)、100歳まで生きた人を医学的に百寿者と呼ぶことがあること、その百寿者が最近になり急激に増えていることについてお話ししました。今回は、なぜ百寿者が増えているのか、また、百寿者になれる人となれない人とはどのような違いがあるのかをお話しします。

百寿者が増えている理由としてまず考えられるのは平均寿命の延長です。日本人の平均寿命は明治・大正時代を通じて40歳代で推移し、昭和22年になって男女ともに50歳を超えました。その後の伸び

ご近所のお医者さん

□ 263 □

日野病院(日野町) 櫃田 豊さん



は飛躍的であり、平成24年には男性が79・94歳、女性が86・41歳に達しました。100歳まで生きることが以前ほど難しいことではなく、なっているのは確かです。しかし、それにしても、百寿者の多くは、すくと、百寿者の多くは、的なた特徴があることが分かりました。慶応大総合診療科の新井康通氏はそのメカニズムを研究する過程で、アディポネクチンという物質に注目しました。アディポネクチンは、糖尿病を予防する作用を有し、主に脂肪細胞から分泌されます。その長寿に到った可能性が示唆されたのです。現在、アディポネクチン関連の新薬の研究が開発が進んでいます。そのような薬が登場すれば、さらに多くの人に長寿が約束されることになりそうです。

続・百寿者について

も百寿者になれる人となれない人がいることも厳然たる事実です。なぜそのような違いが生じるのかを明らかにするために、百寿者の特徴が調べられてきました。それにより、

90%以上、男性でも60%以上であり、禁煙に對する高い意識を持っています。

このような気分、嗜好、意識面での特徴以外に、最近になり、百寿者には肥満や糖尿病同等の肥満度を示す若年者で比較し、百寿者

最近、訪問診察といふ言葉をよく耳にするようになりまし。訪問診察とは病気や高齢などの理由で通院が困難な患者さんに対して、医師が定期的に自宅におうかがいし、検査や治療を行うことを言います。

日野病院では毎月40〜50人の患者さんに訪問診察を行っています。私自身も14、15人を担当しています。訪問診察患者さんに関して、私が常々関心を抱いてきたことに、それぞれの患者さんの経過の多彩さがあります。10年以上にわたって病状に変化がない患者さ

ご近所のお医者さん

□ 268 □

日野病院(日野町)

櫃田 豊さん



私たちは訪問診察開始時の患者さんの背景(年齢、性別、肥満度など)と生存期間に関係があるかどうかを検討しました。がん患者さんについて、生存期間が短いことが明らかでし

んが一方、入院を繰り返したり、わずかな数回の訪問診察後に亡くなってしまふ患者さんがいるのです。何故そのような違いが生じるのかを明らかにするため、最近、私

ら三つの因子と生存期間との関係は、高齢者や多くの慢性疾患患者さんにおいても見出されていきました。すなわち、訪問診察患者さんに特有という訳ではなかったのです。

訪問診察と肺炎

理由としては肺炎が圧倒的に多く、次いで介護者の都合、骨折、慢性的心不全増悪、尿路感染などでした。死亡理由としても肺炎が最も多く、がん、老衰などがそれに続きます。以上より、訪問診察患者さんの経過を悪く

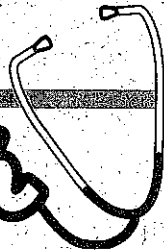
たので除外しました。結論として、高齢、男性、やせの三つが生存期間を短縮させる可能性のある因子として抽出されました。

この情報は訪問診察患者さんを診る上で有用でした。しかし、文獻を調べますと、これをこの情報に基づいて、再入院の頻度を減らすために、今後、日野病院と

鳥取県のホームページに「100の指標からみた鳥取県」という統計資料があるのをご存知でしょうか。47都道府県と県内19市町村について、人口、経済、社会などに関する基本的な指標100個が記載されています。これらと比較すると意外と知らない県の姿を垣間見ることが出来ます。

例えば、鳥取県は人口10万人当たりの体育館数では昭和59(1984)年以来全国1位を続けています。平成24(2012)年には人口1万人当たりの交通事故死者数が全国一少なくなりました。

ご近所のお医者さん



□ 273 □

日野病院(日野町)

櫃田 豊さん



さらに、同じ県内でも、例えば下水道普及率は東部が高く、道路舗装率は西部が高いといった地域差があります。

さて、仕事柄、平均寿命という指標に目が止まりました。一番新しい平成22(2010)年の国勢調査により、日本人的平均寿命は男性79・59歳、女性86・35歳。鳥取県は男性が79・01歳、女性が86・08歳で、いずれも全国の値を下回りました。

一方、女性の場合は、平均寿命が全国の値を下回ったのは、昭和25年以降初めてのことです。鳥取県では女性の平均寿命が著しく短縮する

また、平成22年の女性の手に入れることが出来るかもしれません。

鳥取県の平均寿命

この原因として挙げられるのが平均寿命の計算の違いです。以前より男性は都府県平均より3年間のデータを基に算出され、女性はその逆でした。米子市や境港市に在住の女性の平均寿命が鳥取県に引越して来ると、さらなる長寿を実現する可能性があります。

地域包括ケアシステムという言葉をお聞きになった方もあると思います。高齢者に対して住まい・生活支援・医療・介護・予防を一体的に提供する体制のことです。厚生労働省は2025年を目途にその体制を構築するよう各都道府県、市町村に呼びかけています。

何故、今、地域包括ケアシステムなのでしょう。その理由は、いわゆる「2025年問題」があるからです。2025年は1947〜49年に生まれた団塊の世代約700万人が75歳以上の後期高齢者

ご近所のお医者さん

□ 278 □

日野病院(日野町)

櫃田 豊さん



となる年です。2010年に1400万人(全人口の11%)であった75歳以上の人口は、この年に2200万人(18%)に達します。それ以降、75歳以上の人口は高止まりするとの見込みです。2010年以降、75歳以上の人口は高止まりするとの見込みです。2010年以降、75歳以上の人口は高止まりするとの見込みです。

とある年です。2010年に1400万人(全人口の11%)であった75歳以上の人口は、この年に2200万人(18%)に達します。それ以降、75歳以上の人口は高止まりするとの見込みです。2010年以降、75歳以上の人口は高止まりするとの見込みです。

地域包括ケアシステムと医療モデル

膨らみます。地域包括ケアシステムでは、医療に求められるのは、「生活モデル」で残された機能を最大限に活かそうとするモデルです。このモデルの目的は「生活モデル」の向上であり、域包括ケアシステムの「生活モデル」に對するの従来型の医療モデルである「治療モデル」で残された機能を最大限に活かそうとするモデルです。このモデルの目的は「生活モデル」の向上であり、域包括ケアシステムの「生活モデル」に對するの従来型の医療モデルである「治療モデル」で残された機能を最大限に活かそうとするモデルです。

前回、地域包括ケアシステムとは何か、また、なぜ今その導入が必要なのかについてお話ししました。さらに、地域包括ケアシステムを構成する医療機関には、退院後の医療モデルを「生活モデル」に転換することが求められるということも申し上げました。「生活モデル」とは従来の「治療モデル」に對峙する新しい医療モデルであり、生活の場で、その質を改善することを目的とします。「生活モデル」の実現には医療のみならず介護、福祉などの多数の専門職の連携が不可欠で

ご近所のお医者さん

□ 283 □

日野病院(日野町)

櫃田 豊さん



高齡化が進展した日野地区では、医療機関へのアクセスが容易でないこともあり、以前よりさまざまな多職種連携が進められてきました。例えば、各町の

援センターでは定期的なケア会議が行われ、多職種間での情報交換が行われています。日野地区は他の地域に先んじて地域包括ケアシステムを導入してきた地域と言えます。上述したもの以外に、日野病院が中心となり、日野郡内の医療機関、介護施設、地域包括支援センターなどと連携し、地域リハビリテーションの普及に留まらず、リハビリテーションを通して地域の医療、介護、福祉の連携促進を図っています。看護の宅配便は、地域の医療、介護、福祉の連携促進を図っています。

地域包括ケアシステムと多職種連携

中核医療機関は積極的訪問診療を行っている日野病院に設置されている訪問看護ステーションは24時間対応で地域の在宅医療を支えています。さらに、各町の地域包括支援センターは、2008(平成20)年に日野郡の医療、介護、福祉の連携促進を図っています。看護の宅配便は、地域の医療、介護、福祉の連携促進を図っています。看護の宅配便は、地域の医療、介護、福祉の連携促進を図っています。

看護の宅配便は、地域の医療、介護、福祉の連携促進を図っています。

地域医療の崩壊が叫ばれて久しくなりました。今や地方の病院では診療科の閉鎖や病院同士の統廃合は決してめずらしい出来事ではなくなりました。最大の理由は地方から医師がいなくなっていることにあります。何故でしょうか。数年前まで行われていた医師数抑制政策と、2004年にスタートした新しい医師臨床研修制度のためと言われています。特に新しい研修制度の影響は大でした。この制度により今までは出身大学で研修していた医師が、多彩な症例を経験でき、待遇など

ご近所のお医者さん

□
288
□

日野病院(日野町)

櫃田 豊さん



諸条件に恵まれた都会の病院で研修を受けようになりまして。研修医の減少により深刻な医師不足に陥った地方の大病院のなかには、高水準の医療を維持するため、周辺

鳥取県を含め全国各地に医師を呼び戻すための様々な試みが行われ始めています。地域医療教育の導入、地域卒の創設、総合医・家庭医養成プログラムの構築、地域医療を守り育てる住民活動などです。

地方に医師を その1

地域の医療教育については、現在、多くの大学が医学教育カリキュラムの中に組み込んでいます。従来の医学教育の場合は医学部の教室か付属病院で、その目標は高度な専門的知識と技能の習得でした。それに対し、地域医療に

鳥取県を含め全国各地に医師を呼び戻すための様々な試みが行われ始めています。地域医療教育の導入、地域卒の創設、総合医・家庭医養成プログラムの構築、地域医療を守り育てる住民活動などです。

地域医療教育については、現在、多くの大学が医学教育カリキュラムの中に組み込んでいます。従来の医学教育の場合は医学部の教室か付属病院で、その目標は高度な専門的知識と技能の習得でした。それに対し、地域医療に

鳥取県を含め全国各地に医師を呼び戻すための様々な試みが行われ始めています。地域医療教育の導入、地域卒の創設、総合医・家庭医養成プログラムの構築、地域医療を守り育てる住民活動などです。

前回(1月27日付)、地方から医師がいなくなっていること、その主な原因が新しい医師臨床研修制度にあること、その対策として地方の大学の多くが地域医療教育を導入したり、地域枠を創設したりしていることをお話ししました。今回は地域に医師を呼び戻すためのさらなる試みについてご紹介します。総合医・家庭医養成プログラムの構築と、地域医療を守り・育てる住民活動です。

まず総合医・家庭医養成プログラムの構築についてです。総合医・家庭医は専門医とは

ご近所のお医者さん

□ 293 □

日野病院(日野町)

櫃田 豊さん

異なり、疾病臓器、性別、年齢、その他の専門性にとらわれず、患者ならびに地域住民の健康問題を幅広く担当する医師のことで、地域医療再生の中心的な役割を担うと期待されています。

西部家庭医専門研修プログラムと名付けられたこのプログラムは鳥取大学医学部附属病院の他、地域の4病院(日野病院もその一)で実施されています。初期臨床研修を修了した後は減少し、結果として

が、そのモデルケースとして行われているのが、兵庫公立柏原病院の医師 城医療を守り育てる五か条(一)。その中の第5条をご紹介しましょう。「かんしゃ(感謝)の気持ちを伝えよう」；膨大な業務や患者の心ない言葉に、医療者の心と体はほろほろで



地方に医師を

その2

ています。このような医師の養成を目的とした研修プログラムが全国に広がっています。

鳥取県でも、昨年、東・中部に加え西部に三つ目のプログラムができました。「鳥取県民活動についてです

医療機関をローネットしながら、様々な問題を抱える地域住民の入院・外来診療、在宅医療を体験し、さらには保健、福祉の研修を行います。

福井県高浜町の「たきつけます」。このよ

医師の増員が実現します。崇め奉るのではなく、人と人との関係として当然わき上がる感謝の気持ちを忘れずに伝えてください。感謝の言葉が、医療者を元

次いで地域医療を守り、育てようとする住民活動についてです

かほま地域医療サポーターの会」は、地域医

うな地域住民のいると

ころに医師は戻って

るのです。

ご近所のお医者さん

(毎日新聞鳥取版)

玉井 嗣彦 名誉病院長

「目は口ほどに物を言う」という諺があります。感情の変化や心理状態を表現する大切な役割を果たしているもの一つに、瞳孔、つまり瞳があると思います。

「君の瞳に乾杯!」。

これはハンフリー・ボガートとイングリッド・バーグマンが主演した映画「カサブランカ」で、二人が扮するリックとイルザが再開する場面で、リックがシャパンパンを手にイルザの眼を見つめてささやいたセリフの名訳ですが、「瞳」という単語を用いた乾杯に、眼科医として一段と興味を

ご近所のお医者さん

□
261
□

日野病院(日野町) 玉井嗣彦名誉病院長



ひかれました。瞳孔の大きさを調節するために、虹彩には瞳孔括約筋と瞳孔散大筋があり、副交感神経(動眼神経)と交感神経の支配をそれぞれ受けて、縮瞳ならびに散

より反応しやすい構造をしており、副交感神経の活動レベルの方が高いです。一般的に、副交感神経は精神的にリラックスしているときに活動し、交換神経は緊張しているときに働きます。そのため、リラックス

君の瞳に乾杯!

瞳いたします。両神経とも自立神経系なので自動的に瞳孔の大きさは調節され、自分の意志で変えることはできません。

解剖学的に、瞳孔括約筋の方が瞳孔散大筋

スしているときには、瞳孔は小さく、緊張しているときには瞳孔が大きくなる傾向にあります。また、年齢的にも、副交感神経が優位な赤ちゃんや老人で、交換神経が優位な暗いときと散瞳します。この反応を対光反射という

います。また、近くのものを見るとき、例えば読書をしているときなどは近見反応という現象が起こります。近見反応は、輻輳、調節、縮瞳という3つの要素からなります。対光反射の経路とは異なるため、対光反射がなくても近見反応で縮瞳する場合があります。対光近見乖離といえます。

名画の話題に戻りますが、以前パリで恋人同士だったイルザとリック。名曲「時のすぎゆくまに」をバックにカサブランカでの再会ですが、二人の見つめあう瞳の大きさはどうだったでしょうか。

日常、眼科専門医として必ず目にする睫毛(まつ毛)は、根元に知覚神経があるため刺激に敏感で、異物が触れると眼瞼が閉じて、それが瞼裂に入るのを防ぎます。

その数は、上眼瞼で135本、下眼瞼で60本前後と報告されており、左右差はなく、男女差もないようです。

長いまつ毛は女らしさを演出するのに格好のアイテムで、そのため女性たちは、つけまつ毛やまつ毛パーマに余念がありません。

ちなみに長さの標準は、上眼瞼が8mmに対して、下眼瞼のが6mm

ご近所のお医者さん

□ 266 □

日野病院(日野町) 玉井嗣彦名誉病院長



とやや短く、太さも上す。しかし、例外もあり眼瞼の大きく、89%に対して、下眼瞼の83%前後で、男女差はありませぬ。その寿命はかなり短く、100日から150日で脱落します。理由は不明

多毛の傾向にある人や乱れ(睫毛乱生)がある場合には、内眼角も含めて生えているのをよく見ます。また逆に、下眼瞼などに睫毛がほとんど消失している症例も見られます。

因で、睫毛の生える場所や方向がばらばらにも数週間後にまた生えてきますので、上下、左右の眼瞼をよく観察して、根気よく、慎重に除去する以外に対処の仕方がありません。

美容面はともかく、高齢化時代、お年寄りの不定愁訴の大半に睫毛は関与しますので、看過できません。

睫毛を巡る話題

ですが、夏の方が冬場よりも寿命が短いらしい。

睫毛は、眼瞼縁の全長にわたってなく、外眼角から1ないし2・5mmの範囲には生えていないといわれています。

は、睫毛乱生(さかまつ毛)で、眼瞼内反症に伴うものでは、眼瞼内反とともにいっせいに睫毛が内反した状態になります。自然寛解が期待できる乳幼児の場合を除いて、成人の場合には放置しても長くなることはあり逆効果となりますので

睫毛は、角膜や結膜を刺すので、上下、左右の眼瞼をよく観察して、根気よく、慎重に除去する以外に対処の仕方がありません。

美容面はともかく、高齢化時代、お年寄りの不定愁訴の大半に睫毛は関与しますので、看過できません。

日本のコンタクトレンズ(CL)装用者数は1500万~1800万人と言われ、その7~8割がソフトコンタクトレンズ(SCL)を使用し、2週間交換SCLや1日使い捨てSCLがその主流となっています。

CLの使用者は年々低年齢化しており、インターネット販売(並行輸入となる海外通販サイト販売を含む)や通信販売などの非対面販売による購入によって、CLに関する知識や、正しい使用方法やケア方法に関する知識が乏しいままに使用される例が増加しています。

ご近所のお医者さん

□ 271 □

日野病院(日野町)

玉井嗣彦名誉病院長



す。中でもカラーSCL使用者の急激な増加に伴う弊害は、もはや看過できない状態にあります。

視力補正を目的としないカラーCLは、2009年11月から視力

書発生者の80・3%が「ヤラクター」として、「病識」、「常識」、「知存在が指摘されているに化粧品と同様に店頭販売、あるいは通信販売での購入者でした。

15歳以下だけで見ると、眼科を受診した例は皆無でした。

ヤラクターとして、病識、「常識」、「知存在が指摘されているに化粧品と同様に店頭販売、あるいは通信販売での購入者でした。

CL装用に伴うさまざまな角膜障害に対応する責任のある眼科医の品質管理の徹底を喚起し、学校現場や国民

コンタクト 使用は適切に

補正用CLと同様に高度管理医療機器として

スマートフォンやつけまつ毛と合わせて「3種の神器」と呼ばれて

薬事法の規制対象となりましたが、日本コン

若い人たちにとって、は、かわいいと言われ

タクトレンズ学会が12年度に実施したCL眼

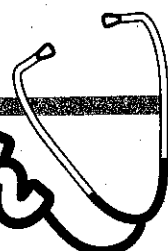
ることは魅力で、身近に忍びよる誘惑と思われ

障害調査の結果では、カラーSCLによる障

れますが、カラーSCLも、酸素透過性が低く、色素が漏出するようない

前回、普及の著しいコンタクトレンズ（ＣＬ）の使用は、眼障害の発生、予防の面から適切にと述べました。ＣＬ眼障害の主な原因は、無理なＣＬ装用に加えて、誤ったレンズケア、レンズの汚れです。従来型ソフトコンタクトレンズ（ＳＣＬ）に比べて、現在の主流である使い捨てＳＣＬでは、安全性は高まったものの、１００％安全と言えるものではなく、長時間装用や連続装用といった無理な装用をしたり、レンズケアの手を抜くとＣＬ眼障害を生じます。２週間で交換のＳＣ

ご近所のお医者さん



□ 276 □

日野病院(日野町)

玉井 嗣彦 名誉病院長



分です。手指を石鹸で十分に洗った後、必ずこすりの洗いをし、物理的に汚れを除去する必要があります。レンズケースは毎日洗浄し、乾燥させるとともに、1カ月に1度

でも、毎日のレンズケア（こすりの洗い、消毒）は必須です。ＳＣＬ用消毒剤として普及している多目的用剤（MPS）の消毒力は弱いので、この液につけておくだけでは不

ない所では、アカントアメーバなどの微生物による角膜感染症が生じるからです。日本でも最近、ＳＣＬ装用者を含めて散見されますので、注意が必要です。特にアカントアメーバの場合は、

は新しいものと交換するのがベターです。ハードコンタクトレンズ（HCL）の場合は、保存液以外に、日本では水道水ですすいでの装着が許されていますが、外国では注意が必要で、水道水が衛生的に管理されてい

コンタクトにご注意

の上皮、実質、内皮にまで何らかの影響を与えます。角膜感染症の場合には、角膜の濁りや完全にとれず、視力が残ってしまい、角膜移植が必要となる場合があります。最近発行された日本失明予防協会のパンフ

葉がないため、消毒薬を点眼します。ＣＬの着色部分には酸化鉄や酸化チタンなどの金属が含まれているので、使用者が磁気共振画像装置（MRI）検査を受ける際には、膜に障害（やけど）を起す恐れがあること

網膜色素変性は、夜盲より始まり徐々に視機能が低下する先天性遺伝性の難病で、人口5000人に1人と頻度が高く、孤発例を含めて日本には約3万人の患者さんがいると推定されています。

近未来の治療法である遺伝子治療、人工網膜、人工多能性乾細胞(iPS細胞)を用いた網膜再生療法、視細胞保護治療などの研究も飛躍的に進歩しつつありますが、臨床応用の道はまだ、ほど遠いものがあります。

しかし、朗報の一つとして、2年前の本欄で本症を話題にした際

ご近所のお医者さん

□ 281 □

日野病院(日野町)

玉井嗣彦名誉病院長



に若干ふれましたが、部へは①結膜、強膜を眼圧下降効果以外の副次的な作用として神経保護効果(循環改善による間接的な保護効果も含む)を有する緑内障点眼薬(インプロピル ウノプロストン、

部へは①結膜、強膜をました。さらに、点眼中止後にその感度は悪化する②結膜から眼窩内を通り後眼部に移行する③結膜から吸収される全身血流に入り網脈絡膜内に移行するという三つの経路が考えられますが、主に②のルートがサルを用いたラジ膜色素変性に対する効果が、承認されれば、網膜色素変性に対する世界をさらに高めるもの

現在、第3相の臨床試験が行われていますが、承認されれば、網膜色素変性に対する効果が、承認されれば、網膜色素変性に対する世界をさらに高めるもの

網膜色素変性と点眼治療

オアイントープの実験により明らかになってい最近行われた本症を

オアイントープの実験により明らかになってい最近行われた本症を

以下ウノプロストン)の本症に対する有効性が、千葉大学眼科の山本修一教授らの研究グループによって立証されつつあります。

点眼薬の前眼部への移行はともかく、後眼

量依存性の網膜中心部感度の改善が観察され

投与期間において、用量依存性の網膜中心部感度の改善が観察され

時の流れは早く、新年を迎えました。儒者かつ医者の貝原益軒は「養生訓」の中で、「老後は若き時より、月日の早き事、十倍なれば、一日を十日とし、十日を百日とし、一月を一年とし、喜樂して、あたに日を暮らすべからず」と、また「老後一日を樂しまずして、空しく過すはおしむべし。老後の一日、千金にあたるべし」とも述べています。

まだまだ老後を楽しむ余裕のない病院勤務の私ですが、今でも故平沢興氏が「生きよう今日も喜んで」の著書の中で述べておられた

ご近所の お医者さん

□ 286 □

日野病院(日野町)

玉井嗣彦名誉病院長



「今が楽しい。今がありがたい。今が喜びである。それが習慣となり、天性となるような生き方こそ最高です」の心境です。皆様方のご心境は、いかがでしょうか。

「今が楽しい。今がありがたい。今が喜びである。それが習慣となり、天性となるような生き方こそ最高です」の心境です。皆様方のご心境は、いかがでしょうか。

加齢が大きくなりスクラまで増加することが知られています。加齢の研究が進んで、現在、老化の諸因子として、遺伝子による支配のほか、免疫力低下、フリーラジカルや活性酸素などによる組織変性、ホルモンの低下などがあげられ、これを予防、治療する新しい試みに目が離れられが複合的に作用していると考えられています。

眼とアンチエイジング

さて、話題を専門の眼科診療にもとじます。が、眼疾患の80%以上は加齢に関係するといわれています。加齢黄斑変性、緑内障、糖尿病網膜症、白内障、老視、ドライアイなど、

タミンドの不足を生じ、癒やれる病になる場合もありますので、QOV(視覚の質)はもとよりQOL(生活の質)を高め、健康長寿をめざす「積極的予防医学」がアンチエイジング医学のコンセプトであり、超高齢社会を迎えるわが国にとって、最も期待される

QOV(視覚の質)はもとよりQOL(生活の質)を高め、健康長寿をめざす「積極的予防医学」がアンチエイジング医学のコンセプトであり、超高齢社会を迎えるわが国にとって、最も期待される

前回、超高齢化社会を迎えて加齢が大きなリスクファクターになっている疾患の一つとして老視を取り上げました。老視は45歳頃から約50%にみられ、加齢とともにその割合は増加し、男性に比べて女性に有意に多いと報告されています。その原因として、水晶体や毛様体組織の近見時に生じる調節力そのものの違いではなく、男女での近方作業の違いや、腕の長さの違いなどが要因である可能性が指摘されています。老視はOOL(生活の質)の低下に直結するため、女性において近

ご近所のお医者さん

□ 291 □

日野病院(日野町)

玉井 嗣彦名誉病院長

方障書を早期に自覚す
ることは重要です。
通常は、すでに本欄
で述べたように老眼鏡
を用いた対応を行いま
す。その際、アンチエイ
ジング(抗加齢)の
視点からは、累進多焦



老視のアンチエイジング

点レンズ(バリラック
ス)が最も適している
むね述べました。
食品因子であるサブ
リメント投与の面から
は、1994年に小出ら
らが、北欧を中心にジ
yamやジュースの形態

で使用され糖尿病によ
る眼の毛細血管の保護
・予防効果などがある
ホワートルベリーを
有したコップ1杯のエ
キスを1日3回、7日
間飲用したところ、ア
ラセボ(対照のための
偽の成分)と比較して
有意に調節力が改善し
たと報告しています。
作用機序の詳細は不明
ですが、食用の実績が
あることから安全性に
は問題はないようで
す。
2006年には長木
らが、アスタキサンチ
ン3mg含有カプセルを
1日2カプセル、4
週間内服したところ、
プラセボと比較して調
節力は有意に改善し
たところ、プラセボと
比較して調節力が有意
に改善したと報告して
います。ビルベリー果
実由来アントシアニン
含有食品の保護的効果
に、VDT(端末表示
装置)作業負荷による
眼精疲労に対するもの
も彼らは報告していま
す。
人生の半分は、老視
で過ごす時代です。人
が100歳まで生きら
れる時代、老視の予防
は抗加齢医学の面から
も避けて通れません。

健康診断事業の普及に伴って、平成2(1990)年10月より3歳児健康診査に、眼科医による眼科検診の重要性が正式に認められ、今日に至っています。通常、子供の目の機能は生まれてから発達を続け、6歳にはほぼ完成します。しかし、強い屈折異常(遠視、近視、乱視)や斜視がありますと、目の機能の発達が遅れて良い視力が得られなくなりま

すので、こうした異常を早く見つけて、小さいうちから正しい治療や指導を受ける必要があります。

教育的見地からは両

ご近所のお医者さん

□
296
□

日野病院(日野町)

玉井嗣彦名誉病院長



由を訴えないし、行動にもほとんど現れないので、保護者にも気付かれにくいのです。しかし、片眼弱視はその視力を正常またはそれに近い状態まで上昇させておかないと、一生正

眼の矯正視力が0.04以上0.3未満のものを弱視といえます。高度な両眼弱視ではその子供の行動などによって保護者が気付きますが、片眼弱視の子供たちは、一般に不自

視を訴えないし、行動にもほとんど現れないので、保護者にも気付かれにくいのです。しかし、片眼弱視はその視力を正常またはそれに近い状態まで上昇させておかないと、一生正

3歳児眼科検診の重要性

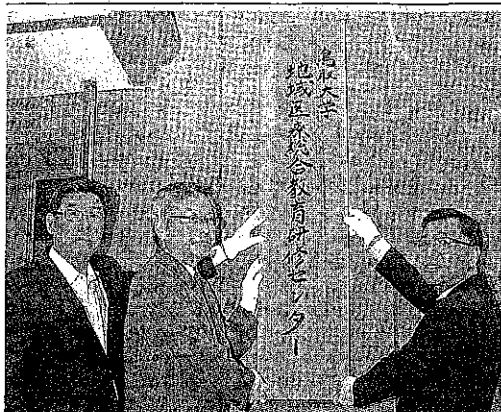
3歳児でこの疾患が発見されれば、就学までに治療効果上がり、このような障害を持つ子供達にとっても大きな福音となります。3歳児の視力測定は必ずしも容易ではありませんが、幼児との間

担を与えていました。3歳児でこの疾患が発見されれば、就学までに治療効果上がり、このような障害を持つ子供達にとっても大きな福音となります。

3歳児眼科検診の重要性

視力に異常のある子供達の中には、屈折異常が未発見、未治療で検査を始める時期と重なって子供達に大きな負担を与えていました。3歳児でこの疾患が発見されれば、就学までに治療効果上がり、このような障害を持つ子供達にとっても大きな福音となります。

その他の新聞記事



鳥取大学地域医療総合教育研修センターの看板を掲げる鳥取大学と日野町の関係者＝9日、日野町野田の日野病院

日野病院に「鳥大」開所 地域医療の人材育成へ

地域医療の人材育成などを目的に鳥取大学医学部(米子市)は、研究や教育のサテライトキャンパス機能を持った「鳥取大学地域医療総合教育研修センター」を日野病院(日野町野田)に開設し、9日に開所式を行った。全国的にもユニークな試みで、今後、地域医療の現場で学生の実地

研修や多職種が連携し

た地域包括ケアの推進などに取り組む。鳥取県と同大学との連携事業の一環。同学部は2010年から、地域医療に関する人材育成や診療支援、研究を目的とした地域医療学講座を設けている。

同センターの開所は、総合診療医の需要が近年高まる中、大学内の講義では補うことができない地域の中核病院での医療実践や、多職種で連携した地域医療を学ぶ場を設けることなどが狙い。医学部の1、3、4年生が教員と共に在宅医療の現場に出掛け、地域医療について学ぶ。

今月からは既に月曜日から木曜日まで、同講座の教員5人が交代で日野病院の診療を支援しており、今後、地域住民の健康に関する課題の分析・解決、地域ニーズに合った地域医療の研究などの活動を行う方針。

この日の開所式で、同病院管理者の梶山享弘日野町長は「センターを巣立った医師が全国で活躍することを期待している」とあいさつ。同講座の谷口晋一教授は「地域を診る医師を育てたい。新たな試みなので、みなさんのご協力を賜りたい」と呼び掛けた。

鳥取大医学部 地域医療担う人材を育成 日野病院に研修センター

鳥取大医学部(米子市西町)は9日、鳥取県日野町野田の日野病院に「鳥取大

地域医療を担う人材を育成する。

地域医療総合教育研修センター」を開設した。セン

ターを拠点に、医学部生が

大学ではあまり学べない在

宅医療などの研修を積み、

在宅患者の診療など地域医

療特有の現場を経験できないことが課題となっていた。

今後は医学部医学科の学

生が外来・入院患者や在宅患者の診療を見学したり、

日野町に滞在して診療など

に取り組む。

一方、センター開設に伴

い、これまで週1日だった大学の総合診療医の派遣を週4日に拡大し、医師不足に悩む山間部の診療態勢の充実を図る。派遣医は2人で担い、地域医療についても研究する。

開所式で、景山享弘日野

町長は「これからの中山間地の医療を担う医師がセンターから誕生してほしい」と期待を込めた。鳥取大医学部地域医療学講座の谷口晋一教授は「地域の実情を知る関係者と連携しながら、レベルの高い医師を育

ていきたい」と意気込んでいる。



センターの看板を設置する景山享弘町長(左)ら。鳥取県日野町野田、日野病院

地域医療現場学ぶ

日野に鳥取大拠点

診療所支援など

医学部の学生が地域医療の現場で学び、実習する拠点「鳥取大学地域医療総合教育研修センター」が日野町の日野病院に開設され、大学と病院の関係者約20人が参加して9日、現地で開所式が行われた。

鳥取大医学部が県の寄付で2010年に開講した「地域医療学講座」の医師を今月から日野病院に派遣。総合診療科や黒坂診療所の受診態勢を支援するほ

か、7月からはセンターを拠点に地域医療の学習や臨床実習をする医学科の学生を受け入れる。

学生時代に地域医療の現場を経験することで、将来を担う人材を育成しようという新しい取り組みで、同講座の谷口晋一教授（53）は「中山間地の医療の実情や地元自治体との連携を学び、質の高い医師を育成する拠点にしたい」と意欲。景山享弘・日野町長は「地域医療を担う医師が育つ県内での先駆けになってほしい」と期待していた。

日野病院から贈り物 ひと足早いクリスマス



日野町野田の日野病院(檀田豊院長)で5日、「日野病院からの贈り物」と題したクリスマス

スマスイベントが開かれた。入院患者らの一日も早い回復を願うとともに

地域との交流を深める恒例行事。ことしは例年より早めの開催と

「日野病院からの贈り物」と題したクリスマスイベント

なり、入院患者や通院患者、近所の親子連れら約70人が楽しんだ。

イベントは、同病院はんどべる部の演奏「ぎよしこの夜」で幕

開け。檀田院長のあいさつに続いて職員のパ

ンドベル演奏があり、サンタクロースに扮し

た職員が会場を訪れた子どもらにプレゼント

を手渡した。

また、日野町民ミュージカルのメンバーが

歌や踊り、オカリナ演奏を披露し、イベント

を盛り上げた。(日野通信部・山形修部長)

5、広報誌 せせらぎ

せせらぎ

No. 50

平成26年5月発行
題字 櫃田 豊 病院長



発行/日野病院組合 編集/日野病院広報委員会 〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332番地 TEL0859-72-0351
日野病院ホームページ <http://www.hinohp.com/> FAX0859-72-0089

日本医療機能評価機構
認定第JC1483号



心和らぐ空間

(9ページに関連記事)

日野病院の基本理念

- 一 地域住民のニーズにあった良質な医療、保健、福祉のサービスを行い、山間地中核病院として信頼される病院を目指す
- 二 自治体病院の職員としての自覚と使命感をもって、より良い患者サービスに努める

基本方針

1. 高齢者の疾病に対応する慢性疾患をはじめ、急性期医療にも取り組みます
2. 住民が安心して地域で暮らすことができるよう、救急医療に対応します
3. 安全な医療を提供するため、安全管理対策を推進します
4. 小児科医療を通じ子育て支援に協力します
5. 多機能に対応できるリハビリテーションを実践します
6. 出かける医療、近づいていく医療と福祉に努めます
7. 検診ドック事業・各種指導事業を積極的に展開します
8. 職員の人材育成に努め、地域に貢献します

肺炎は訪問診察患者さんの敵



日野病院病院長
檀 田 豊

5月になり田植えの時期となりました。例年より気温が低い気がしますが、苗の生育に影響しないかどうか心配です。それと関係あるのかは分かりませんが、ここに来て来月にエルニーニョ現象が起こる可能性がかなり高くなっているとのことです。この現象が起これば日本は冷夏や長雨になりがちです。今後の気象の動向が気になるところです。

さて、日野病院は毎月40〜50人の患者さんに訪問診察を行っています。私も14〜15人の患者さんを担当しています。訪問診察患者さんは実に多彩です。10年以上にわたって病状に変化がない患者さんがいる一方で、入院を繰り返したり、わずか数回の訪問診察後に亡くなってしまう患者さんがいます。

何故そのような違いが生じるのかを明らかにするため、最近、私たちは訪問診察開始時の患者さんの背景（年齢、性別、同居人数、主要疾患、肥満度など）と生存期間に関係があるかどうかを検討しました。すると、がん患者さんはそうでない患者さんよりはるかに生存期間が短いという結果が得られました。これはある意味当然の結果でしたので、次にがん患者さんを除いて同じ検討をしました。その結果、高齢、男性、やせの3つが生存期間を短縮させる可能性

がある因子として抽出されました。

この情報は訪問診察患者さんを診る上で間違いなく有用でした。しかし、文献を調べますと、これらの3つの因子と生存期間との関係は、高齢者や多くの慢性疾患患者さんにおいても見出されていません。すなわち、訪問診察患者さんに特有という訳ではなかったです。

訪問患者さんの経過や生死により直接的に関係する因子は何かとということを明らかにするため、私たちは訪問診察の中断理由や患者さんの死亡理由を調査しました。中断理由としては日野病院への再入院が最多でした。そして、再入院の理由としては肺炎が圧倒的に多く、次いで介護者の都合、骨折、慢性心不全増悪、尿路感染症などでした。死亡理由としても肺炎が最も多く、がん、老衰などがそれに続きました。

以上の結果から、訪問診察患者さんにとって、経過を悪化させたり、さらには死をもたらす因子のうち肺炎が最も重要であることが分かりました。今後、日野病院としては言語聴覚士による訪問リハビリテーションの導入（訪問診察患者さんの肺炎はほとんど誤嚥が原因です）、肺炎球菌ワクチン接種の徹底（肺炎球菌は誤嚥性肺炎の起炎菌となる場合があります）などに取り組む必要があると感じています。

最新の医療情報から

— ドライアイの治療戦略 —



日野病院名誉病院長 玉井 嗣彦

早くも風薫る5月になりましたが、皆様お変わりございませんか。

「健康で輝く眼を持つこと」は、人生の幸せの一つと考えます。医療従事者の一人として、そのお役に立てるように、今年度も元気で、日常眼科診療に励みたいと思いますので、くれぐれもよろしくお願い申し上げます。

さて、最近の眼科領域の話題の一つとして、「日本のドライアイ治療が世界をリードする」というのがありますので、取り上げてみたいと思います。

ドライアイは、眼の不快感に視機能異常を伴う慢性疾患であり、その代表は膠原病の一つであるシェーグレン症候群です。しかし、近年、VDT（画像ディスプレイ装置）作業の増加、エアコンなどによる室内の相対湿度の低下、コンタクトレンズ装用による眼表面からの蒸発亢進などにより、涙液が不安定になる軽症から中等症のドライアイ患者が増えており、日本には約2,000万人の患者さんがおられると推定されています。

従来ドライアイは、涙液の異常により引き起こされる角結膜上皮障害と定義されてきましたが、最近になって、涙液と眼表面上皮には密接な関係があり、その障害として様々なりスクファクターも関与していることが日本発の臨床研究で明らかになってきました。ドライアイの病態生理が明らかになるにつれて、これに対応した新しい作用機序を示す点眼薬が開発され、治療選択肢が広がることが期待されています。

ドライアイ治療には、これまで、ヒアレイン点眼液（ヒアルロン酸ナトリウム、参天製薬）や人工涙液が使用され、重症例には涙の出口である上下の涙点を埋める涙点プラグが、炎症例には低濃度ステロイド点眼液が使用されてきました。しかし、2010年12月には、ジクアス点眼液3%（ジクアホソルナトリウム、参天製薬）、また2012年1月には、ムコスタ点眼液UD2%（レバミピド、大塚製薬）が臨床現場に登場し、処方される点眼薬の選択が大きく変化しました。ジクアス点眼液3%は、専門的になって恐縮ですが、角結膜上皮に存在するP2Y2受容体のアゴニストであり、細胞内カルシウムイオン濃度を上昇させ、結膜上皮からの水分とムチンの分泌を促進します。ムコスタ点眼液UD2%は、同名称の胃潰瘍予防薬と同様に眼表面のムチン分泌を促進させ、抗酸化、抗アレルギー作用を併せ持つムチン産生促進薬です。いずれも日本独自で開発された新しいタイプの治療薬であり、世界的にも注目されています。

2013年、Tear Film Oriented Therapy（TFOT）という考え方がドライアイ研究会から提唱され、涙液の油層、水層、ムチン層のそれぞれをターゲットとする治療概念が定着しました。これに伴い、水層、ムチン層に対して、ジクアス点眼3%が、ムチン層に対しては前者とムコスタ点眼液UD2%の有用性がさらに明確に認識され、両者がドライアイへの第一選択の点眼薬として使用されるようになってきました。

また、最近の話題の一つである両眼瞼に存在するマイボーム腺の機能不全（MGD）による脂質の分泌不全に伴う油層の乱れは、涙液安定性の低下を招きますので、MGDにも強い関心を持って本症の治療効果を観察したいと思います。

ないうる豆版

☺ 日野病院組合 * 在宅介護支援事業所

受け入れありがとうございます
～地域医療研修のお礼～



検査値をもとに健康相談に応じる西川先生
(米子医療センター・26年4月研修医)♪



訪問リハビリにて♪



<訪問エリア>

日野町・江府町・日南町
伯耆町・新見市・新庄村



<連絡先>

☆ 訪問看護ステーション
0859-72-2706

☆ 居宅介護支援事業所
0859-72-2723

お気軽にご相談下さい！

日野病院では日野郡における地域医療の拠点病院として、研修医の地域医療実習や医学生、看護学生、リハビリ学生の受け入れを積極的に行っています。

訪問看護や訪問リハビリを利用して頂いている利用者様には、ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。研修医の先生方には超高齢化である中山間地の医療のあり方や、医療従事者と介護従事者との連携の重要性など多くの学びがあったとの意見を頂いています。私たちスタッフにとっても大きな学びとなっています。

今後も、地域医療の充実や発展に向けて、在宅介護支援事業所スタッフ一同尽力してまいりますので、引き続き地域の皆様のご理解とご支援を、よろしくお願ひいたします。

～ アンケートのお礼 ～

先日、訪問看護・訪問リハビリ・ケアマネジャーをご利用いただいている皆様に、アンケートのご協力をいただき、ありがとうございました。皆さまからの貴重なご意見を参考に日頃の姿勢を振り返り、今後に生かしたいと思っております。

アンケート集計結果は、看護の日のイベントで院内に掲示させていただきました。

～ お知らせ ～

* 増税に伴う料金引き上げについて *

平成26年4月1日から消費税が8%になることに伴い、診療報酬と介護報酬の改訂があり、訪問看護と訪問リハビリの利用料金の一部が引き上げとなりました。ご利用者の皆様には、ご理解の程宜しくお願ひいたします。

介護保険 * ミニ情報
居宅介護支援事業所

平成29年4月から、要支援者の訪問介護、通所介護が新しい総合事業によるサービスに移行されます。

これまでの予防給付サービス

新しい総合事業によるサービス

(介護予防・生活支援サービス事業)

・訪問介護
・通所介護

イメージ

- ・訪問型サービス……多様な担い手による生活支援
- ・通所型サービス……ミニデイサービス、ミニサロンなどの通いの場運動、栄養、口腔ケア等の教室
介護事業所による訪問型・通所型サービス
- ・生活支援サービス (配食・見守り等)

* その他の事業 → 現行通り

※詳しくは居宅介護支援事業所へ
ご相談ください。

前回は規則的に1日3食摂取することの重要性についてお話ししました。
今回はよく挙げられる原因とその対策法の例について話したいと思います。

1日2食しか食べない理由についてよく挙げられるものとして

- 1 朝食が食べられない
 - 2 仕事が忙しくて食事をする時間が無い
 - 3 ダイエットのために食事を抜く
- などがあります。



「朝食が食べられない」

- ①決まった時間に起きる習慣を心がけましょう。
胃腸が活動し始める時間も必要です。
- ②夜遅くに食べたり飲んだりしていませんか？朝起きた時の胸焼けの原因になります。
- ③朝食は1日活動するエネルギーの源です。
時間がない、面倒くさい・・・簡単に食べられるものから始めましょう。
(例)パン、おにぎり、果物、牛乳、ヨーグルト、ゼリー飲料など。

「仕事が忙しくて食事をする時間がない」

- ①食事をきちんとできない時は補食を摂りましょう。
空腹のまま過ごしていると、体内では脂肪をためようと働きます。
- ②まとめ食いをすることになり、肥満になりやすくなってしまいます。
- ③まとめ食いをせずに、おにぎりやサンドウィッチなど簡単に食べられるものを補食として摂りましょう。
バランス栄養食品などは保存も出来ます。
職場のデスクに置いておくのも一つの方法ですね。

「ダイエットの為に食事を抜く」

- ①一食抜くことで摂取カロリーは減ります。しかし、必要な栄養までも取れなくなってしまいます。食事を抜く事では健康的に痩せることはできません。
- ②食事を抜いて空腹のまま過ごす時間が長くなると、体内では脂肪をためようと働きます。痩せるつもりが…逆に太りやすくなる体を作ってしまう。



1日3食を基本に、自分に合った食事のリズムを作りましょう！

鳥取県の食材を使ったレシピを紹介します。幅広い世代に安心して食べて頂ける料理です。

<大豆きな粉がりんと>



●材料

- | | | | | |
|------|-------|-----------|------------|-------------|
| 水煮大豆 | | 100g | | |
| A | [| きな粉 | 50g | |
| | | 米粉 | 200g | |
| | | ベーキングパウダー | 10g | |
| | | 揚げ油 | 適量 | |
| | | | 卵 | 1個 |
| | | | 牛乳 | 100ml |

●作り方

- ① 水煮大豆はフードカッターで細かくする。
- ② ①とAをボウルに入れ、ひとかたまりになるように混ぜる。
- ③ 5mm厚さに伸ばし、5cmぐらいの細い棒状に切る。
- ④ 160℃ぐらいの油で、全体がカリッとなるぐらいに揚げる。

※きな粉の代わりに煎り大豆を粗くくだいて加えても良いです。この場合牛乳で固さを調節します。

介護老人保健施設あやめ

平成26年度が始まり気持ちも新たに職員一同「頑張ろう」と決意しているところです。

冬場には雪を心配しながらの毎日でしたが、予想が外れ大喜びでした。しかし、気温は低く風邪の流行を心配しましたが、これもなんとかしのぎ春を迎えることが出来ました。

春になりドライブ外出やその他にもさまざまな行事を計画しております。皆様に喜んでいただけるよう、また日々の看護・介護の充実やサービスの向上に努めてまいりますので今後ともよろしく願いいたします。

《入所サービス》

旧正月のもちつき会を行いました。去年はもち米とただ米を間違え、いくら搗いてもおもちにならなかった苦い経験があり、今年は慎重に吟味し、4升のおもちを搗きあげました。皆様にも搗き方、こね方と参加していただき賑やかに実施できました。

「よいしょよいしょ」の掛け声でたくさんの方に搗いていただきました。



《通所リハビリテーション》

この巨大なお雛様・お内裏様のパネルは利用者様の手作り。レクリエーションの時間を使いコツコツと皆さんで折り紙を貼っていただきました。途中には「疲れた～」と声が飛んできましたが、完成すると「頑張ったな～。綺麗だわ」と喜びあっておられました。

パネルは顔の部分から顔が出せるようになっていて、皆さん写真撮影を楽しんでいただきました。



～主菜バイキング～

主菜バイキングは「かつ丼」と「かつ煮」が登場!!

カリカリに揚げたカツに、ふんわり卵とだし汁をかけていただきました。

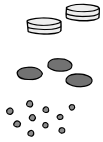
次はどんなものが食べてみたいですか？

これからもチャレンジしていきます。

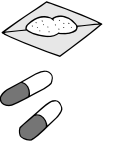


★ご相談 江府町大字武庫475番地 介護老人保健施設あやめ

TEL 0859-75-3230 ・ FAX 0859-75-3280



受診の際は、余ったお薬をご持参下さい



お薬を飲み忘れて、なぜか余ってしまったりして、捨ててしまうようなことはありませんか？
お薬を余らせることは、患者さんの病気が悪化する原因となり、また支払ったお金が無駄になります。

ぜひ、そのお薬を日野病院の中の薬局へ持ってきてください。

余ったお薬は、処方日数を調整するなどして再利用させていただきます。また、お薬をうまく管理できる方法を提案させていただくことができますので、お気軽にご相談ください。

当院では、以下のようなお手伝いができます。

■本来処方される日数分から、余ったお薬の日数分を差し引いて、お薬を処方します。

例)	本来処方されるお薬・・・30日分
-)	余ったお薬・・・10日分
	今回処方されるお薬・・・20日分

■飲み忘れがある場合

○お薬内容の変更（飲む時間・量・種類等の変更）

院外調剤薬局との連携による

○お薬の一包化の相談

○お薬カレンダーなどの便利グッズの紹介

○医療または介護保険サービスの相談



余ったお薬を院内薬局へ

平成26年度日野病院組合職員採用試験

日野病院組合では、次の職員（正職員）を募集しています。

職種	受験資格	採用予定日	募集人員	勤務地
看護師	看護師資格取得者または来春に看護師免許を取得見込みの者	平成27年4月1日	若干名	・日野病院（日野町野田332） ・介護老人保健施設あやめ（江府町武庫475）

1. 試験日等

①日 時 平成26年9月17日（水）15時から
平成26年11月19日（水）15時から

②場 所 鳥取県日野郡日野町野田332番地 日野病院

③内 容 専門試験、作文試験及び面接試験

2. 受験手続き、労働条件等につきましては、直接

日野病院総務課（0859-72-0351）までご連絡ください。

新規採用医師紹介



内科
椋田 権吾

四月から内科に赴任しました椋田権吾（むくだけんご）と申します。鳥取市出身です。これまで勤務も東部ばかりでしたので、西部で生活・診療をするのは初めてで、新たな発見・出会いを楽しみにしております。入院・外来患者さんの診療とともに、訪問診療・内視鏡検査・超音波検査も担当します。日野病院常勤内科医には幅の広さが求められると思いますので、それに応えられるよう頑張る所存です。よろしく願います。

診察日

火・金曜日
(午前中)

新規採用職員紹介



看護師
宇田川佳子

この度、正職員になりました宇田川です。チームワークを大切に「笑顔」と「手当て」、「親切にいねい」をモットーに心のこもった看護をしていきたいと思えます。よろしく願います。



准看護師
天草美智子

この度、介護老人保健施設あやめに新規採用となりました。施設の皆さんと仲良く、笑顔を忘れず、頑張つていきます。よろしく願います。



言語聴覚士
木村 哲人

四月一日から、言語聴覚士として勤務しております。一日でも早く馴染んで、皆様からコミュニケーションや嚥下（飲み込み）に関する疑問・質問などを気軽に相談できる関係を築いていきたいと思えます。



患者様の声

(改善点)



患者様の声を受け、様々な点で改善をしています。これからお気付きの点がありましたらご意見をお寄せください。（院内には患者様の声をいただく箱を、外来・2階病棟・3階病棟に設置しています。）また、日野病院のホームページの「ご意見箱」からもご意見をお寄せいただけます。

◎テレビのリモコンでチャンネルが変わりにくい。電池が弱いのではないですか？

テレビのリモコンについては、多床室（4人部屋）でお使いの場合に、同室の方のチャンネルが変わってしまうことを避けるため、通常より受信感度を下げてあります。申し訳ありませんが、テレビに近づけて使用していただきたいと思えます。

なお、乾電池は随時交換をしていますが、電池の消耗や故障等も考えられます。チャンネルが変わりにくい場合は、遠慮なく看護師等にお申し出ください。

今後とも、患者様に喜ばれる病院となりますよう、職員一同がんばります。お気付きの点がございましたら、ご意見をお寄せください。

看護の日イベント

5月14日、看護の日イベントを行いました。玄関ホールでは、手洗いチェッカー体験、健康相談、看護の宅配便、言語聴覚士による嚥下に関するブースなど多数設置しました。手洗いチェッカーを体験された方は、洗い残しが起こりやすい部分に気付いたり、各相談ブースでもたくさんの方が訪れ、とても参考になったという声を聞きました。また、保育所や施設等を中心に活動されている「えんどうまめ」さんによる歌遊びでは、ひのっこ保育所の園児や病棟患者さんも一緒になって歌いました。えんどうまめさんの元気いっぱいのパフォーマンスに感激して涙を流している患者さんもおられました。職員によるダンスでも、園児も一緒になって踊り、盛り上がりました。その後、えんどうまめさんには、1日看護局長として、病棟で患者さん1人1人と接していただきました。たくさんの方の笑顔があふれたイベントとなりました。



「看護の宅配便」

「看護の宅配便」の活動が日本看護協会機関紙「看護」3月号に掲載されました。

“あなたのそばに安心を「看護の宅配便」・地域の健康と笑顔を支える・患者の生活に思いを寄せる”というタイトルと一緒に職員、地域の方々のご協力のもとに私達の活動を全国に発信することができました。今年で4年目を迎える「看護の宅配便」、もっと、もっとパワーアップして皆様のもとへお伺いいたします。

病院内に日本庭園

救急外来前のスペースに日野町さつき盆栽研究会（大西新一会長）のボランティアにより、ミニ日本庭園を設置していただきました。残念ながら1週間程の短い設置期間でしたが、時間が過ぎるのを忘れて見入ってしまうほど、素晴らしい庭園で心が癒されました。（表紙に写真）

—日野病院では各種ボランティアを募集しています—

連絡先

日野病院

鳥取県日野郡日野町野田332番地
TEL 0859-72-0351
FAX 0859-72-0089

黒坂診療所

鳥取県日野郡日野町黒坂1243-1番地
TEL 0859-74-0351
FAX 0859-74-0351

二部診療所

西伯郡伯耆町二部1554番地4
TEL 0859-62-0351
FAX 0859-62-0351



切り取り線

〈編集後記〉

桜の花も散り、緑のきれいな季節になりました。皆さんはお花見には出掛けられましたか？私は残念ながら、通勤時に車の窓から眺めるだけでしたが…。でも仕事では、入院患者さんと根雨小学校の桜と一緒に眺めて、皆さんの喜んだ笑顔を見ることができてとても嬉しかったです。

(金)

日野病院 外来診療案内

最新版 H.26.4~
午前 午後 休診

		受付	月	火	水	木	金
内科	一診	午前	櫃田 豊	櫃田 豊	細田 讓 (第1・3週) 大倉裕子※3 (第2・4週)	櫃田 豊	松波馨士
		午後			大倉裕子※3 (第2・4週)		
	二診	午前			田本明弘	中下聡子※3	中本成紀
		午後			田本明弘		中本成紀
	三診	午前	松波馨士	椋田権吾	熊野健太郎	熊野健太郎	椋田権吾
		午後					
総合診療内科	午前				大学医師		
	午後				大学医師		
外科		午前	大学医師	佐藤尚喜	大谷眞二	大学医師	佐藤尚喜
整形外科		午前	柳樂慶太	柳樂慶太	岸本勇二	柳樂慶太	柳樂慶太
眼科		午前	玉井嗣彦	玉井嗣彦※1	上田麻奈美	玉井嗣彦	春木智子
小児科		午前	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗
アレルギー科		午後※2	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗

専門診療科 (大学医師)		午前	午後
禁煙外来	櫃田 豊※4	女性診療科 秦 幸吉	消化器内科 田本明弘
泌尿器科	本田正史	皮膚科 柳原茂人	血液内科 細田 讓 (第1・3週)
			糖尿病外来 大倉裕子※3 (第2・4週)
		心臓外科 西村元延 (第1・3週)	消化器内科 田本明弘
		ペースメーカー 西村元延 (偶数月第3週)	糖尿病外来 大倉裕子※3 (第2・4週)
		血管外科 佐伯宗弘 (第2週)	女性診療科 大学医師 (第1週)
			耳鼻科 竹内裕美
			脳神経内科 中下聡子※3
			総合診療内科 地域医療学(大学)
			総合診療内科 地域医療学(大学)
			呼吸器内科 中本成紀
			心療内科 山内崇平

(注) 医師の出張等により、担当医師等が変更になる場合があります。詳しくはホームページ・正面玄関の掲示板等でご確認ください。

自動再来受付機による受付時間 ●午前＝7時30分～11時30分 (一部8時30分～10時30分 ※5) ●午後＝正午～16時

診療開始時間 ●午前＝9時～ ●午後＝14時～

電話による受付 (内科・整形外科) ●10時～10時30分 (当日の午前受付のみ) 電話番号 0859-72-2733 (専用)

電話による予約日の変更受付 ●14時～16時の間 (予約日の前日までの平日のみ)

電話番号(内科) 72-2721 (整形外科) 72-2720 (外科・泌尿器科) 72-2719

休診日 ●土曜日・日曜日・祝日 ●8月14日・15日 ●12月29日～1月3日

- ※1 火曜日の眼科受付時間は10時30分までです。
- ※2 午後から医師が健診のため不在になることがあります。詳しくはお電話でお問い合わせください。
- ※3 完全予約制です。受診希望の方は、まず内科を受診して医師にご相談ください。
- ※4 禁煙外来 (月曜日) の初診は予約が必要です。2回目からは内科受診となります。
- ※5 初診の方・常勤医師 (内科・外科・整形外科) の診察予約日以外に受診の方

この広報誌は、患者様のご希望により、構成町 (日野町・江府町・伯耆町) の全戸に配布しています。

外来診療案内ポケット版

(H.26.4月～)

午前 (受付時間は、7時30分から11時30分まで)		月	火	水	木	金
内科	一診	櫃田	櫃田	血液(第1・3週)・糖尿病(第2・4週)	櫃田	松波
	二診			田本	(脳内)	(呼吸器)
	三診	松波	椋田	熊野	熊野	椋田
総合診療内科				(大学)		
外科	(大学)	佐藤	大谷眞	(大学)	佐藤	
整形外科	柳樂	柳樂	岸本	柳樂	柳樂	
眼科	玉井	玉井	上田	玉井	春木	
小児科	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	
その他(大学)	禁煙外来 泌尿器科	女性診療科 皮膚科	消化器内科 血液内科(第1・3週) 糖尿病外来(第2・4週)	耳鼻科 脳神経内科	呼吸器	

午後 (受付時間は、12時から16時まで)

診察科目	月	火	水	木	金
内科			(大学)	総合診療内科	(大学)
小児科	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本
その他(大学)	心臓外科(第1・3週) 血管外科(第2週) ペースメーカー(偶数月第3週)	消化器内科 女性診療科(第1週)			心療内科 呼吸器

※医師の出張等により、診察日・担当医師が変更になる場合があります。

(切り取って財布等に入れご利用ください)



(11ページに関連記事)

日野病院の基本理念

- 一 地域住民のニーズにあった良質な医療、保健、福祉のサービスを行い、山間地中核病院として信頼される病院を目指す
- 二 自治体病院の職員としての自覚と使命感をもって、より良い患者サービスに努める

基本方針

1. 高齢者の疾病に対応する慢性疾患をはじめ、急性期医療にも取り組みます
2. 住民が安心して地域で暮らすことができるよう、救急医療に対応します
3. 安全な医療を提供するため、安全管理対策を推進します
4. 小児科医療を通じ子育て支援に協力します
5. 多機能に対応できるリハビリテーションを実践します
6. 出かける医療、近づいていく医療と福祉に努めます
7. 検診ドック事業・各種指導事業を積極的に展開します
8. 職員の人材育成に努め、地域に貢献します

地域包括ケアシステムと地域包括ケア病床



日野病院病院長
檀 田 豊

今年の夏、日本各地は大雨による甚大な被害を被っています。特に、広島市北部では8月20日未明に降った局所的な大雨により住宅の裏山が広

い範囲にわたって崩れ、複数の住宅が土砂に巻き込まれる被害が発生しました。9月5日時点での死者は72人、行方不明者は2人に達しています。最近、日野地区でも度々大雨警報・注意報が発令されており、今後も十分な注意が必要です。

さて、最近、いわゆる「2025年問題」がテレビや新聞で取り上げられるようになりました。2025年は団塊の世代が後期高齢者となる年であり、その頃になると高齢者数や単独世帯数、さらには認知症を持つ人の数が飛躍的に増加すると予想されています。このような危機的状况に対応するために、厚生労働省は2025年を目的地域包括ケアシステムと呼ばれる住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制を実現するよう各都道府県、市町村に呼びかけています。地域包括ケアシステムにより、高齢者は、たとえ介護が必要な状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが可能となるのです。

人口動態や社会資源の多寡には大きな地域差があります。日野地区では高齢化はもとより人口減少も急速に進行しています。しかも

社会資源に乏しいことから、他の地域に先んじて地域包括ケアシステムを作り上げる必要があり、実際そのようになりつつあります。

本年度の診療報酬改定の主要な目的は地域包括ケアシステムへの誘導と考えられています。そのための仕組みのひとつとして、亜急性期入院医療管理料にかわり、地域包括ケア病床入院料（200床以上の病院では病棟単位での算定が可能）が新設されました。

地域包括ケア病床の対象となる患者さんは、当院や他の急性期病院に入院中の方で、病気の急性期を脱し病状が比較的安定した方です。また、在宅療養中か介護施設入所中の方で、急に容態が悪くなったものの比較的軽症な方も対象になります。地域包括ケア病床では、これらの患者さんが在宅や介護施設へ早期に復帰できるように、主治医、看護師、リハビリテーションスタッフ、ソーシャルワーカー、その他スタッフが協力して様々な支援を提供します。

このように、地域包括ケアシステムのなかで地域包括ケア病床が果たす役割は極めて大きいと思われます。日野病院では本年10月より亜急性期病床25床を地域包括ケア病床に転換することになりました。私どもは従来行ってきた在宅医療、多職種協働事業（服薬アドヒアランス向上対策、看護の宅配便など）などに加えて、地域包括ケア病床により日野地区の地域包括ケアシステムの構築に貢献したいと考えています。

温かい生活環境を求めて

— ユーモアの大切さ —



日野病院名誉病院長 玉井 嗣彦

やっと秋めいてきましたが、今年の夏は例年になく猛暑で大変でしたね。皆様、体調管理はいかがでしたか。くれぐれもご自愛の上ご活躍下さい。

今回話題の自己風刺のユーモアは、本邦ではなかなか定着しにくいようですが、ヨーロッパには各国の国民性を風刺した小話があります。

例えば、象を話題にしますと、「ポーランド人は、何の関係もないとは思いますが、『象とポーランド問題』について熱烈な演説を行い、愛国者同盟を結成します」などと。

はたして日本人はどうでしょうか。「象を見たら、まず写真を撮るでしょうね」とは、ユーモア研究の第一人者である上智大学名誉教授のアルフォンス・デーケン氏のコメントです。皆様はいかがでしょう。

私は1970年から71年にかけて、アメリカ・ニューオーリンズの市内中心部にあるチューレン大学に、眼科講師として勤務していましたが、スローペースの黒人英語に随分悩まされました。

英会話にはある程度の自信はありましたが、高齢で歯がない黒人男性患者の診療時には何を言っているのかほとんど分からず、途方に暮れて、しかたなく、フランス系アメリカ人の女性アシスタントに助けを求めました。

彼女はしばらく彼の話を聞いてから、「私にもよく分からない」。その時、私は彼女のユーモアのセンスに本当に助けられた思いがしました。

上述のデーケン名誉教授は、ユーモアはジョークと異なり、心と心のふれあいから生まれるもので、相手に対する思いやりが原点にあると述べておられます。「愛の現実的な表現がユーモアである」というわけです。

医療従事者は患者に対して、教職者は学生に、事業主は部下に、あるいは夫婦や親子の間でも、本当に思いやりを示したい時には、まず相手が何を希望しているかに思いを馳せなければなりません。

病院やホスピスの中であれ、教育現場や職場でも、家庭においても、みんなが望むのは温かい生活環境です。その意味で、出発点が思いやりと愛であるユーモアは、自己風刺に根ざしたものとはいえ、ジョークが時に相手を傷つけることがあるのに対して、相手のメンツを壊さないふさわしい表現といえます。

ユーモアのある人とない人を比較すると、ユーモアの乏しい人は風邪を引きやすいというデータがイギリスにあります。予防医学の面からも興味深い報告で、超高齢化社会を迎えた日本で、一番安い薬はユーモアと笑いといえそうです。

3年前、41年ぶりにチューレン大学を訪れる機会を得ましたが、その際、彼女との懐かしいやりとりを思い出した次第です。

7年連続で黒字決算となりました！

平成25年度決算のご報告

去る8月29日に開催された日野病院組合議会において平成25年度の決算が認定されました。その内容を報告します。

○ 病院事業等（日野病院、在宅介護支援事業所、黒坂・二部診療所）

病院収益ですが、外来患者数は減、入院患者数は微増、診療単価は共に増となり、医業収益は増加するも医業外収益が減少し収益全体では減収でした。また、在宅は、訪問看護が減少するも、訪問リハビリが大幅に増加し、増収でした。診療所は、患者数の減がひびき減収でした。一方費用ですが、給与費、材料費、経費が増加しました。決算額ですが、42,306千円の黒字決算となりました。前年度より累積欠損金から累積剰余金に転じましたが、今年度を終えて72,875千円の剰余金となりました。

○ 介護老人保健施設事業（あやめ）

平成25年度で施設運営を開始してから8年目を終わりました。前年度と比べ入所利用者、短期入所、通所リハビリテーションとも減少しました。このことにより、収益は減収となりました。費用は、主に経費・委託費は減少しましたが、人件費・材料費が増加しました。決算額ですが、10,286千円の赤字決算となりました。

日野病院組合事業決算概要

○ 病院事業等（日野病院、在宅介護支援事業所、黒坂・二部診療所）

(単位：千円)

区分	24年度	25年度	増減	備考	
収益	医業収益	1,170,969	1,170,308	△661	入院収益、外来収益、公衆衛生活動収益等
	介護サービス収益	56,579	57,758	1,179	訪問看護、訪問リハビリ収益等
	医業外収益	390,356	370,584	△19,772	負担金交付金、補助金等
	収益合計	1,617,904	1,598,650	△19,254	
費用	医業・介護サービス費用	1,543,131	1,520,019	△23,112	給与費、材料費、経費、委託費、研究研修費等
	医業外費用	36,213	36,325	112	企業債利息、消費税等
	費用合計	1,579,344	1,556,344	△23,000	
決算額	38,560	42,306	3,746		
資金不足比率 ※	該当なし	該当なし		(流動負債等・流動資産等) / 営業収益 × 100	
資金不足負担金発生までの額	501,614	497,528	△4,086	マイナスとなった場合にのみ負担金(追加分)が発生	
年度末退職給与引当金残高	250,403	236,560	△13,843	引当額54,627千円 退職金支払額68,470千円 (4名)	

○ 介護老人保健施設事業（あやめ）

(単位：千円)

区分	24年度	25年度	増減	備考	
収益	介護サービス収益	390,269	379,018	△11,251	介護報酬収益、利用者負担収益等
	介護サービス外収益	325	405	80	主治医意見書、認定調査等
	収益合計	390,594	379,423	△11,171	
費用	介護サービス費用	337,263	344,365	7,102	給与費、材料費、経費、委託費、研究研修費等
	介護サービス外費用	48,155	45,344	△2,811	江府町への負担金
	費用合計	385,418	389,709	4,291	
決算額	5,176	△10,286	△15,462		
資金不足比率 ※	該当なし	該当なし		(流動負債等・流動資産等) / 営業収益 × 100	
年度末退職給与引当金残高	3,807	8,127	4,320	引当額4,320千円 退職金支払額なし	

※地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項（平成19年法律第94号）の規定による。

○患者数（利用者）診療単価、及び稼働率等

1. 病院事業

項目	患者数（人）			1人1日当たり診療単価（円）			病床利用率（％）		
	24年度	25年度	増減	24年度	25年度	増減	24年度	25年度	増減
(1) 入院診療	25,668	25,689	21	29,449	29,646	197	71.0	71.1	0.1
(2) 外来診療	38,613	37,829	△ 784	8,496	8,669	173			

2. 在宅介護支援事業

項目	利用者数（人）			1人1日当たり単価（円）		
	24年度	25年度	増減	24年度	25年度	増減
(1) 訪問看護等	5,108	5,309	201	11,077	10,879	△ 198

3. 診療所事業

項目	患者数（人）			1人1日当たり診療単価（円）		
	24年度	25年度	増減	24年度	25年度	増減
(1) 黒坂診療所	905	649	△ 256	4,487	4,128	△ 359
(2) 二部診療所	97	80	△ 17	4,568	4,325	△ 243

4. 介護老人保健施設事業（あやめ）

項目	患者数（人）			稼働率（％）		
	24年度	25年度	増減	24年度	25年度	増減
(1) 入所	25,258	24,698	△ 560	98.9	96.7	△ 2.2
(2) 短期	1,081	1,016	△ 65	29.6	27.8	△ 1.8
(3) 通所	6,776	6,297	△ 479	73.1	67.7	△ 5.4

○ 部門別各種統計（抜粋）

（単位：件または人）

手術件数	24年度	25年度	差引
外科	65	64	△ 1
整形外科	110	145	35
眼科	139	122	△ 17
泌尿器科	0	0	0

内視鏡検査	24年度	25年度	差引
胃カメラ	695	674	△ 21
胃透視	16	7	△ 9
大腸ファイバー	132	131	△ 1
大腸透視	0	0	0
気管支鏡	18	13	△ 5
胃ろう造設術	12	14	2

超音波診断検査	24年度	25年度	差引
腹部エコー	589	543	△ 46
心甲乳エコー	246	259	13

薬局状況	24年度	25年度	差引
服薬指導(人数)	378	388	10
服薬指導(件数)	643	660	17
訪問服薬指導	94	81	△ 13
処方箋枚数	11,141	11,006	△ 135
薬剤数	30,693	32,249	1,556
注射箋枚数	14,190	14,387	197

栄養管理室状況	24年度	25年度	差引
入院時延べ食数	64,536	64,526	△ 10
外来透析食数	806	884	78
栄養指導	548	532	△ 16

検査室状況	24年度	25年度	差引
血液検査	18,980	20,082	1,102
尿検査	5,346	5,249	△ 97
心電図	1,727	1,726	△ 1
呼吸機能	562	479	△ 83
眼底カメラ	292	273	△ 19
脳波	19	23	4
血圧脈波	58	23	△ 35

訪問看護状況	24年度	25年度	差引
実人員	455	395	△ 60
延べ人員	2,062	1,785	△ 277

居宅支援	24年度	25年度	差引
件数	1,085	1,165	80

訪問リハビリ	24年度	25年度	差引
実人員	586	670	84
延べ人員	3,046	3,524	478

放射線室状況	24年度	25年度	差引
単純撮影	5,729	5,811	82
骨塩定量	578	465	△ 113
乳房撮影	29	23	△ 6
C T 検査	1,732	1,626	△ 106
M R I 検査	838	644	△ 194

人工透析状況	24年度	25年度	差引
実人員	178	133	△ 45
延べ人員	1,938	1,552	△ 386

理学療法状況	24年度	25年度	差引
運動器リハ(I)	9,463	9,440	△ 23
運動器リハ(II)	3,383	3,572	189
呼吸器リハ(I)	1,960	952	△ 1,008
脳血管リハ(II)	12,877	8,765	△ 4,112
脳血管リハ(II)廃用	2,192	1,775	△ 417
退院時(前)指導	319	342	23
徒手(器具)的処置	1,597	905	△ 692

作業療法状況	24年度	25年度	差引
運動器リハ(I)	881	1,081	200
運動器リハ(II)	564	376	△ 188
呼吸器リハ(I)	248	0	△ 248
脳血管リハ(II)	2,666	2,145	△ 521
脳血管リハ(II)廃用	284	273	△ 11

言語聴覚療法状況	24年度	25年度	差引
脳血管リハ(II)	4,048	1,733	△ 2,315
脳血管リハ(II)廃用	254	149	△ 105
摂食機能療法	785	514	△ 271

検診実施状況	24年度	25年度	差引
人間ドック	209	207	△ 2
脳ドック	74	58	△ 16
生活習慣病検診	128	133	5
婦人がん検診	72	75	3
予防接種	1,542	1,609	67

ないうる豆版



☺ 日野病院組合 * 在宅介護支援事業所
お気軽にご相談下さい!

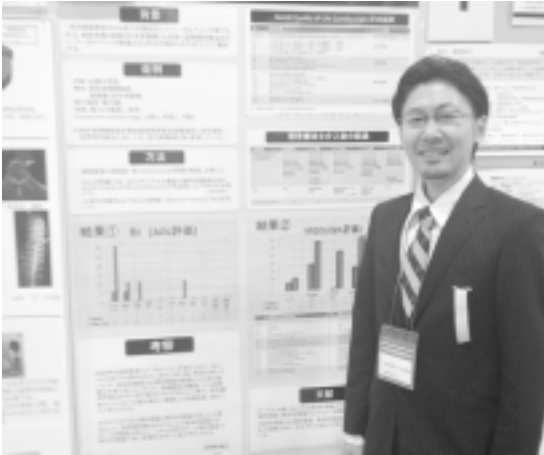
<連絡先>

☆ 訪問看護ステーション
0859-72-2706
☆ 居宅介護支援事業所
0859-72-2723

<訪問エリア>

日野町・江府町・日南町
伯耆町・新見市・新庄村

第19回 日本緩和医療学会学術大会参加報告 6月20～21日



在宅では様々な疾患の方がリハビリを必要とされていますが、近年では癌などの緩和医療を必要とする方に対してもリハビリを行う機会も多くなってきました。こうした状況を受け、今回癌終末期の患者様に対するリハビリの効果について緩和医療学術集会にて示説発表をしてきました。この発表を通して在宅で緩和医療を必要とする方が、その人らしく生活できるように支援することの大切さを強く感じました。これからも患者様の緩和ケアに貢献できるよう研鑽を重ねていきます。

訪問看護ステーション 理学療法士 田中 武志



ご利用者アンケート報告

～自由記述へのご回答～

訪問看護

【ご意見】 少ないスタッフで変わりなく訪問していただいて大変感謝しています。もう少し時間は正確な方が良いと思います。

【回答】 ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。突発的な訪問などにより予定時間に訪問できない場合には事前に連絡させていただき、予定時刻に訪問できるよう気を付けてまいります。

【ご意見】 訪問診察の時に外来の看護師さんが来られますが、日頃のことをよくわかっている訪問看護の方に来ていただけるとより心強いと思います。

【回答】 訪問診察に同行する看護師は外来が担当しております。訪問看護からは訪問診察前に日頃の様子を伝えたり、必要時には訪問診察に同行させていただくこともあります。利用者様に安心していただけるような対応に努めております。心配なことがありましたら随時お知らせください。



居宅支援 (ケアマネ)



【ご意見】 介護しているいろいろなことに遭遇していくなかで、ケアマネさんがどんな提案をして下さるかが本人はもとより介護する側にも後々違いがあると思います。利用者は介護保険にも介護についても知らないことばかりです。早めの提案をお願いします。

【回答】 自宅療養を行われるなかで、ご家族・ご本人の抱えられる不安にしっかりと耳を傾け、ご要望や状況に応じて計画の提案等、適切に情報提供できまよう、ケアマネ自身も日々自己研鑽に励んでいきます。

訪問リハビリ

【ご意見】 手すりの位置やマット等のアドバイスはとても助かりました。

【回答】 ご自宅の段差を上り下りされる動き、また、浴室やトイレの出入りをされる動きなども見せていただき、お一人おひとりに合った手すりやスロープなど福祉用具の紹介もしています。

皆様からお寄せいただいた貴重なご意見・ご要望をもとにサービスの質の向上に努めてまいります。
今後ともよろしくお願いたします。

今回は青魚に含まれる栄養成分についてご紹介します。



EPAとDHA



イワシ、アジやサンマなどの青魚には良質なたんぱく質やカルシウムのほか、不飽和脂肪酸のEPAやDHAが多く含まれています。

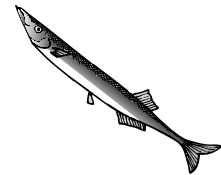
青魚が生活習慣病に良いと言われるのは、EPAやDHAが血液をサラサラにして脳を活性化させる働きがあるからです。

★EPA(エイコサペンタエン酸)

血液中の中性脂肪値やコレステロール値を低下させて血流を良くし、動脈硬化の予防に役立ちます。

★DHA(ドコサヘキサエン酸)

脳細胞を活性化させ、頭の回転を良くする効果があるといわれています。



青魚のイワシを使って

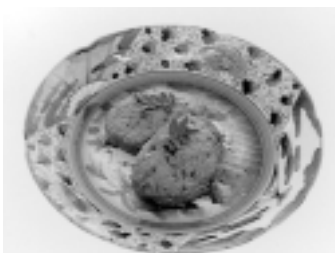
鳥取県の郷土料理「いわし団子」

鳥取県の食材を使ったレシピを紹介します。県内の漁港では、昔はイワシが年中よく水揚げされていました。イワシを豪快に身・骨ごと叩いて作るのが「いわし団子」です。叩いたイワシに調味料を入れますが、その中に酒粕を入れて作ることもあります。酒粕の豊かな香りで、より風味が増します。

骨の多いイワシも身・骨ごとつみれにすれば幅広い世代に食べやすくおすすめです。

青魚を食べて生活習慣病を予防しましょう。

<いわし団子>



●材料 (分量4人分)

イワシ900g
(正味500g)
味噌 10g
卵 中1個
酒粕 20g
ごぼう 40g
木の芽 (生姜・柚子の皮)

煮汁

酒 30g
だし汁 600ml
しょう油 20g
みりん 20g

●作り方

- ① イワシは、頭と内臓を取る。骨ごとぶつ切りにして、包丁でよくたたく。
- ② すり鉢に①と味噌・溶き卵・酒粕をちぎって入れ、よくすっておく。
- ③ ごぼうはさがきにして水にはなし、アク抜きをする。
- ④ ②に③を加えて混ぜ、8等分にする。
- ⑤ 鍋に煮汁を入れ、火にかけて沸騰してきたら、④の形を整えて入れ火を通す。
- ⑥ 器に盛り、季節によって木の芽、生姜、柚子の皮などを盛る。

介護老人保健施設あやめ

今年の夏は天候不順で長雨が続き日照時間も短く、西日本は11年ぶりの冷夏だったと報道されています。台風が近づいた際には、通所リハを休みにするなど、あやめでも影響がありました。

8月には夏祭りを開催。9月には敬老会等多数イベントを予定しています。職員が入所の皆様とともに楽しいひと時を過ごしていただけるよういろいろ計画しています。

《入所サービス》

音楽療法を定期的に行っています。大きな声でなじみの歌を唄ったり楽器を使つての療法です。皆様楽しそうに参加されました。

また、夏の暑さを乗り切ろうと、「アイスクリーム」の提供や様々な行事の実施。職員が盛り上げようといろいろな催しを計画しています。

また、毎日の楽しみの一つの食事にも工夫を凝らし、先日の開所記念日にはお祝い御膳でにぎり寿司、天ぷらなどを提供し大変喜んでいただきました。そのほかの行事にも工夫を凝らした食事を提供しています。



《通所リハビリテーション》

午後のレクリエーションの時間に皆様で作品を手作りしていただいています。7月の作品は『七夕飾り』でした。

飾りを皆様と作り、一人一枚づつ短冊に願い事を書きました。毎年笹は利用者様よりいただいています。ありがとうございます。

出来上がった作品は、デイケアの入り口に七夕の間、飾りました。



～主菜バイキング～

季節のフルーツが食べたいという皆様の声で実現したフルーツバイキング。

スイカ・ブドウ・オレンジ・バナナの4種類からお好きなものを選んでいただきました。

「このスイカは東伯産じゃないか？」楽しそうな声が聞こえていました。



★ご相談 江府町大字武庫475番地 介護老人保健施設あやめ
TEL 0859-75-3230 ・ FAX 0859-75-3280

平成26年9月30日付で柳樂慶太医師が異動となります。

退任のごあいさつ



柳樂慶太 医師

このたび山陰労災病院への異動のため、日野病院を退職することになりました。1年半という短い間でしたが、今までに経験したことも報告でもあまりみたくもない症例にいくつも遭遇しましたし、初めて行う手術や外来での治療も多く経験させていただきました。残念ながら自分の力が及ばなかった症例もありましたが、日野病院ですべての経験が自分にとってかけがえのない財産になることと思います。

温かく見守っていただいた診療局の先生方、病院スタッフや地域の皆さんには大変感謝しております。いつか恩返しができればと思います。最後になりましたが、日野病院のさらなる発展と日野地区の方々のご健康とご多幸を願っています。本当にありがとうございました。

10月1日からは、藤田章啓（ふじたあきひろ）医師が着任され、整形外科の外来診察を行います。詳しくは12ページの外来診療案内をご覧ください。



再チャレンジ教室

・・・未就業者の方のための復職支援教室です・・・

日野病院は、チャレンジするあなたを応援します！

研修の実際

- ①開催日：毎月第1月曜日 10：00～15：00
*昼食の準備を致します
*随時のご希望も伺います（休日は開催しません）
- ②内容
・病院見学 ・看護の動向 ・医療安全対策の基本
・感染対策の基本
・医療機器類の取り扱い（輸液ポンプ・シリンジポンプなど）
・看護技術（採血・点滴静脈注射・経管栄養など）
・看護記録（電子カルテについて）
・急変時の対応
- ③連絡方法：☎0859-72-0351 看護局長（小村裕美子）まで
ご相談下さい



*受講料は無料 *動きやすい服装でお出かけください・・・お待ちしています！

日野病院では、現在次の職員を募集しています

●医師 ●看護師 ●薬剤師 ●臨床検査技師

日程や試験内容など、詳しくは日野病院までお問い合わせください。

日野病院内に鳥取大学 地域医療総合教育研修 センターが開所

6月9日、鳥取大学地域医療総合教育研修センターの開所式が行われました。これは、鳥取大学医学部地域医療学講座が、地域に必要な医療活動や医学生の地域医療教育を行うほか、高齢化に伴う地域健康課題の解決に向けての研究、さらに行政と連携して保健・医療・福祉を総合的に推進する地域包括ケアの構築に取り組むことを目的として、日野病院内に開設したものです。

6月からは、それまで木曜日のみだった総合診療内科が月曜日から木曜日まで診療を行い、7月からは訪問診療を行っているほか、医学部医学科の学生が診療所や訪問看護などの現場に実際に同行して地域医療について学んでいます。



当院で診療を受けられる患者さんへ — 学生実習への協力をお願い —



上記センターは、鳥取大学の医学部学生等が地域医療を学ぶために設置されたものです。当院では、地域医療を目指す学生教育のため、また、将来患者さんへよりよい医療を提供するために、患者さんの診察時に学生実習への協力をお願いしています。

学生が診療に同席し実習することに関して、口頭で同意をいただきますが、同意いただけない場合は遠慮なくお申し出ください。（同意いただけない場合も、その後の診療に何ら不利益を被ることはありません。）

また、学生もほかの職員と同様に、診療上知り得た内容を口外することは厳に禁止されており、個人情報情報は厳重に守られます。

以上のことをご理解いただき、何卒ご協力をお願いします。

改善 患者様の声 (改善点)

このコーナーでは、患者さまからいただいた意見（お褒めやお礼の言葉・苦情・提案等）の中から提案や改善項目に対する回答を紹介しています。）

患者様の声を受け、様々な点で改善をしています。これからお気付きの点がありましたらご意見をお寄せください。（院内には患者様の声をいただく箱を、外来・2階病棟・3階病棟に設置しています。）また、日野病院のホームページの「ご意見箱」からもご意見をお寄せいただけます。

◎CT室にスリッパがほしかった。できれば、クツペラもあればよろこびます。

病院内でのスリッパの使用については、感染対策のため必要な場所以外病院が設置することを控えています。

CT検査の場合は、検査台に腰掛け靴をぬいでそのまま検査を受けていただきたいと思います。（どうしても必要な場合はお申し出ください。）

クツペラについては、検査終了後に靴を履いていただく際、必要と思われるので、準備したいと思います。

◎身長を測る時裸足になるが、前の人が立った後消毒ティッシュで拭く等の配慮があればよいと思います。眼底検査も同様。また、MRIのスリッパも下敷きがないので、感染のおそれがあります。

身長・測定の際は、その都度紙タオルを敷いて対応したいと思います。

また、眼底検査については、前の検査が終了後、消毒を実施してから次の検査を実施していますので、安心して検査をお受けください。

MRI検査については、MRI検査室に靴のまま入ることができませんので、スリッパを使用しています。消毒を徹底し、清潔なスリッパで検査を実施したいと思えます。

◎ハンカチ等忘れる時があるため、外来のトイレにペーパータオルを置いてほしい。

以前から同様の意見をいただいております。感染上持参のハンカチ等を使用していただくようお願いをしております。

ただ、ご意見のとおり、ハンカチ等をお忘れの際は、他に方法がなくお困りのことと思います。

遅くなりましたが、エアータオルを外来トイレに設置しましたのでご利用ください。

今後とも、患者様に喜ばれる病院となりますよう、職員一同がんばります。お気付きの点がございましたら、ご意見をお寄せください。

雨にも負けず 踊りました

7月19日に開催された「ねまつり」に今年も日野病院組合職員互助会として参加しました。今年も、景山享弘管理者も踊り子連に加わり、元気な日野病院組合を一緒にアピールしました。道中、雨にうたれることもありましたが、最後まで精いっぱい踊り切りました。

たくさんのご声援と拍手、またご祝儀を頂きましたことに厚くお礼を申し上げます。



笑顔溢れる納涼祭

8月29日に納涼祭を開催しました。今年も、森の子合唱団による歌・ハンドベルなどの演奏、大下様親子によるどじょうすくい・南京玉簾を披露していただきました。子供たちの可愛らしい歌声と踊りや、大下様親子の素晴らしい演技に患者様からも自然と笑顔が湧いていました。また、スーパーボールすくい、輪投げコーナーも大好評で、子供たちの笑い声で大変賑わいました。たくさんの方々にお越しいただきありがとうございました。

今後も、地域の皆様により身近に感じていただけるよう、楽しいイベントを企画していきますのでよろしくお願ひ致します。



連絡先

日野病院

鳥取県日野郡日野町野田332番地
TEL 0859-72-0351
FAX 0859-72-0089

黒坂診療所

鳥取県日野郡日野町黒坂1243-1番地
TEL 0859-74-0351
FAX 0859-74-0351

二部診療所

西伯郡伯耆町二部1554番地4
TEL 0859-62-0351
FAX 0859-62-0351



切り取り線

〈編集後記〉

思わぬ長雨に冷夏、各地で多発する自然災害には本当にこころが痛みます。

改めて平和な暮らしに感謝しつつ、これからの季節、新米に新そば、日野路の美味しい秋がいつもと変わらせずやってくることを祈るばかりです。

(緒)

日野病院 外来診療案内

最新版 H.26.10~
午前 午後 休診

		受付	月	火	水	木	金
内科	一 診	午前	櫃田 豊	櫃田 豊	細田 讓 (第1・3週) 大倉裕子※3 (第2・4週)	櫃田 豊	松波馨士
		午後			大倉裕子※3 (第2・4週)		
	二 診	午前			田本明弘	中下聡子※3	中本成紀
		午後			田本明弘		中本成紀
	三 診	午前	松波馨士	椋田権吾	熊野健太郎	熊野健太郎	椋田権吾
		午後					
総合診療内科	午前	渡邊ありさ		井上和興	大学医師		
	午後		渡邊ありさ		大学医師		
外科		午前	大学医師	佐藤尚喜	大谷眞二	大学医師	佐藤尚喜
整形外科		午前	藤田章啓	藤田章啓	岸本勇二	藤田章啓	藤田章啓
眼科		午前	玉井嗣彦	玉井嗣彦※1	上田麻奈美	玉井嗣彦	春木智子
小児科		午前	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗
アレルギー科		午後※2	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗

専門診療科 (大学医師)	午前	禁煙外来 櫃田 豊※4	女性診療科 秦 幸吉	消化器内科 田本明弘	耳鼻科 竹内裕美	呼吸器内科 中本成紀
		泌尿器科 本田正史	皮膚科 柳原茂人	血液内科 細田 讓 (第1・3週)	脳神経内科 中下聡子※3	
	午後		心臓外科 西村元延 (第1・3週)	消化器内科 田本明弘		呼吸器内科 中本成紀
			ペースメーカー 西村元延 (偶数月第3週)	糖尿病外来 大倉裕子※3 (第2・4週)		心療内科 山内崇平
		血管外科 佐伯宗弘 (第2週)	女性診療科 大学医師 (第1週)			

(注) 医師の出張等により、担当医師等が変更になる場合があります。詳しくはホームページ・正面玄関の掲示板等でご確認ください。

自動再来受付機による受付時間 ●午前＝7時30分～11時30分 (一部8時30分～10時30分 ※5) ●午後＝正午～16時

診療開始時間 ●午前＝9時～ ●午後＝14時～

電話による受付 (内科・整形外科) ●10時～10時30分 (当日の午前受付のみ) 電話番号 0859-72-2733 (専用)

電話による予約日の変更受付 ●14時～16時の間 (予約日の前日までの平日のみ)

電話番号(内科) 72-2721 (整形外科) 72-2720 (外科・泌尿器科) 72-2719

休診日 ●土曜日・日曜日・祝日 ●8月14日・15日 ●12月29日～1月3日

- ※1 火曜日の眼科受付時間は10時30分までです。
- ※2 午後から医師が健診のため不在になることがあります。詳しくはお電話でお問い合わせください。
- ※3 完全予約制です。受診希望の方は、まず内科を受診して医師にご相談ください。
- ※4 禁煙外来 (月曜日) の初診は予約が必要です。2回目からは内科受診となります。
- ※5 初診の方・常勤医師 (内科・外科・整形外科) の診察予約日以外に受診の方

この広報誌は、患者様のご希望により、構成町 (日野町・江府町・伯耆町) の全戸に配布しています。

外来診療案内ポケット版

午前 (受付時間は、7時30分から11時30分まで) (H.26.10月～)

診察科目	月	火	水	木	金	
内科	一診	櫃田	櫃田	血液(第1・3週)・糖尿病(第2・4週)	櫃田	松波
	二診			田本	(脳内)	(呼吸器)
	三診	松波	椋田	熊野	熊野	椋田
総合診療内科	渡邊		井上	(大学)		
外科	(大学)	佐藤	大谷眞	(大学)	佐藤	
整形外科	藤田	藤田	岸本	藤田	藤田	
眼科	玉井	玉井	上田	玉井	春木	
小児科	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	
その他(大学)	禁煙外来 泌尿器科	女性診療科 皮膚科	消化器内科 血液内科(第1・3週) 糖尿病外来(第2・4週)	耳鼻科 脳神経内科	呼吸器	

午後 (受付時間は、12時から16時まで)

診察科目	月	火	水	木	金
内科		総合診療内科	(大学)	総合診療内科	(大学)
小児科	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本
その他(大学)	心臓外科(第1・3週) 血管外科(第2週) ペースメーカー(偶数月第3週)		消化器内科 糖尿病外来(第2・4週) 女性診療科(第1週)		心療内科 呼吸器

※医師の出張等により、診察日・担当医師が変更になる場合があります。

(切り取って財布等に入れご利用ください)

切り取り線

せせらぎ

No. 52

平成27年 1月発行
題字 櫃田 豊 病院長



日本医療機能評価機構
認定第JC1483号

発行/日野病院組合 編集/日野病院広報委員会 〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332番地 TEL0859-72-0351
日野病院ホームページ <http://www.hinohp.com/> FAX0859-72-0089



(9ページに関連記事)

新年の「あいさつ」



日野病院組合管理者
景山 享 弘

新年あけましておめでとうございます。

平成二十七年のお正月を皆様おそろいでお迎えのことと思います。この一年が良い年でありますようご祈念申し上げます。

さて日野病院・あやめを日頃ご愛顧、ご利用いただき誠にありがとうございます。さらにご期待にお応えできよう課題克服のために努力する年にしなければなりません。

特に日野病院は、地域の少子化、人口減少が進むなかでの中核病院として維持して行くために、今後のあり方を検討する必要があります。

ます。その一つとして、病院と行政との密なる連携があります。いわゆる医療・福祉・保健との一体化です。この体制が整えば、地域の健康管理はもとより安心安全がより強いものになると思います。

昨年から鳥取大学のサテライトとして、地域医療総合教育センターが病院内に設置されました。医師、医学生の研究だけではなく、地域にも出掛けていただいている中山間地のかかえている問題点にも触れていただきたいと思います。

この一年が日野病院にとって、大きな飛躍の年になりますよう念じながら新年のごあいさつとします。

年頭のご挨拶

〽昨年、一番驚いたこと〽



日野病院病院長
櫃田 豊

明けましておめでとうございませう。本年も相変わリませず日野病院組合をよろしくお願いいたします。今回は、昨年を振り返り私が一番驚いたことについてお話しさせていただきます。年頭にはふさわしくない話題かもしれませんが、10月のことでした。外来が終わって一休みしていると、看護師さんから「先生、今日外来の待合室で診察を待っていた患者さんが怒つたのをご存知ですか？」と尋ねられました。知らなかったと答えると、看護師さんが続けました。「その患者さん、『待ち時間が長すぎる。医者をもう一人雇え』と怒鳴ったんですよ」

地域医療の崩壊が叫ばれて久しくなります。今や、地方の病院では、診療科の閉鎖や病院同士の統廃合は決してめずらしい出来事ではなくなりました。その最大の理由は、地方から医師がどんどんいなくなっていることにあります。何故このようなことが起こっているのでしょうか。それは、以前より進められてきた医師数

抑制政策と2004年にスタートした新医師臨床研修制度のためです。

特に新医師臨床研修制度の影響は大でした。この制度により今までは出身大学で研修していた研修医が、多彩な症例を経験でき、待遇など諸条件に恵まれた都会の病院で研修を受けるようになりました。そのため、深刻な医師不足に陥った地方の大学病院では、高水準の医療を維持するため、関連病院に派遣していた医師を引き上げざるを得なくなったのです。もちろん鳥取大学も例外ではありませんでした。

日野病院では2004年以降鳥取大学からの消化器内科医、脳神経内科医の派遣が停止されました。また、3名いた外科医師も現在1名に減っています。もう1人でも医師が辞めれば、その存立が危うくなるというのが今の日野病院の実態です。以上のような背景をご理解いただいて、冒頭の患者さんの言葉に戻りましょう。私の驚きの大きさがお分かりいただけると思います。

さて、最近になり地方に医師を呼び戻すための様々な試みが行われています。その1つがいくつかの大学で行われている医学教育カリキュラムへの地域医療教育の導入です。地域医療教育は、地域医療の現場での教育 (Community-based Learning) を通しての地域を指向する医師の育成することを目標にしています。鳥取大学ではその中心的な役割を担う地域医療学講座が2010年に開設され、昨年にはサテライト教育機関として鳥取大学地域医療総合教育研修センターが日野病院に設置されました。今後、皆様が日野病院で学生に接する機会も少しずつ増えて行くものと思われる

ます。

もう一つの注目される試みは、地域医療を守り、育てようとする住民の活動です。そのモデルケースとされているのが、兵庫県立柏原病院の医師不足に端を発し設立された「県立柏原病院の小児科を守る会」の活動です。この会による広報活動や署名活動により病院へのコンビニ受診は減少し、医師の増員が実現しました。このような活動は、今や全国的な広がりを見せています。

福井県高浜町の「たかはま地域医療サポーターの会」が住民向けに公表している「地域医療を守り育てる五か条」をご紹介します。地域医療を守るためには、地域の主役である住民が、医療者や行政にたよるのではなく、自ら出来ることを模索し実行しなければならぬということをお分かりいただけたらと思います。



外来待合ホールの様子

一 **かんしん**（関心）を持つとう：まずは知るところからすべては始まります。「自分はまちの医療にかかっていないから関係ない」というあなた、あなたが20年後、車の運転できなくなったら？あるいはあなたのご家族は？関係ない人などいない、それが地域医療です。

二 **かかりつけ**を持つとう：どんなときにも大きな病院の専門医にかかるとはなく、まず何でも相談できる「かかりつけ」を探しましょう。かかりつけ医は大きな病院と連携しています。

三 **からだづくり**に取り組もう：あなたが病気になる前に病院・診療所にお世話にならなかつたら、医師の業務は減り、余裕が生まれます。日ごろの食事や運動習慣を見直す、健康診断、がん検診を受けるなど、住民ができる健康増進は多いです。

四 **がくせい**（学生）教育に協力しよう：志高く地域医療の現場に研修に来られる医学生さん、研修医の先生の気持ちを折らないよう、気持ちよく診察を受け、励ましの言葉をかけましょう。彼らが指導医とともにレベルの高い医療を提供していることも理解してください。

五 **かんしゃ**（感謝）の気持ちを伝えよう：膨大な業務や患者の心ない言葉に、医療者の心と体はぼろぼろです。崇め奉るのではなく、人と人との関係として当然わき上がる感謝の気持ちを忘れずに伝えてください。感謝の言葉が、医療者を元気づけます。

新春放談

—真の医療を求めて—



日野病院名誉病院長 玉井 嗣彦

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、晴れ晴れと希望に満ちた新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

私は鳥取大学を定年退官後、日野路の日野病院に名誉病院長として赴任してから、早くも14度目の新春を迎えました。

オシドリの飛来する季節となり、数千羽の大群が病院の側を流れる日野川に、餌のドングリを求めて、ひしめく姿は状観です。

平成25年度も日野病院は、自治体では珍しく、平成19年度より7年連続で黒字決算となり、全国の自治体病院関係者の注目を浴びる結果となりました。地域住民のニーズにあった良質な医療、保健、福祉のサービスに、櫃田 豊病院長はじめ病院関係者が一丸となって取り組んだ結果と考えられますが、眼科診療も母校井上幸次教授はじめ多くの医局の先生方の絶大なご支援を得て、その一端を担わさせていただいていますので、眼科担当の専門医として一入の感激を覚えている幸いです。

病院の話題をもう一つ取り上げますと、すでに“せせらぎ、No.51”で報告済みですが、平成26年6月9日に、鳥取大学地域医療総合教育研修センターが日野病院に開設されました。これは、鳥取大学医学部地域医療学講座が、地域に必要な医療活動や医学生への地域医療教育を行うほか、高齢化に伴う地域保健課題の解決に向けての研究、さらに行政と連携して保健・医療・福祉を総合的に推進する地域包括ケアの構築に取り組むことを目的として、本院に開設したものです。

大学病院での先端的・専門的な医療と、生活環境に接近したプライマリ・ケア、その両輪が回ってこそ“真の医療”であることを、派遣された医学生たちが、短い期間ではありますが、本院での月曜日から木曜日までの総合診療内科を窓口とする日常診療や、付属の診療所や訪問看護などの現場を通じて体験してくれれば、病院関係者の一人として望外の喜びです。

地域医療学講座の谷口晋一教授はじめスタッフの先生方の澁漑とした自信に満ちたお姿を病院で拝見するにつけ、我々も元気づけられているところです。

内外からの見学者もみられ、今後の益々の発展を期待したいものです。今年もどうかよろしくお願ひ申し上げます。



(カッターは玉井嗣彦名誉病院長)

はいる互版

【日野病院組合＊在宅介護支援事業所】

謹賀
新年



本年もたくさんのお届けを
お待ちしております。
ごじょうぶさしへお願いします
スタッフ一同

<連絡先>

☆訪問看護ステーション

0859-72-2706

☆居宅介護支援事業所

0859-72-2723

お気軽にご相談下さい！

～研修会＊参加報告～

「難病患者医療相談会＊交流会」

26年11月27日



鳥取大学医学部附属病院神経内科中下医師および養和病院土中理学療法士による講演の後、患者会・家族会との交流会で日頃の生活での困りごとや支援のポイントなど話し合いました。会場でも話題になっていた自宅で簡単にできる運動療法についてご紹介します♪

グーパー♪
手先を動かす運動



朝こわばりが強い方はお湯につけて行ってください♪

鼻から3秒で吸う
口を膨らませて7～10秒で吸く



「第7回鳥取県実践が活きる看護診断研究会」

26年11月8日

鳥取県内における医療機関の看護部門が連携を図り、看護の質の向上とネットワークの促進に貢献することを目的とした研究会が毎年開催されています。

今年は「地域につなげる看護診断」をテーマに、多くの医療機関から発表がありました。当訪問看護ステーションからは、病院看護と在宅看護の連携の現状について報告しました。

病院と在宅で情報の連携を図ることで、みなさまが退院されてからも安心して在宅生活を送ることができるよう看護ケアを繋げていきます。

なお、今後の取り組みとして当ステーションでは病院との連携を深めるため病院看護師の同行訪問を計画しております。今後も引き続きご協力お願いいたします。



訪問看護師
主任 濱田 辰美

訪問看護の状況
(26年4月～9月)

- *利用者数
月平均 37.6人
- *新規利用者数
月平均 2.5人
- *月利用回数
平均4.3回/1人
- *在宅看取り数3人

～居宅介護支援事業所☆アンケートご報告～

H26年10月ケアマネージャーをご利用いただいている方を対象に、満足度調査を実施いたしました。

アンケート集計結果

- ・回収率70% (79件配布中)
- たくさんのご回答
ありがとうございます!!

介護保険の手続きやケアプランの説明、ケアマネの態度、ケアプランへ希望が反映されているかどうか、緊急時対応に関する問いには、わかりやすい、反映されているなどといった好ましい評価を約9割以上の方にいただくことができました。介護保険サービスを利用して在宅での生活の変化に関する問いについて、「まだ不自由な点がある」というご意見を、ご回答内に13%いただきました。詳細は不明ですが、介護保険によるサービスだけでは補えない状況も懸念されます。ご利用者様の要望を十分に反映したケアプランが提供できますよう努めます。

自由回答より
～抜粋～

【ご意見】時々で付ペスを休むと連絡してで付ペスの事業所への連絡をお願いしても迎えが来ることがある。伝えてもで付ペスの方も忘れていないのかわからないのですが。

【回答】⇒ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。受診等のご都合でサービス内容の変更がある場合、書面にて報告した後、再度電話連絡等確認をするよう留意します。

【ご意見】介護施設の利用を頻繁にしたが金額面で負担が大きく調整している。現在はなんとか家で介護できているがこれから将来私自身の健康とか精神的にどうなるか心配。

【回答】⇒介護保険給付だけでなく状態や障害の程度に応じて自治体に申請できる各種制度や手当もあります。各種制度、ご家族の心身の健康にも配慮できる支援に努めますのでご心配な点がございましたらお尋ねください。

介護老人保健施設あやめ

新年あけましておめでとうございます。本年もなにとぞよろしくお願い申し上げます。

昨年から、毎日朝礼時に基本理念『利用者様の尊厳を守り安全、安心な環境を提供し利用者様が「自分らしく暮らすこと」支援します』を全員で唱和し、やさしい心と明るい笑顔で介護サービスの品質の向上につなげるよう努力をいたしております。

本年も今まで以上に皆様から信頼される施設を目指してまいりますのでよろしくお願いいたします。

《入所サービス》

年忘れクリスマス会を盛大に行いました。職員サンタによる銭太鼓、音楽劇(花街の母等)、クリスマスソングなど、締めは利用者様と一緒に『青い山脈』の大合唱で皆様に楽しんでいただきました。

新年は、『もちつき大会』など皆様が楽しく過ごしていただけるよう沢山の催し物を計画しています。



《通所リハビリテーション》

日野高等学校特別社会人講師で大阪フィルハーモニー交響楽団のトランペット奏者として活躍中の秋月孝之様による第2回ミニコンサートを昨年引き続き開催しました。『ウィリアム・テル』『くるみ割り人形』などの曲目に皆様感動されアンコールもお願いしました。



～デイケア作品展～

今回の作品は「紅葉」です。

利用者様ひとりひとりの手形を取り、もみじの葉に見立てて木に貼りつけました。同じ型の葉が一枚もない、味のあるもみじの木が出来上がりました。



★ご相談 江府町大字武庫475番地 介護老人保健施設あやめ
TEL 0859-75-3230 ・ FAX 0859-75-3280

日野病院組合職員の給与等の状況（平成26年4月1日現在）

●職員の平均給料月額、平均年齢及び職員数（26年度当初予算より）

区 分	一般行政職	現 業 職	医 療 職	医療技術職	看 護 職	福 祉 職
平均給料月額	283,129円	263,394円	463,193円	252,599円	277,364円	206,413円
平均給与月額	314,180円	278,260円	1,022,823円	287,564円	358,625円	256,843円
平均年齢	45.6歳	51.5歳	45.0歳	37.1歳	47.3歳	33.9歳
職員数	17人	4人	7人	29人	57人	15人

平均給料月額：職員の基本給の平均

平均給与月額：給料月額と毎月支払われる諸手当の額を合計したものの平均（期末勤勉手当は除く）

平成27年度 日野病院組合看護師育成奨学金奨学生募集!!

日野病院組合では、平成27年度の看護師育成奨学金の貸付けを希望される看護学生又は看護学生を目指している方を募集します。

将来、日野病院組合に就職した場合には奨学金の返還を免除する規定もあります。

関心のある方は、お気軽にお問い合わせください。

○募集期間：平成27年2月2日（月）から2月27日（金）まで

○応募・問合せ先：〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332

日野病院組合 事務局総務課 頭本（かしらもと）

TEL 0859-72-0351 FAX 0859-72-0089

資 格	看護を履修する学校等に在籍（応募時点では、入学見込で可）し、卒業後に看護師として日野病院組合に勤務する意思を有すること。ただし、高等学校及びその高等学校の専攻科において看護師を養成する課程を設ける学校等に在学する者にあつては、その学校等の専攻科に在籍する者に限る。	
募集人数	若干名	
貸与額	月額50,000円以内（無利子）	
貸与期間	貸付けを受けた月から卒業する月まで	
奨学金の返還	期 間	貸付けを受けた期間の倍の期間
	金 額	月賦の均等払方法により、貸付けを受けた金額（月額）の半分の金額ずつを返還
返還の免除	貸付けを受けた金額の返還義務期間に日野病院組合に勤務した場合には、その勤務した期間について返還を免除します。 ※この奨学金の貸与が日野病院組合への採用を約束するものではありません。	

日野病院のこれからを考える研修会

11月21日、「日野病院のこれからを考える研修会」が開催されました。

この研修会は、日野病院が今後の診療報酬改定に対応し、中山間地の地域医療を守っていくため、これからどのような医療を展開し地域を支えて行けばよいのか、日野病院に求められる機能や役割について、病院職員をはじめ議会や行政と一緒に考えていくきっかけとなるよう開催しました。

当日は、日野病院が現在行っている事業について2例の事例発表を行った後、本年10月に行った病床変更について櫃田病院長が講演を行いました。

その後、前日野病院長で現在米子医療センター病院長の濱副（はまぞえ）先生に、「地域への貢献：地域中核病院のあり方」の演題で特別講演をいただきました。



クリスマスイベント

12月5日、恒例のクリスマスイベントを開催しました。

今年も、日野病院はんどべる部の「きよしこの夜」「喜びの歌」の華やかな演奏から始まりました。

また、去年に引き続いて日野町民ミュージカルの方々による楽しい歌と踊りが披露され、とても元気を頂きました。そのなかでもクリスマスソングを中心とした長尾光貴さんのオカリナ演奏は、入院患者様、来院された方々を癒し、魅了していました。

いつもより早い時期に開催したところ、予想外の降雪もあり、来られた方が昨年に比べると少なかったですが、とても素敵な時間を過ごすことが出来ました。これからも、皆様に喜んでいただけるイベントを企画していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



きれいなチューリップが さきますように

11月7日、恒例行事のチューリップの球根植えを行いました。今年もひのっこ保育所の園児たちに、正面玄関前のロータリーやプランターに球根を植えてもらいました。園児たちは春の開花を楽しみに、球根ひとつひとつに優しく土をかぶせていました。きっとみんなの気持ちが届いて元気なチューリップが咲くことでしょう。今から春が待ち遠しいです。



日本の地域医療を学びに 来ました

11月5日から7日までの3日間、フィンランドから鳥取大学医学部環境予防医学分野に1か月間留学していたヤンネ医師が日野病院へ研修にられました。日本の地域医療を実際に体験していただき、多くのものを学べたと大変喜んでもらうことができました。特に地域の方々と病院との関わりに大変感銘を受けたとのことでした。



病院内に図書館

9月から毎月第1・3木曜日に日野町図書館による「出前図書館」が日野病院内で実施されています。外来待合ホールと病棟デイルームで開かれています。診察の待ち時間や入院中に読書をしたい方はぜひご利用ください。借りた本は当日返却できなくても、院内に返却ボックスを設置していますので、気兼ねなくご利用ください。



連絡先

日野病院

鳥取県日野郡日野町野田332番地
TEL 0859-72-0351
FAX 0859-72-0089

黒坂診療所

鳥取県日野郡日野町黒坂1243-1番地
TEL 0859-74-0351
FAX 0859-74-0351

二部診療所

西伯郡伯耆町二部1554番地4
TEL 0859-62-0351
FAX 0859-62-0351



切り取り線

〈編集後記〉

明けてしましておめでとうございませう。衆議院選挙でなんとなくあわただしい師走でした。新年の挨拶はされました。近所の稀薄さが問題視されていきます。まずは、挨拶から始めましょう。風邪・インフルエンザの時期です。日頃から手洗いに心がけ、早くお祈りします。健康の方からおめがけの御礼。山

日野病院 外来診療案内

最新版 H27.1~
午前 午後 休診

		受付	月	火	水	木	金
内科	一診	午前	櫃田 豊	櫃田 豊	細田 讓 (第1・3週) 大倉裕子※3 (第2・4週)	櫃田 豊	松波馨士
		午後			大倉裕子※3 (第2・4週)		
	二診	午前			田本明弘	中下聡子※3	中本成紀
		午後			田本明弘		中本成紀
	三診	午前	松波馨士	椋田権吾	熊野健太郎	熊野健太郎	椋田権吾
		午後					
総合診療内科	午前	渡邊ありさ		井上和興	大学医師		
	午後		渡邊ありさ		大学医師		
外科		午前	大学医師	佐藤尚喜	大谷眞二	大学医師	佐藤尚喜
整形外科		午前	藤田章啓	藤田章啓	岸本勇二	藤田章啓	藤田章啓
眼科		午前	玉井嗣彦	玉井嗣彦※1	上田麻奈美	玉井嗣彦	春木智子
小児科		午前	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗
アレルギー科		午後※2	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗

専門診療科 (大学医師)		午前	午後
禁煙外来	櫃田 豊※4	女性診療科 秦 幸吉	消化器内科 田本明弘
泌尿器科	本田正史	皮膚科 柳原茂人	血液内科 細田 讓 (第1・3週)
			糖尿病外来 大倉裕子※3 (第2・4週)
		心臓外科 西村元延 (第1・3週)	消化器内科 田本明弘
		ペースメーカー 西村元延 (偶数月第3週)	糖尿病外来 大倉裕子※3 (第2・4週)
		血管外科 佐伯宗弘 (第2週)	女性診療科 大学医師 (第1週)
			耳鼻科 竹内裕美
			脳神経内科 中下聡子※3
			呼吸器内科 中本成紀
			呼吸器内科 中本成紀
			心療内科 山内崇平

(注) 医師の出張等により、担当医師等が変更になる場合があります。詳しくはホームページ・正面玄関の掲示板等でご確認ください。

自動再来受付機による受付時間 ●午前＝7時30分～11時30分 (一部8時30分～10時30分 ※5) ●午後＝正午～16時

診療開始時間 ●午前＝9時～ ●午後＝14時～

電話による受付 (内科・整形外科) ●10時～10時30分 (当日の午前受付のみ) 電話番号 0859-72-2733 (専用)

電話による予約日の変更受付 ●14時～16時の間 (予約日の前日までの平日のみ)

電話番号(内科) 72-2721 (整形外科) 72-2720 (外科・泌尿器科) 72-2719

休診日 ●土曜日・日曜日・祝日 ●8月14日・15日 ●12月29日～1月3日

- ※1 火曜日の眼科受付時間は10時30分までです。
- ※2 午後から医師が健診のため不在になることがあります。詳しくはお電話でお問い合わせください。
- ※3 完全予約制です。受診希望の方は、まず内科を受診して医師にご相談ください。
- ※4 禁煙外来 (月曜日) の初診は予約が必要です。2回目からは内科受診となります。
- ※5 初診の方・常勤医師 (内科・外科・整形外科) の診察予約日以外に受診の方

この広報誌は、患者様のご希望により、構成町 (日野町・江府町・伯耆町) の全戸に配布しています。

外来診療案内ポケット版

午前 (受付時間は、7時30分から11時30分まで) (H27.1月～)

診察科目	月	火	水	木	金	
内科	一診	櫃田	櫃田	血液(第1・3週)・糖尿病(第2・4週)	櫃田	松波
	二診			田本	(脳内)	(呼吸器)
	三診	松波	椋田	熊野	熊野	椋田
総合診療内科	渡邊		井上	(大学)		
外科	(大学)	佐藤	大谷眞	(大学)	佐藤	
整形外科	藤田	藤田	岸本	藤田	藤田	
眼科	玉井	玉井	上田	玉井	春木	
小児科	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	
その他(大学)	禁煙外来 泌尿器科	女性診療科 皮膚科	消化器内科 血液内科(第1・3週) 糖尿病外来(第2・4週)	耳鼻科 脳神経内科	呼吸器	

午後 (受付時間は、12時から16時まで)

診察科目	月	火	水	木	金
内科		総合診療内科	(大学)	総合診療内科	(大学)
小児科	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本
その他(大学)	心臓外科(第1・3週) 血管外科(第2週) ペースメーカー(偶数月第3週)	消化器内科 女性診療科(第1週)	糖尿病外来(第2・4週)		心療内科 呼吸器

※医師の出張等により、診察日・担当医師が変更になる場合があります。

(切り取って財布等に入れご利用ください)

編集後記

平成26年度の大きな出来事に、「鳥取大学地域医療総合教育研修センター」の院内開所があります。

6月9日、豊島学長は急きょ欠席となってしまいましたが、鳥取大学から福本医学部長と北野病院長をはじめ、多数出席のもと盛大に開所式と看板上掲式が行われました。（日野病院正面玄関横の看板は学長直筆の看板です。）

このセンターは、鳥取大学地域医療学の谷口教授を中心に、地域に必要な医療活動や、医学生への地域医療教育が行われるほか、高齢化に伴う地域健康課題の解決に向けての研究、更には行政と連携して保健・医療・福祉を総合的に推進する地域包括ケアの構築に取り組むことを目的に、日野病院内に設置されたものです。

現在日野病院は、総合診療内科や訪問診療等の医療支援を受けながら、医学生の研修の場ともなっています。

また、11月21日には、前病院長で現在米子医療センター病院長の濱副先生をお招きし、「日野病院のこれからを考える研修会」を開催しました。

周辺人口の減少による患者数の減少、それに伴う診療科の削減や病床数と病床内容の見直し、経営の効率化と経営形態の見直し等、今後の日野病院に山積する課題に対応していくため、関係者の情報共有を図ることを目的に開催したもので、議会関係者や行政関係者等68名の参加をいただきました。

そして3月25日には、平成17年2月に開所した黒坂診療所が10周年を迎えたことを記念し、「黒坂診療所10周年記念事業」を開催しました。これからも、地域住民に支えられ診療所が末永く続くことを願っています。

このように、平成26年度も忙しく一年が終わったように思います。

さて、平成26年度の決算については、平成19年度から8年連続の黒字決算となりました。平成26年度は、地方公営企業法の改正により特別な支出が発生したものの、何とか黒字決算を計上することができました。（地方公営企業法の改正は、民間の企業会計（病院事業）と容易に比較できるよう改正されたものですが、自治体病院の役割を考えると、そもそも比較する必要があるのかどうか疑問です。）

最後に、鳥取県が策定する地域医療構想により、日野病院も経営形態の見直しに加え、病床の変更等を検討しながら運営していくことが求められます。

日野病院だけでなく、行政や地域の住民の皆さんと共に、日野病院のこれからを考えていかなければなりません。

日頃から日野病院を支えていただいている皆さんに心から感謝し、来年の年報もよい報告ができるよう職員一同、更にながら頑張っていきたく思います。

おわりに、年報の編集にあたり資料の提供等協力いただいた関係者の皆さんにお礼申し上げます。

日野病院事務局長 生田 哲二

—— 発 行 ——

日野病院組合 日野病院広報委員会

〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田 332 番地

Tel : 0859-72-0351 Fax : 0859-72-0089

URL : <http://www.hinohp.com/>